





## 青少年のための 新しい学習リソースを 使った人たちの感想

この1年間、世界中のステークが日曜日の学習への新しい取り組み方を試してきました。そして、それを使ってみた人たちは、大きく改善したと言っています。彼らはこのように話しています。

### 青少年から

「いちばん好きなのは学ぶことで、日曜学校だけでそれが終わらないということです。……1週間を通して続くのです。先生が課題をくれて、次の日曜日には準備して行かなければなりません。」

「いったん正しい方向に進み始めると、レッスンに没頭させることは簡単です。実際に教えているのは、定員会の残りの全メンバーだからです。」

「毎回クラスの終わりに……レッスンを教えた人がだれであっても……チャレンジをくれます。……だから1週間を通して、より良い人になるというそのチャレンジがあるのです。」

### 教師と指導者から

「女の子たちが前の週にもらったチャレンジについて話し合います。そして大体は、教義に従って学ぼうとするその週の経験が……ほかにできるどんなことよりも御霊をより早くもたらすのです。」

「若い男性にこの機会を与えていて、彼らは成功してきました。福音の話し合いの進行役になることができます。」

「〔青少年が〕話すときに、証が育まれ、その教義について理解したことが身に付いていきます。」

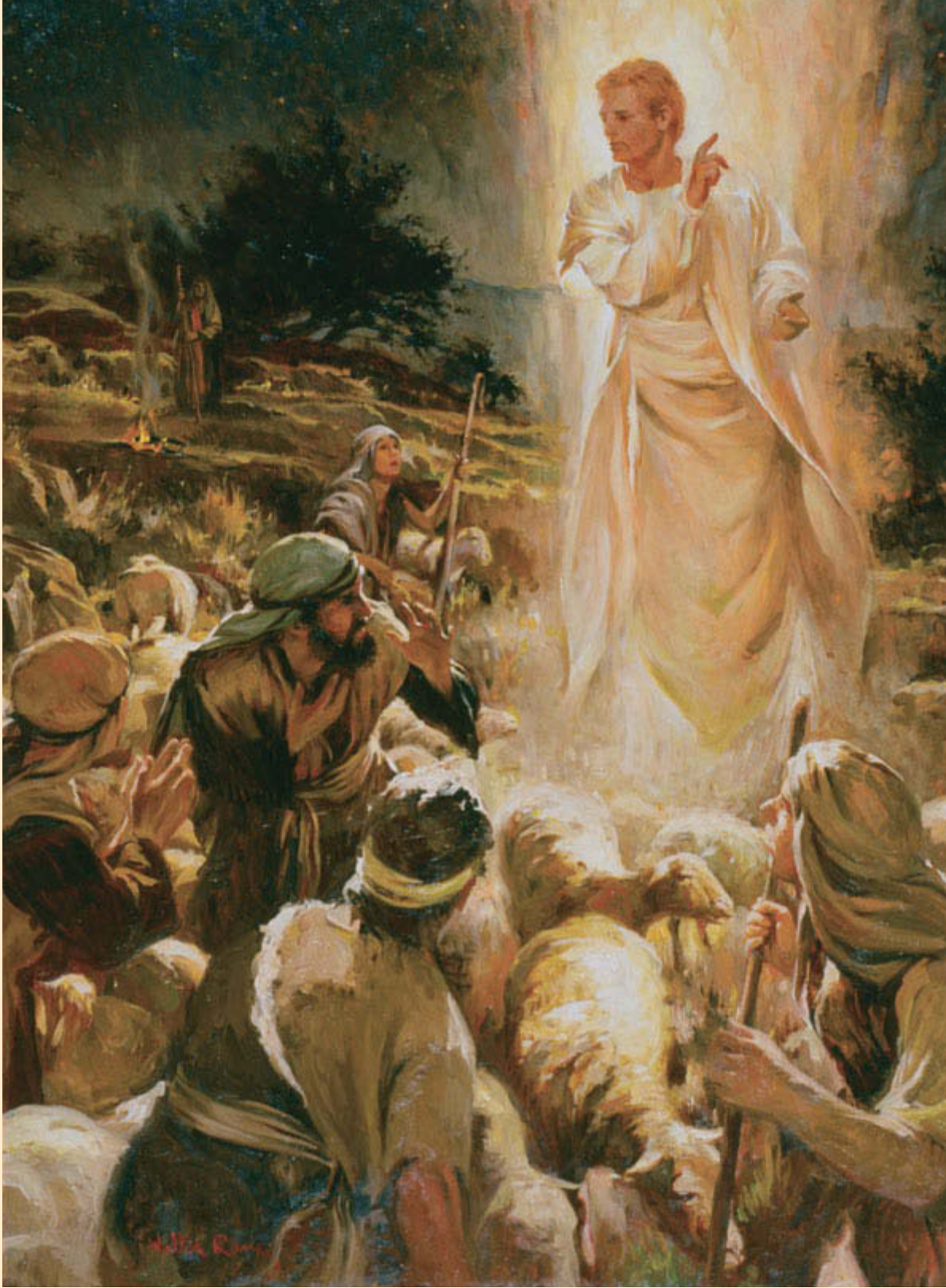
**質問がありますか？ このスペシャルカバーの裏表紙の内側と  
[lds.org/youth/learn](https://lds.org/youth/learn) をご覧ください。**



# リアホナ

神殿——  
心と家庭を変化させる,  
24, 28ページ

伝道, 友達, 家族——  
クリスマスの3つの思い出, 40, 43, 44ページ  
4つの贈り物, 包む必要はありません, 54ページ  
クリスマスの星の意味, 66ページ



©WALTER PATER. 複製は禁じられています

「大きな喜びをもたらす良い知らせ」 ウォルター・レーン画

「さて、この地方で羊飼たちが夜、野宿しながら羊の群れの番をしていた。

すると主の御使が現れ、……

御使は言った、『恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。

きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がすくいぬし うま にお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。』（ルカ 2：8－11）



## リアホナ2012年12月号

### メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——  
クリスマスの精神を  
再び見いだす  
トーマス・S・モンソン大管長
- 7 家庭訪問メッセージ——  
家庭訪問、救いの業

### 表紙

表紙——アリゾナ州メサ神殿の写真  
／キャンダス・リード  
裏表紙——カリフォルニア州オークランド神殿の写真  
／ピリー・リン・アレン  
オーストラリア・シドニー神殿の写真  
／コリン・リガートウッド



### 特集

- 10 <sup>あかし</sup>光と証の伝統  
L・トム・ペリー長老  
イエス・キリストの福音の核は  
個人、家族、家庭であり、教会は  
それを支える働きをします。
- 16 逆境を過去のものとする  
デビッド・S・バクスター長老  
逆境を過去のものとし、主の助け  
によって暗闇から抜け出すことが  
できます。
- 20 クリスマスの季節の預言者たち  
ローラ・F・ウィルズ  
末日の預言者たちの人生は、クリ  
スマスの精神の模範です。
- 24 神聖な変化  
アロン・L・ウェスト  
ある丘に変化が起きました。ある  
家族にも変化が起きました。

- 32 戒めを守ることによって得られる  
安全と平安  
ゲーリー・E・スティープンソン  
ビショップ  
イエス・キリストの福音に見られる  
具体的な方式が、幸福へと続く道  
を明らかにしてくれます。

### シリーズ

- 8 わたしたちが信じていること——  
イエス・キリストの福音を  
回復した預言者ジョセフ・スミス
- 31 教会での奉仕——  
奉仕を通して主の愛を感じる  
ミッシェル・ワステン
- 36 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 79 家庭の夕べのためのアイデア
- 80 また会う日まで——  
ひかりクラス、広報、  
そして福音の喜び  
クエンティン・L・クック長老



40

**40** わたしたちに対する指導者の言葉  
——クリスマスはあなたの中に  
ジェフリー・R・ホランド長老

**43** クリスマスの飾りと  
キリストのような友達

メアリー・N・クック

1984年のクリスマスは、人生の  
転機になりました。

**44** クリスマスのハンカチ

スコット・M・ムーイ

どうして母は姉に毎年ハンカチを  
上げたのでしょうか。



こんげつごう なか かく  
今月号の中に隠れている  
リアホナを捜しましょう。  
ヒント——  
クリスマスのかざり。



54

**28** 永遠の家族に焦点を当てる

ミンディー・レイ・フライドマン

二人の青少年の模範は、両親をどの  
ように助けたのでしょうか。

**46** 質疑応答

友達から神殿について質問された  
らどう答えたらよいのでしょうか。  
神殿についてはわたし自身よく  
分かっていないのです。

**48** キリストに贈り物をささげる方法

ヘンリー・B・アイリング管長

主に喜んでいただくために、3つの  
贈り物をささげることができます。

**49** ポスター——

急ぎ行きて拜まずや

**50** 若人の強さのために——

デートしませんか

ラリー・M・ギブソン

**52** 家族がいるから

ヒカリ・ロフタス

エナウ、エリン、アディーナが、自分  
の家族がなぜ大切なのか話して  
います。

**54** 包装できない贈り物

エリス・アレクサンドリア・ホームズ  
心に残る贈り物のアイデアを4つ  
差し上げます——包む必要のない  
ものばかりです。

**56** 教えに教え——

1コリント15:20-22

**57** 伝道地から——

飢えた者に食物を与え

ダリン・C・ウィルコックス

**58** 執事として一緒に成長する

この二人の執事は似ていませんが、  
少なくとも一つの共通点があり  
ます。



60

**59** 特別な証人——

どうしたらイエス・キリストの  
証人になれるのでしょうか？

D・トッド・クリストファーソン長老

**60** イエス様へのおくり物

レーチェル・リン・パウアー

イエス様にどのように愛を示したら  
よいのでしょうか。家でその答えを  
見つけました。

**62** わたしたちのページ

**63** すばらしい 考え

**64** よの 光

キンバリー・リード

イエスさまは わるいことを と  
りのぞいて くださらないのに、  
どうして みんな イエスさまの  
たんじょうを あらわす かざり  
つけを見て よろこぶのでしょ  
うか。

**66** しょうきょうかいを かていても

——イエス・キリストは  
かみの おんこです

**68** クリスマスの いのりは

こたえられた

ペギー・シヨーンケン

ペギーの家族にはクリスマスの  
食べ物がありませんでした。

**70** ちいさな おともだちへ

**81** モルモン書に 出てくる

じんぶつなどの 絵

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 830円(送料共)

普通号/大会号 120円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ [iahona.lds.org](http://iahona.lds.org) からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,  
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA  
電子メール: [iahona@ldschurch.org](mailto:iahona@ldschurch.org)

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2012 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — [cor-intellectualproperty@ldschurch.org](mailto:cor-intellectualproperty@ldschurch.org) にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

December 2012 Vol. 36 No. 12. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

# インターネットで得られる追加情報

[Liahona.lds.org](http://Liahona.lds.org) [英語]



## 成人

「クリスマスの季節の預言者たち」(20ページ)を読み終えた後に、[christmas.lds.org](http://christmas.lds.org) にアクセスして、ジョージ・アルバート・スミス大管長の生涯より、「コート——慈愛の話」[英語]を視聴してはいかがでしょうか。

## 青少年

エルサルバドルに住む兄と妹、ケビンとジャクリンは(28ページ参照)、エルサルバドル・サンサルバドル神殿の奉獻前に行われた文化式典に参加しました。彼らの人生を変えた式典の模様を、[lds.org/go/temple12](http://lds.org/go/temple12) で視聴することができます。

50ページで、中央若い男性会長会のギブソン兄弟が、デートに関する質問に答えています。[youth.lds.org](http://youth.lds.org) に掲載されている『若人の強さのために』から、デートについてさらに学ぶことができます。

## あなたの言語で

[languages.lds.org](http://languages.lds.org) で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

## 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- 贖い, 38, 39
- アロン神権, 58
- イエス・キリスト, 37, 49, 56, 59, 64, 66, 73
- 一致, 58
- 祈り, 68
- 改宗・改心, 24, 32
- 回復, 8
- 家族, 10, 24, 28, 31, 38, 39, 44, 52, 54, 60
- 活発化, 28
- 家庭訪問, 7, 16, 54
- 犠牲, 37
- 逆境, 16
- 教会歴史, 20
- クリスマス, 4, 20, 38, 39, 40, 43, 44, 48, 49, 54, 57, 60, 66, 68
- 幸福, 32
- 死, 39, 64
- 従順, 32, 59
- しよふん 什分の一, 24, 16, 32, 4, 36, 37, 44, 48, 60, 68, 70
- 神殿, 24, 28, 46
- スミス, ジョセフ, 8, 73, 81
- デート, 50
- 伝統, 10
- 伝道活動, 40, 57, 80
- 復活, 56, 64
- 奉仕, 4, 31, 36, 48, 54, 57, 10
- , 8
- , 8, 20

トーマス・S・  
モンソン大管長

# クリスマスの精神を 再び見いだす

**何**年も前のこと、年若い長老であったわたしは、ほかの人々とともにソルトレーク・シティーの病院に呼ばれました。病気の子供たちに祝福を授けるためです。入り口を入ると明るく優しい光を放つクリスマスツリーが目に入り、よく見るとツリーの大きく伸びた枝の下にはきれいに包装された包みが幾つもありました。それからわたしたちは、廊下を通って行きましたが、廊下では小さな男の子や女の子たちから笑顔であいさつを受けました。腕や脚にギプスを付けている子供たちもいれば、すぐには治らないと思われる病気の子供たちもいました。

重い病気を抱えた幼い小さな男の子が「あなたの名前は何か」とわたしに問いかけました。

わたしが名前を言うと、その子は「祝福してください」と言いました。

祝福を授けて、わたしたちが振り向いてベッドのそばから離れようとしたとき、その子は「どうもありがとうございました」と言いました。

わたしたちが数歩歩いたところで、その子が「モンソン兄弟、メリークリスマス」と呼びかける声が聞こえました。そのときのその子の表情は笑顔で輝いていました。

その男の子にはクリスマスの精神がありました。クリスマスの精神は、この特別な時期だけでなく、1年を通して毎日心と生活の中に持ち続けたいものです。

わたしたちはクリスマスの精神を持つとき、1年のこの時期にその降誕を記念する御方を思い出します。「きょうダビデの町に、あなたがたのために救主すくいぬしがうまお生れになった。

このかたこそ主なるキリストである。」(ルカ2:11)

現代は、贈り物をする精神が、クリスマスシーズンを記念するのに大きな役割を果たしています。次のように自分自身に問いかけることが役立つのではないかと思います。「1年のこの貴重な時期に、主はわたしが主とほかの人々にどのような贈り物をするを望んでおられるだろうか。」

天の御父はわたしたち一人一人が御父とその御子に従順という贈り物をするを望んでおられると、わたしは思います。また、御父の貴い御子がモルモン書の中で告げておられるように、御父はわたしたちが利己的でなく、貪欲どんよくでも、短気でもなく、自分自身をささげることを願っておられると、わたしは感じています。

「まことに、まことに、あなたがたに言う。争いの心を持つ者はわたしにつく者ではなく、……悪魔につく者である。悪魔は互いに怒って争うように人々の心をおり立てる。

見よ、互いに怒るように人々の心をおり立てるのは、わたしの教義ではない。このようなことをやめるようにというのが、わたしの教義である。」(3ニーファイ11:29-30)

このすばらしい時満ちる神権時代に、愛を示し、自分自身をささげる機会、実に限りなくあります。しかし、そのような機会きょうはまた、すぐに失われてしまうものです。今日、心に喜びを必要としている人々、思いやりのある言葉を必要としている人々、助けを必要としている人々、魂の救いを必要としている人々がいます。

クリスマスの精神について鋭い洞察を得たある人が、次のような詩を書いています。





わたしはクリスマスの精神——  
わたしは貧しい家に入って、青白い顔の子  
供たちに驚きと喜びの目を見張らせる。  
わたしは欲深い人の握り締めた手を開か  
せ、その魂に一点の光明を投じる。  
わたしは年老いた人に若い時代を思い出  
させ、昔の明るい笑いを取り戻させる。  
わたしは子供時代の冒険を思い起こさ  
せ、眠りの中ですてきな夢を見させる。  
わたしは人々に贈り物でいっぱいのかご  
を手にして暗い階段を勇んで上らせ、  
世の善意に対する驚きの思いを後に  
残して去らせる。  
わたしは放蕩者<sup>ほうとう</sup>にその乱れた浪費生活を  
休止させ、彼を気遣い愛する人にささ  
やかな贈り物をさせて、悲しみによっ  
て顔に刻まれた深いしわを喜びの涙で  
洗わせる。  
わたしは暗い独房に入り、心に傷のある  
人に過去の出来事を思い起こさせ、

将来の良い日々<sup>1</sup>に目を向けさせる。  
わたしは静まり返った白い苦痛の家に  
そっと入る。すると、弱り切って話すこ  
ともできずに黙って震えるだけの唇が、  
雄弁に感謝の言葉を述べ始める。  
わたしは無数の方法で、疲れ切った世の  
人々に神の御顔を仰がせ、少しの間、  
ささいな、惨めなことを忘れさせる。  
わたしはクリスマスの精神。<sup>1</sup>

一人一人がクリスマスの精神、まことに  
キリストの御霊<sup>みたま</sup>を新たに見いだすことが  
できますように。■

注  
1. E・C・ベアード、「Christmas Spirit」。ジェームズ・S・ヒュー  
イト編、Illustrations Unlimited (1988年)、81で引用

このメッセージから教える  
**モ**ンソン大管長のメッ  
セージを家族と分か  
ち合うとき、モンソン大管長  
が述べた、主はわたしたちが  
主とほかの人々にどのような  
贈り物をするかを望んで  
おられるだろうかという質問  
を強調してください。家族の  
各人に、「クリスマスの精神、  
まことにキリストの御霊を新  
たに見いだす」方法について  
自分の思いと考えを書き留め  
るように（あるいは、幼い子  
供には絵を描くように）勧め  
ましょう。

## 理想的なクリスマスイブ

ジェリー・S・ジェコブス

わたしが子供時代に毎年楽しみにしていた行事の一つは、クリスマスイブでした。家族と一緒にピザを作り、キャロリングに出かけ、その後、集まってクリスマスの霊的な時間を過ごしました。心もとない四部合唱で賛美歌を歌い、奇妙な取り合わせの楽器でキャロルを演奏しました。その夜は最後に必ず父がクリスマスについて抱いている思いを語り、わたしたちは幸せの涙を流したものです。クリスマスイブほど素晴らしいものはありませんでした。

わたしが少し大きくなると、母は近所の幼いケリーの世話をするようになりました。ケリーは毎日学校が終わるとやって来て、彼女の母親のパーティーが働いている間、我が家で過ごしました。ケリーは子犬のようにわたしについて回り、大声を出したり、物をねだったりしました。パーティーが娘を迎えに来て、我が家と家族に平安が戻ると、いつもほっとしたものです。

ある年の12月、母がパーティーとケリーを招待してクリスマスイブ

と一緒に過ごすことにしたときはぞっとしました。わたしのクリスマスイブにです。母はにっこり笑って、「いつもと変わらないわよ」と言いました。でも、わたしの方がよく知っています。二人はわたしたちのピザをすべて食べ尽くし、ケリーはわたしたちの歌をからかうことでしょう。わたしはこれまでに最悪のクリスマスイブに耐えることにしました。

その夜になり、パーティーとケリーがやって来ました。わたしたちは一緒に語り、笑い、歌を歌いました。母が言ったとおりでした。理想的なクリスマスイブでした。真夜中に、二人は感謝を述べ、名残惜しそうに別れを告げました。わたしは満たされた気持ちで床に就きました。ほんとうに貴いクリスマスの贈り物は、分かち合うときには減らないこと、それどころか、贈り物をするときに、それはもっと価値のあるものとなり、その数が増すということ、わたしは知ったのです。

## こども

### 5つの クリスマスの おくりもの

しゅは わたしたちが しゅと ほかの <sup>ひと</sup>人びとに どのような おくりものを することを のぞんでおられるか <sup>かんが</sup>考えてみて ほしいと、 モンソンだいかんちょうは <sup>い</sup>言っています。

ほかの <sup>ひと</sup>人に ほうしを している <sup>にん</sup>5人の <sup>こ</sup>子どもを <sup>え</sup>えなかから <sup>み</sup>見つけて、まるで <sup>かこ</sup>かこみましょう。その <sup>おこな</sup>行いは、イエスさまにとって どのような おくりものになるでしょうか。





祈りをもってこの資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。  
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。

信仰・家族・扶助

## 家庭訪問，救いの業

**家**庭訪問は女性たちに、互いを見守り、強め、教え合う機会を提供します。それこそが実に救いの業なのです。家庭訪問によって、姉妹たちは救い主に代わって教え導き、永遠の命という祝福に備える女性たちを助けます。

「わたしたちは主が啓示の中でおっしゃっているように、『警告し、説き明かし、勧め、教え、またキリストのもとに来るように……招』かなければなりません（教義と聖約 20：59）」と、スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985 年）は述べています。さらにこうも述べています。「あなたの証が強力な手段となります。」<sup>1</sup>

訪問教師であるわたしたちが福音の真理をさらによく知るようになると、バプテスマと確認を受ける準備をしている姉妹たちは、わたしたちの証によって強められ、支えられます。わたしたちは新しい会員が福音にしっかりとつながるように助けます。わたしたちの訪問と愛は「道に迷った人を連れ戻〔し〕……福音に対する熱意が冷めた人の心を温め」ます。<sup>2</sup> また、わたしたちは、神殿に参入することによってキリストのもとに来るように姉妹たちを励まします。

キンボール大管長は訪問教師に次のように述べています。「皆さんが訪問する目的は人を救うことなのです。また、皆さんの訪問を受けて、新たな視野と新たな理解を得たおかげで、今日教会こんにちに活発に集っている人々も大勢います。



皆さんはカーテンを引き開け、彼女たちの展望を広げたのです。……

お分かりのように、皆さんはこの姉妹たちを救っているだけでなく、恐らくその夫や家庭をも救っているのです。<sup>3</sup>

### 聖文から

教義と聖約 20：59；84：106；138：56

### 何ができるでしょうか？

1. 扶助協会によって永遠の命という祝福にどのように備えることができるでしょうか。
2. 見守る相手の人の信仰を増すために何ができるでしょうか。

### わたしたちの歴史から

預言者ジョセフ・スミスは扶助協会を組織したとき、女性たちは貧しい人の世話をするだけでなく、人を救わなければならないと語りました。また、教会の女性たちは天の御父の救いの計画の中で欠くことのできない役割を果たすとも教えました。<sup>4</sup> 預言者ジョセフ・スミスから教えられた原則を指針として、扶助協会の姉妹であるわたしたちは、力を合わせて、女性たちとその家族が神の最も大いなる祝福にあずかれるように備えることができます。

ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877 年）はこう語っています。「互いに思いやりを示し合いましょ。強い人は弱い人を優しくいたわって、強めましょ。見ることのできる人々は、目の見えない人々を、彼ら自身で道を見られるようになるまで道案内しましょ。」<sup>5</sup>

### 注

1. スペンサー・W・キンボール『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』（2011 年）116 で引用
2. エライザ・R・スノー『わたしの王国の娘』83 で引用
3. スペンサー・W・キンボール『わたしの王国の娘』117 で引用
4. ジョセフ・スミス『わたしの王国の娘』171 - 172 参照
5. ブリガム・ヤング『わたしの王国の娘』107 で引用

## イエス・ キリストの 福音を 回復した

# 預言者 ジョセフ・スミス

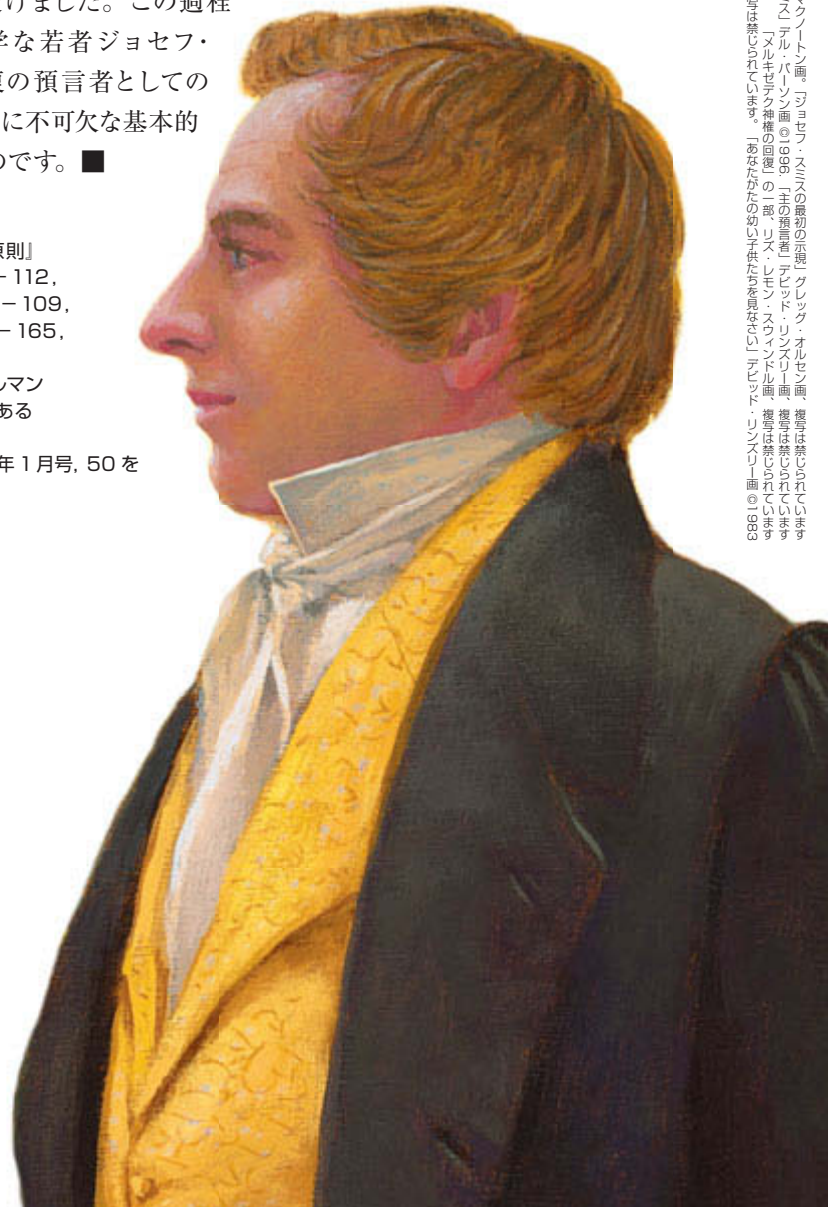
**救**い主が十字架につけられ、使徒たちが世を去った後、人々は福音の教義と儀式の一部を変えました。大勢の善良な人々はイエス・キリストを信じ、イエス・キリストの福音を理解して教えようと努めました。もはや完全な真理を得ることはできませんでした。その結果、生き残っていたキリスト教徒は次第に背教していきました。多くの真理がありましたが、キリストの教義や儀式、神権を完全な形で持っていた人はだれもいませんでした。

天の御父は、このように真理が次第に失われるということを御存じでした。そのため、聖書と肩を並べる古代の聖文の中にイエス・キリストの完全な福音を残されたのです。1800年代の初めに、モロナイという名の天の使者が、何世紀もの間隠されてきたこの聖なる記録のありかをジョセフ・スミスに示しました。金版に書かれたこの記録は、アメリカ大陸に昔住んでいたある人々に対する神の計らいを預言者たちが書き残したものです。預言者ジョセフ・スミスは、神の賜物と力によってこの版の記録を翻訳しました。この記録が、『モルモン書——イエス・キリストについてのもう一つの証』です。

モルモン書を翻訳する過程で、ジョセフ・スミスは神の教義について教えを受けました。御霊が教師で、モルモン書が教科書でした。ジョセフ・スミスは、分からないことがあれば神のもとに行き祈り、神から啓示を通して答えを受けました。この過程を踏んで、無学な若者ジョセフ・スミスは、回復の預言者としての召しを果たすのに不可欠な基本的真理を学んだのです。■

詳しくは、『福音の原則』99 - 105, 107 - 112, 『真理を守る』105 - 109, 113 - 117, 163 - 165, ならびに、ゲーリー・J・コールマン「福音の回復の要であるイエス・キリスト」『聖徒の道』1993年1月号, 50を参照してください。

わたしたちはジョセフ・スミスが神の預言者であったと信じてると同時に、天の御父とその御子イエス・キリストを礼拝しています。



左から——「たまたま、キリストにまいじ」ジョン・マクノートン画。「ジョセフ・スミスの最初の示現」クレグ・オルセン画。背景は禁じられています。「モルモン書を翻訳するジョセフ・スミス」デル・パーソン画。©1999「主の聖書」デビッド・リンズリー画。背景は禁じられています。「アルキデク神権の回復」の一部分、リス・スウィンドン画。背景は禁じられています。「あなたがたの幼い子供たちを見なさい」デビッド・リンズリー画。©1996

預言者ジョセフ・スミスが述べた証 あかし

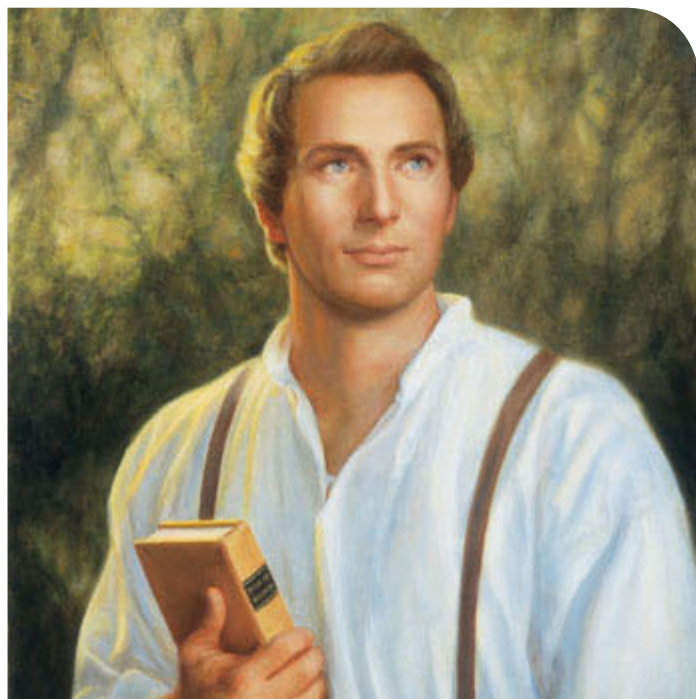
1. 「わたしは実際に光を見た。その光の中に二人の御方を見た。そして、その方々が実際にわたしに語りかけられたのである。たとえ示現を見たと言ったことで憎まれ、迫害されたとしても、それは真実であった。……わたしはそれを知っていた。神がそれを御存じであるのを、わたしは知っていた。わたしはそれを否定できず、またそうする勇気もなかった。」<sup>1</sup>



2. 「神の力によって、わたしは象形文字からモルモン書を翻訳しました。わたしは、世から失われた知識を翻訳していたのです。そのすばらしい出来事の中で、無学な若者であるわたしはたった独りで立ち、この新たな啓示を携えて、この世の知恵と、そして18世紀もの間蓄積された無知と闘ったのです。」<sup>2</sup>



3. 「わたしは兄弟たちに言った。モルモン書はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」<sup>3</sup>



4. 「わたしは……最後の王国の鍵かぎを持っています。それはメルキゼデク神権の結び固めの力の下で、世の初めからすべての聖なる預言者たちの口を通して語られてきたすべてのことが満ちる神権時代です。」<sup>4</sup>  
(教義と聖約 27:12 - 13 参照)



5. 「神のまことの教会が常にそうであったように、末日聖徒イエス・キリスト教会は、直接の啓示を土台として築かれました……。そして神の御心みこころと祝福により、わたしはこれまで神の御手みてに使われる者として、シオンの大義を推し進めてきました。」<sup>5</sup>

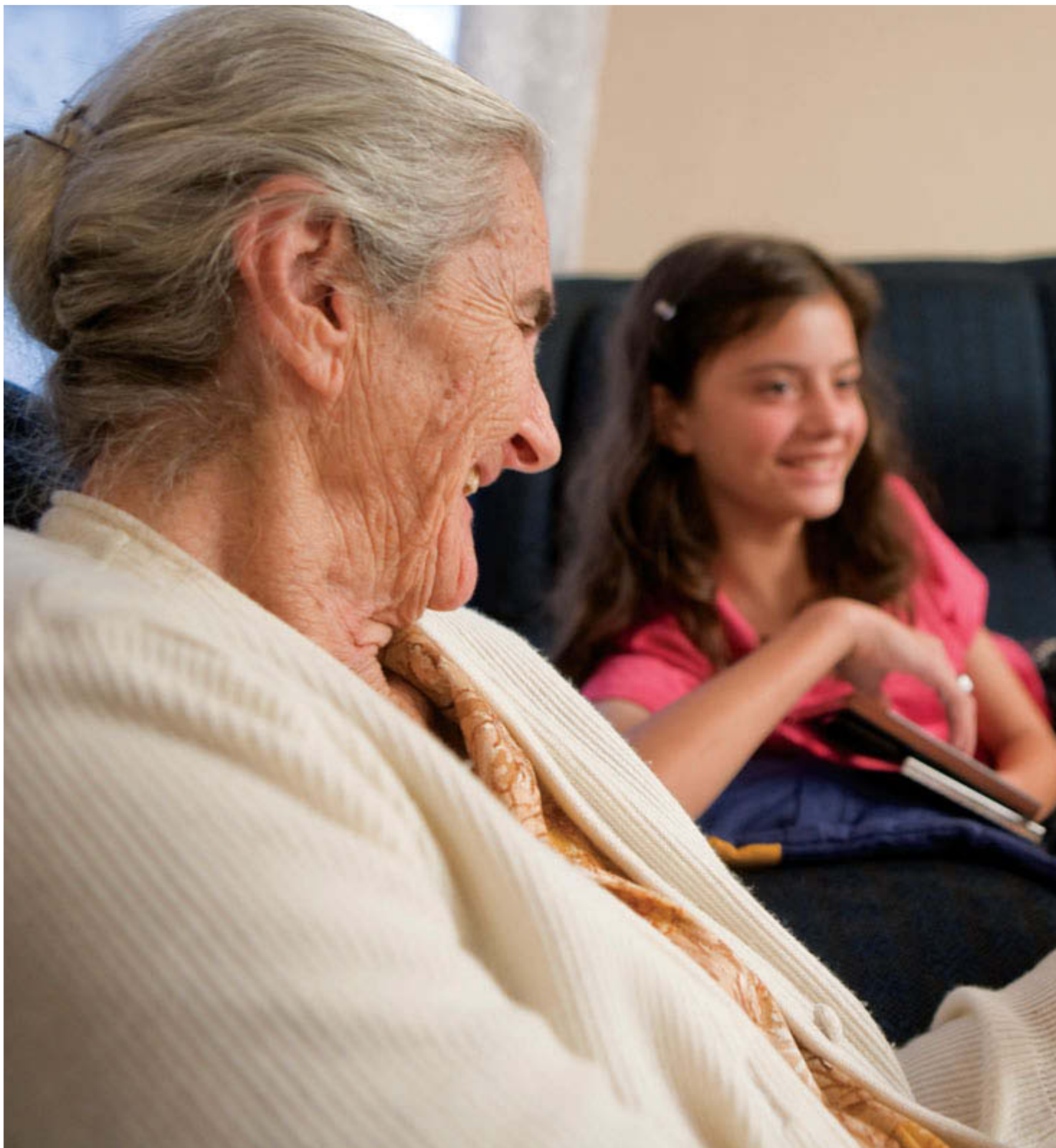


6. 「〔モルモン書は〕わたしたちに、救い主が復活後にこのアメリカ大陸に御自身を現されたこと、またこの地に完全な福音を、そのあらゆる豊かささと力と祝福とともに確立されたことを告げています。」<sup>6</sup>

注

1. ジョセフ・スミス—歴史 1: 25
2. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』60
3. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』64
4. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』511
5. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』195
6. 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』64

伝統を守って一つの大きな永遠の家族として集まる1年の特別な時期に、  
皆さんの家族が楽しめる豊かな環境を築くようにしてください。





# 光と証の 伝統

**末**日聖徒イエス・キリスト教会は、実に世界的な教会です。それでも、偉大な国家、アメリカ合衆国の建国がなければ、教会は今日のような状態に決してなれなかったであろうということをはっきり理解しておくことが重要です。主は、自由と信教の自由を求めた世界の人々を引きつける、新たな地を備えてくださいました。この新たな地は、人が自分の良心に従って礼拝することを認める政府を設けるのが自分の義務であると感じた力強い指導者たちに恵まれました。

合衆国の建国の父たちは、強い政府の設立には宗教上の信仰が不可欠であると信じていました。しかしながら、世界の多くの人々は、政府の政策、法律、規則の制定にとって信仰がきわめて重要であることを忘れていきます。例えば、建国者たちは当時と同様にわたしたちの時代にも宗教が重要な役割を果たすと信じていたことを、多くのアメリカ人は理解していません。建国者たちは、宗教と道徳を頭の中でその価値を測るだけのものと考えてはおらず、それは良い政府と人類の幸福にとって必須のものであると力強く宣言しました。

この考え方は、合衆国初代大統領ジョージ・ワシントンの最後の演説の中で述べられています。彼はこう語りました。

「政治的繁栄につながるあらゆる対策と慣例の中で、宗教と道徳は絶対に必要な支えとなるものです。……宗教がなくても道徳を維持できるという考えに陥らないように気をつけましょう。……理性と経験はともに、国民の道徳によって宗教上の原則を排除できるのではないかと期待することを禁じています。

徳や道徳が人民政府にとって必要な源泉であるということは、まさに真実です。」<sup>1</sup>

合衆国は、モルモン書の中で預言されている約束の地です。イエス・キリストの福音の回復のために必要な状況が整うように、神の導きが靈感を受けた人々に与えられた地です。預言者と啓示の光が存在しなくなって地上に闇が訪れた大背教から抜け出す先駆けとなったのが、アメリカ合衆国の建国でした。合衆国の設立からわずか数十年後に最初の示現の美しい朝を迎えたのは、決して偶然ではありません。



家族の  
霊的防護のための  
対応策を設ける  
方法について  
学ぶには、  
どこに頼れば  
よいのでしょうか。  
わたしは教会、  
すなわち、  
永遠の家族を  
築くための  
足場に頼っています。

最初の示現によって、啓示された真理の洪水が始まりました。神会の属性についての知識が回復されました。新たに翻訳された聖文が、イエス・キリストについての第二の証の書となりました。神権の回復によって、神に代わって神権の儀式を執り行い、地上にイエス・キリストの教会を再び設立する力と権能が人類に再び授けられました。わたしたちは回復された教会の会員となる祝福にあずかっています。

#### 霊的防護の計画

回復された教会に与えられている祝福の一つは、生ける預言者がいることです。ハロルド・B・リー大管長（1899 - 1973年）は、優先順位について実に明確に理解し、こう教えています。「わたしたちが〔教会で〕組織的に行うことの多くは、個人を築こうとするときの足場作りです。そして、人のために足場作りは間違えてはならないのです。」<sup>2</sup>

リー大管長は、人々と家族の救いに対する

教会の役割を軽視してはいません。それどころか、イエス・キリストの福音の核は個人、家族、家庭であり、教会はそれを支える働きをすると力強く教えています。<sup>3</sup> したがって、教会は、わたしたちが永遠の家族を築くための足場なのです。

わたしはウイング家の家系につながっています。同じ家系のウイング家の家族が、今でもニューイングランドに建てられた最古の家を所有しています。その家は、現在「オールドフォートハウス」と呼ばれており、ステイーブン・ウイングとその家族が1635年ごろアメリカに来てから建てた家です。

家の中心部は防護用として建設されました。その壁の厚みは60センチであり、切り出したかしの木の幹を地面に打ち込んで、ニューイングランドの要塞の典型的な建築様式で建てられています。壁は二重になっており、壁と壁の間には、矢や銃弾に対する防護のため砂岩が詰められています。とりでが家の中心にありました。ウイング家族の人数が増えると、最初のとりでの家の周囲に増築が施されました。しかし、とりでは防護の場所、安全な避難所として残されました。

わたしたち各人は、世の影響を受けない霊的防護のための建物を建てること、すなわち、家族を守り、重要な福音の価値観を常に脅かす世のチャレンジに対応する方法を家族に教えることのできる場所を設けることを考えなければならないでしょう。わたしは楽天的でありたいと思っていますので、世の中が良く変わることを見守り続けています。しかし、現実主義者でもありますので、良く変わらない場合の対応策も練っています。霊的防護のための対応策は、様々なメディアから発せられる善悪両方のあらゆる事項に対処できなければなりません。家族の霊的防護のためのこのような対応策を設ける方法について学ぶには、どこに頼ればよいのでしょうか。わたしは教会、すな





わち、永遠の家族を築くための足場に頼っています。

リー大管長が教会を永遠の家族を築くための足場とした隠喩<sup>いんご</sup>について述べたことに、わたしは感謝しています。それには、二つの大きな理由があります。第1に、それは教会がどのようなものであるかを理解するのに役立ちます。第2に、同じく重要なことですが、教会がどのようなものでないかも分かります。

足場としての教会は、恐らく、預言者ジョセフ・スミスが教会の指導者としての自分の役割について述べた言葉に最もよく示されています。預言者はこう述べました。「わたしは人々に正しい原則を教えて、自らを治めさせます。」<sup>4</sup> 永遠の原則は教会が提供する足場です。これらの永遠の原則は、神の王国の教義の中に見いだされ、神の永遠の幸福の計画に反映されています。わたしたちは教会員として会って、義の原則を互いに教え合い、学び合い、救いの儀式を受けます。そうすれば、永遠の家族を築くときに、その足場は固定され、安定します。

教会は親の務めを行うものではないということに留意してください。そうではなく、親が務めを果たせるように導くのです。教会は永遠の様式を提示します。わたしたちは永遠の家族の建築家として、この永遠の様式に従って築くならば、努力することで、最愛の人々のために求めている安全と防護を提供できます。そのことは、数々の約束によって再確認されています。

わたしたちのチャレンジは、霊的に強固な家庭を、すなわち物理的に強固なオールドフォートハウス以上に霊的に強固な家庭を築くために、教会を足場として使用することです。そのためにはどうすればよいでしょうか。

## 大切な伝統

家族の伝統は、オールドフォートハウスを築く

ために地面に打ち込まれた、切り出されたかしの木の幹のようなものであると、わたしは信じています。生涯にわたって、祝日の伝統、誕生日の伝統、日曜日の伝統、夕食時の伝統など家族の伝統を尊ぶことと、新たな伝統を設けることを優先してください。それらを尊び、書き留めて、必ずそれを守るようにしてください。若者が非行集団に加わる理由は、自分よりも大きなものに帰属するという伝統と慣習にあるという調査結果があります。それは家族があるべき姿です。伝統を守って一つの大きな永遠の家族として集まる1年の特別な時期に、皆さんの家族が楽しめる豊かな環境を築くようにしてください。

これは簡単ではなく、容易には達成されないということを理解してください。ローマは一日にして成らずとあるように、家族の伝統も一日では築けません。家族の伝統は基本的かつ永続的な支えを提供できますが、その周囲に築かなければならないものがたくさんあります。家族の各人の役割を定めるとき、そして伝統を築くために結束して努力するときのみ、恐らく家族の伝統は効力を発揮します。すなわち、家族が一緒に時間を過ごし、一致協力する方法を学ぶ必要があるということです。家族がそうなるには、ある程度の時間をかけなければ、充実した時間などというものは決して得られません。

例えば、就職を検討するとき、毎日仕事にどれだけの時間が必要かを考えてみてください。1日に14時間働く仕事であれば、子供たちの就寝後に帰宅することになりませんか。そのような就職を考えないようにするというものではありません。しかし、それを選ぶなら、家族との結びつきを保つために独自の方法を見つけなければなりません。教会の足場は、あなたが永遠の優先事項を思い起こすのに役立つことでしょう。

わたしは、仕事として小売業を選びました。

家族の各人の役割を定めるとき、そして伝統を築くために結束して努力するときのみ、家族の伝統は効力を発揮します。すなわち、家族が一緒に時間を過ごし、一致協力する方法を学ぶ必要があるということです。

わたしたちは  
勇気をもって  
イエス・キリストの  
神性について宣言し、  
証しなければ  
なりません。  
イエス・キリストが  
人類の  
すべての歴史における  
中心の御方で  
あられると  
わたしたちが  
信じていることを、  
ほかの人々に  
知ってもらいたい  
のです。

店は週に6日、朝10時から夜10時まで営業しました。わたしの通常の勤務は少なくとも10時間で、時には12時間から15時間でした。よく気を配って子供たちのために時間を取るようにならなければなりません。教会を足場と見ることで、いつも永遠の優先順位を思い起こせたと思います。

例えば、子供たちの全員を店のパートタイムの仕事に就かせました。長女はいつもやって来て、売上記録をつけ、わたしの財務報告がいつも最新のものであるようにしてくれました。また、わたしは年ごとの比較を行うことができました。息子には夏の間、買掛金の仕事をしてもらいました。末娘には、パートタイムのレジ係になれるように、レジスターの使い方を教えました。これによって、日中互いに会う機会を与えられ、週の数日は一緒に昼食を取り、

貴重な一対一の時間を過ごすことができました。一緒に過ごす最良の時間は、毎日の職場への往復の通勤時間でした。

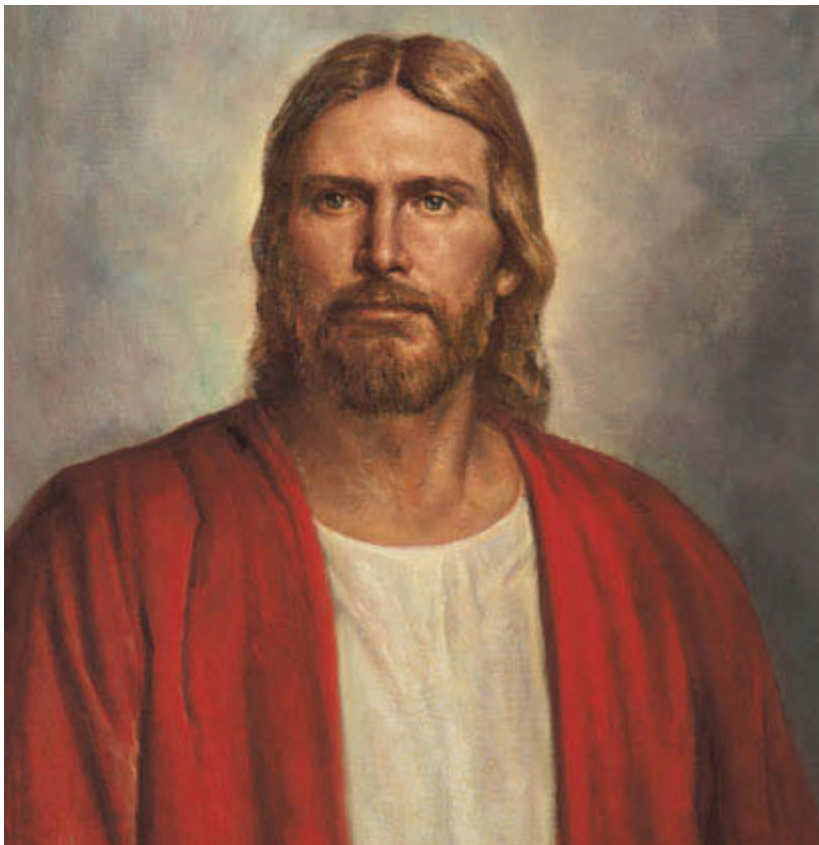
### 職場の生活に対する足場

教会は職場の生活に対する足場も提供できると、わたしは信じています。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であるわたしたちは、救い主とその教会を代表しています。わたしたちにとっては、ほかの教会の人々と同じくらい善良であるということでは十分ではありません。ジョージ・アルバート・スミス大管長(1870 - 1951年)は、このことを次のように教えています。

「ここ1年の間に、わたしはこの地域社会〔ソルトレーク・シティー〕に住む何人かの教会員ではない男性と会い、福音について語り合う特権にあずかりました。そのうちの一人は、ここに20年住み、非の打ちどころのない生活を送り、善良な市民にしてすばらしい実業家であり、わたしたち教会員に好意的な男性です。彼はここに20年住み、わたしたちがほかの教会に属する隣人とまったく同じくらい善良であるという結論を出しました。何の違いも見いだせなかったのです。

兄弟姉妹の皆さん、皆さんに申し上げたいのですが、わたしはこれを褒め言葉とは思いません。イエス・キリストの福音によってわたしがより善い人間になっていないとしたら、わたしは本来あるべき段階まで成長していないということです。また、この教会に属していない隣人がわたしたちの中で何年も生活しているのに、神の戒めを守ることで得る恵みのしるしをわたしたちの生活に少しも見いだせないとしたら、イスラエルには改革が必要ということです。」<sup>5</sup>

神殿推薦状を持つにふさわしい教会員は、どのような職場にいてもそこで常に際立ってなければなりません。あえて違っていただく





さい。教会の標準に従って生活していることでほかの人々の気に障るようなことがあっても、決して心配しないでください。わたしは皆さんに約束します。神殿推薦状の標準に従って生活することは、祝福をもたらし、皆さんが直面するいかなる状況にあっても皆さんを傷つけることはありません。

### 救い主の光を表す

わたしは日々新聞を読み、ニュースを見るとき、人々が自ら困難な事態を招いていることに衝撃を覚えます。時代や状況が変化してより複雑になるとともに、状況を好転させる責任を担う能力のある人々がますます少なくなっているように思われます。世界が急速に変わりつつあるということ認識するように、指導者と将来の指導者の皆さんに強く勧めます。今日、わたしたちが直面している大きな問題に取り組める有能かつ勇敢な指導者が緊急に必要とされています。

ユダヤ教とキリスト教の強い伝統の道徳的な基盤が、合衆国でもほかの国々でも崩壊しつつあることは明らかです。この伝統は、公正と思いやり、人の尊厳に対する敬意を基としていました。法律や規則ではなく、あらゆる善良で立派な人々の内にあるキリストの光を基としていたのです。

この信条と価値観を受け入れている人々の人数は少なくなっていますが、皆さんやわたしはそれを堅持しています。わたしたちは救い主を代表するという聖約を救い主と交わしました。イエス・キリストを代表し、自分の生活にキリストの光を表すことによって、わたしたちは、多くの兄弟姉妹がユダヤ教とキリスト教の伝統と遺産を思い出すのを助けることができます。

わたしたちは勇気をもってイエス・キリストの神性について宣言し、証しなければなりません。イエス・キリストが人類のすべての歴史

における中心の御方であられるとわたしたちが信じていることを、ほかの人々に知ってもらいたいのです。聖書、ならびにわたしたちが聖典と見なしているそのほかの書物の中心にあるのが、イエス・キリストの生涯と教えです。旧約聖書はこの世におけるキリストの教導の業に先立つ出来事について述べ、新約聖書はこの世におけるキリストの教導の業について述べています。モルモン書はこの世におけるキリストの教導の業についての第二の証です。神のすべての子供がイエス・キリストとその教えについて学べるように、イエス・キリストは、全人類のための基盤である福音を宣言するためにこの世に来られました。その後、救い主、<sup>あがな</sup>贖い主となるために御自分の命をささげられたのです。救いはイエス・キリストを通じてのみ得られるものです。これが、イエス・キリストが人類のすべての歴史における中心の御方であられるとわたしたちが信じている理由です。わたしたちの永遠の行く末は、常にイエス・キリストの御手の中にあります。イエス・キリストを信じ、イエス・キリストをわたしたちの救い主、わたしたちの主として受け入れることはすばらしいことです。

教会が皆さんと家族のために行ってきたこと、現在行っていること、また今行えることをすべて思い出してください。また、この教会がほかの教会のようではないことを思い出してください。これは回復されたイエス・キリストの教会なのです。■

2012年1月24日、ブリガム・ヤング大学アイダホ校のデイボーションルでの説教から。英語の全文は、[web.byui.edu/devotional/sandsspeeches](http://web.byui.edu/devotional/sandsspeeches) をご覧ください。

### 注

1. *Washington's Farewell Address*, トーマス・アークル・クラーク編 (1908年), 14
2. 『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』155
3. 『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』155 - 156 参照
4. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』284
5. 『歴代大管長の教え——ジョージ・アルバート・スミス』7

教会が  
皆さんの家族のために行ってきたこと、  
現在行っていること、  
また今行えることを  
すべて思い出してください。  
また、この教会が  
ほかの教会のよう  
ではないことを  
思い出してください。  
これは回復された  
イエス・キリストの  
教会なのです。



七十人  
デビッド・S・バクスター長老

# 逆境を 過去のもの とする

逆境を  
過去のものとし、  
主の助けによって  
暗闇から  
抜け出して  
豊かな光を  
浴びられる時が  
やって来ます。

パーリー・P・プラットの手による回復の偉大な賛美歌の一つは、背教の暗い幕が開けられ、栄光に満ちた真理の光が差し込んだと歌っています。

夜明けだ、朝明けだ  
シオンの旗掲げよ  
明るい夜明けだ 厳かにあまねく、  
朝日は昇り行く

聖い光の前に  
過ちの雲は消える  
栄光はあまねく、  
世界に広がり いまや輝かん<sup>1</sup>

興味深いことに、使徒パウロも光の比喻を用い、「わたしたちは、四方から患難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰まらない。迫害に会っても見捨てられない。倒されても滅び

ない」とどうして証できるのか説明しています。

霊的な暗闇から逃れたことをパウロは次のように説明しています「『やみの中から光が照りいでよ』と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。」(2コリント4:6)

わたしたちの大部分は生涯の、ある時期、逆境に直面します。嵐になり、風が吹きすさび、雨が降り、洪水が起こります。終わりが見えず、不安、疑い、試練、そして苦難に満ちた将来に立ち向かうしかないように思えるかもしれません。

時折起こる激しい雷雨だけでなく、不安という名の恐ろしい暴風雨や嵐がやって来て、わたしたちの自信を打ち砕き、自尊心を揺るがすこともあります。わたしたちが大切に思うことがすべて指の間から滑り落ちるように、非常には



がなく感じられます。人生における大きな変化によって、バランスを崩し、均衡が乱れてしまうことがあります。

突然の解雇から長期間にわたり失業して経済的自由が失われたり、住宅ローン危機によって金銭的に窮乏してしまったりするかもしれません。あるいは、長く、多忙で、実りが多かった仕事から引退する時期を目前にして、喪失感を感じているかもしれません。突然の病気や大きな障害に襲われ、「閉塞感」や無力感にさいなまれて、希望を失い、不安になっているかもしれません。そんな状況の中、恐れはたやすく訪れ、一方で信仰を維持するのが難しくなることもあります。

わたしは、これを全部体験から知っています。二つの大きな脳腫瘍のうしゅようを摘出した手術からの回復期に、それに起因した情緒的、精神的影響によって何度か憂うつな気持ちと失望の時期を経験しました。かつて考えていたほど自分が無敵でないことに気づきました。薬が効かず、1, 2度症状がぶり返すことでさらに憂うつな症状が増していきました。自分が哀れに思えてきました。

### 楽しくなるよう決意する

それからすばらしいことが幾つか起こり始めました。良き友人や信頼する教会の指導者たちが支援し理解を示してくれ、わたしはその助言に耳を傾け、励ましを受け入れ始めたのです。ある夜遅く、わたしは自分の憂うつな気持ちを末の息子に打ち明けました。すると息子はこう言ったのです。「あのね、お父さん。幸福というものはいちいち決意して手に入れるものだと、ぼくはずっと思っているんだ。」彼の言うとおりです。

わたしは次第に、さらに与えられている祝福に対して感謝を表すようになっていきました。「このたぐいはいのり、祈と断食とによらなければ、追い出すことはできない」ことを悟ったのです(マタイ 17: 21)。

救い主の強さと元気を回復させる力と愛を感じました。パウロのように、どんな患難、苦悩、危難もキリストの愛からわたしを離れさせることができないことを知り、喜ぶようになりました(ローマ 8: 35 参照)。

幸運にも、希望に満ちた疑う余地のない真理があるから

わたしたちの信仰が  
からし種の大きさしか  
ないと思えるときも、  
前進すれば、  
主もわたしたちと  
ともに前進して  
くださいます。  
天の助けを求めれば、  
思いがけない方法で  
かもしれませんが、  
それは与えられます。

こそ、何があっても強さと励ましを見いだすことができるのです。突然重荷が消えてなくなるにしても、軽くしようと思えばできるのです。わたしたちは漆黒の深い淵の向こう側に浮上し、以前に増して強く、毅然とした、より善い男女となることができます。

試練という清めの炎を乗り越えているわたしたちは、将来直面する人生のショックに立ち向かい、それに耐え得る人格を培っているはずです。その結果、自らの経験を使ってほかの人々を助け、その苦しみに共感することができます。わたしたちが個人的に経験した忍耐の実例は人に希望を与え、家族を元気づけることができます。将来に、より適合した人間になります。

なかなか逆境が退いていなくても、わたしたちはいつでも逆境を過去のものとする選びができます。すさまじい迫害のただ中にいたアルマとその民に主が与えられた約束は、わたしたちへの約束でもあります。

「あなたがたの頭を上げて喜びなさい。わたしは、あなたがたがわたしと交わした聖約を知っている。わたしは自分の民と聖約を交わし、その民を奴隷の状態から救い出す。

またわたしは、あなたがたの肩に負わされる荷を軽くし、……あなたがたの背にその荷が感じられないほどにしよう。」(モーサヤ 24:13-14)

さらに主は明言しておられます。「わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。」(ヨハネ 14:18)

### 天の助けを求める

天の助けははっきりそれと分からないこともあります。さらに増すはずだった重荷が軽くされ、進路が変えられたためにわたしたちに届くことがなかったのに、すぐにはそうと見えなかったり、分からなかったりすることもあるかもしれません。

主は約束しておられます。「見よ、まことに、

まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしの目はあなたがたのうえにある。わたしはあなたがたの中にいるが、あなたがたはわたしを見ることできない。」(教義と聖約 38:7)

もちろん、わたしたちは人にも自分にも、非常に忍耐強くなる必要があるかもしれませんが。すべての問題が解決するには時間を要することが多いからです。わたしたちの信仰がからし種の大きさしかないと思えるときも、前進すれば、主もわたしたちとともに前進してくださいます。天の助けを求めれば、思いがけない方法でかもしれませんが、それは与えられます。

わたしたちは失ったものを嘆くのではなく、与えられているものに感謝する力を見いだすことができます。興味深いことに、山火事、洪水、大嵐などの自然災害によってすべての財産を失った人々が、その気持ちを同じように表現するのをよく耳にします。彼らはほとんど異口同音に言います。「少なくともほんとうに大切なものは失っていない」と。

パウロの証は励みになります。

「わたしは、どんな境遇にあっても、足ることを学んだ。

わたしは貧に処する道を知っており、富におる道も知っている。わたしは、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に処する秘けつを心得ている。

わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。」(ピリピ 4:11-13)

記されてあるとおり、「人生の中で経験するすべての不公平なことは、イエス・キリストの贖いによって正されるのです。」<sup>2</sup>

どのような境遇にあらうと、逆境を過去のものとし、主の助けによって暗闇から抜け出し、豊かな光を浴びることができる時がやって来ます。■

### 注

1. 「夜明けだ、朝明けだ」『賛美歌』1番

2. 「わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド」(2004年)、52

# 決して独りではない

アンドリア・デーン・キャソレタ

この3年間、試しを受ける機会がありました。それを通して、どんな試練に遭おうと、神とともにいれば、独りで立ち向かう必要がないことを知りました。

16歳の誕生日のすぐ後、アトピー性皮膚炎にかかったことを知りました。毎朝、鏡で体中に出た湿疹を見るのが苦痛でした。試しの機会ととらえようと自分にチャレンジを課しました。自分を哀れむ代わりに、試練があっても毎日恵みを数えるという、若い女性の教師に教えられたことを試してみたのです。今でも肌はきれいになっていませんが、家族、友人、そして与えられた音楽の才能に感謝しています。脚も、両手両足もそろって、目が見え、耳が聞こえます。ほんとうの美は外見ではなく、人の内面にあることを知っています。

でも、湿疹は少しずつ、わたしの気持ちをくじいていきました。前のように気さくに人と接することができず、ほほえむこともなくなりました。相談した多くの医師は皆、クリスマス前には「完璧」な肌になると断言してくれました。でも、わたしは確信が持てませんでした。皮膚病が引き起こした内気さを克服する力が与えられるように毎日

祈りました。

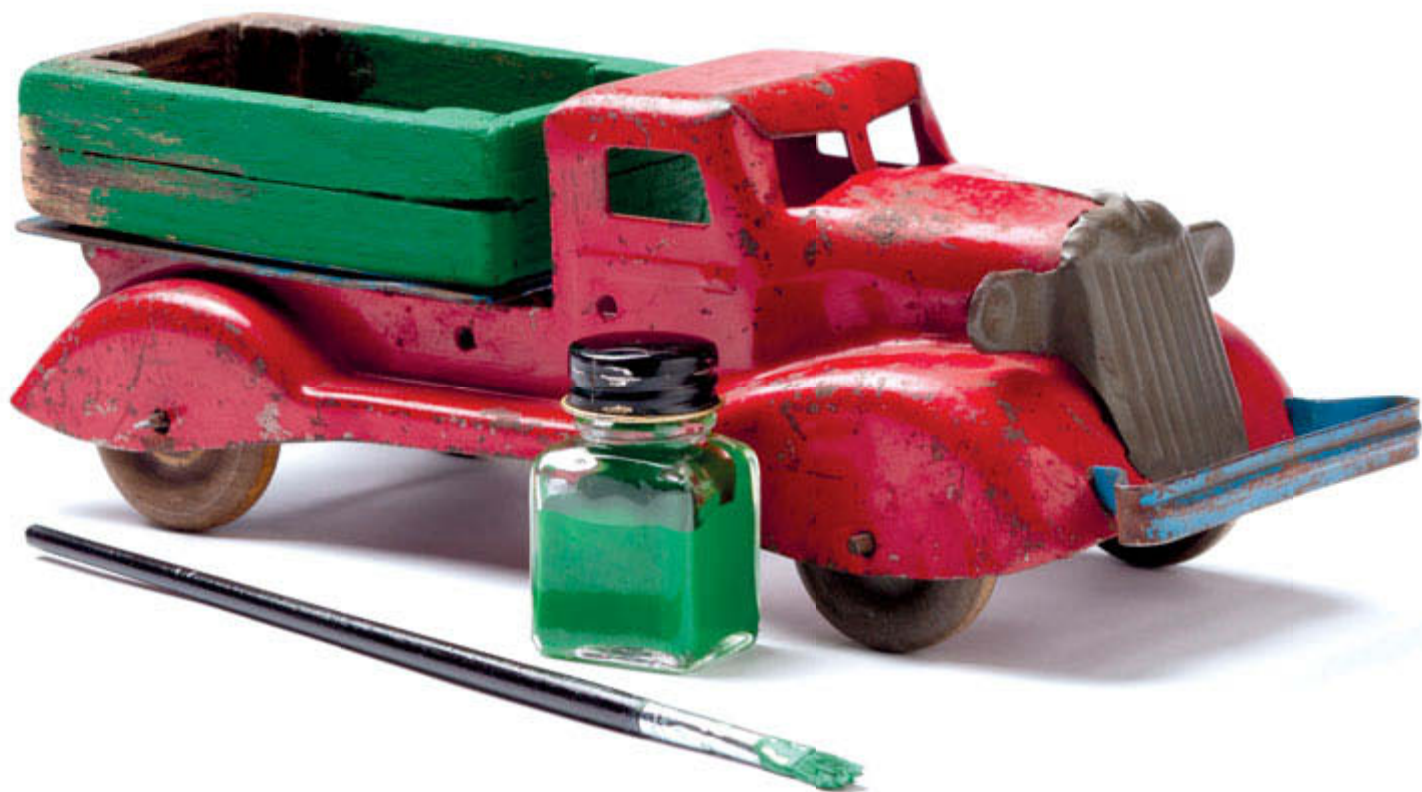
みんなはずっと、苦しい状況について考えるのをやめ、普段どおりに皮膚の問題など全然ないかのように振る舞えばいいと言いつけてくれました。でも、簡単には実行できませんでした。母はわたしを慰め励まそうと、聖文の物語を優しく、繰り返し話してくれました。

教義と聖約24章8節にはこう記されています。「苦難の中で忍耐強くありなさい。あなたは多くの苦難を受けるからである。しかし、それに耐えなさい。見よ、わたしはあなたの生涯の最後まで、あなたとともにいるからである。」この聖句はわたしの生きる指針になりました。しおりやノートに書き写し、部屋にもはってあります。今では、試練のときも最善を尽くすよう励ましてくれる大好きな聖句の一つです。

この試練に耐えるのは難しいことでしたが、今は将来訪れる試練にもっと備えられています。天の御父はどんな試練にも対処できるよう、わたしを備えてくださったのです。今では、どんな試練に遭おうと、独りで立ち向かう必要がないことを知っています。■



# クリスマスの季節の預言者たち



**16** 人の末日の預言者の生涯はクリスマスの精神の模範であり、救い主イエス・キリストの誕生という、20世紀以上前にベツレヘムの馬小屋で起きた、たぐいまれな出来事をわたしたちに思い起こさせてくれます。彼らの模範に従えば決して間違った方向に向かうことはありません。特にクリスマスの時期はそうです。

## 愛の贈り物

困っている人々に愛と奉仕の贈り物をささげること、それは預言者たちのクリスマスの体験に共通する特徴です。大恐慌の間の1931年、ハロルド・B・リー大管長はソルトレーク・シティーにある大きなステーキの会長を務めていました。リー会長は、ステーキの会員が必要としていることを知り、彼らの困窮を和らげるために、自分の力の及ぶ限り努力しようと決心しました。調べてみると、ステーキ内の半数以上に当たる約5,000人がほかの人の助けに頼っていること

が分かりました。その中には10歳以下の子供が1,000人近く含まれていました。リー会長は、どの子どもも悲しいクリスマスを過ごすことのないように会員たちを動員しておもちゃを集め、ワークショップを開いて中古のおもちゃを修理し、ペンキを塗り替え、きれいにしました。彼はステーキ内のすべての家族がクリスマスディナーを食べられて然るべきだと考え、その実現に向けて食料の寄付を募りました。<sup>1</sup> 後に使徒として、リー長老は同じような奉仕と犠牲と労働の原則に基づく教会の福祉プログラムを組織するよう依頼されました。

トーマス・S・モンソン大管長が少年のころ、クリスマスを楽しんでいるときに友人から驚くべきことを尋ねられました。「七面鳥ってどんな味がするの？」彼は鶏肉とりにくのような味だと答えましたが、この不運な友人はきっと、どちらも食べた



ことがないのだと気がつきました。そればかりか、友人の家にはクリスマスディナーを作る材料が何もなかったのです。「どうしたらいいか考え込みました」とモンソン大管長は言いました。「自分には七面鳥も、鶏肉も、お金もありませんでした。そのとき、自分がウサギを2匹、ペットとして飼っていることを思い出しました。わたしはすぐに友人の手を取り、ウサギ小屋へ連れて行くと、ウサギを箱に入れ、友人に手渡してこう言いました。『さあ、この2匹のウサギを持って行って。鶏肉みたいにおいしいよ。』……空になったウサギ小屋の戸を閉めるとき、涙があふれました。でも、悲しくはありませんでした。温かさ、言葉では言い表せない喜びの気持ちが心を満たしました。記憶に残るクリスマスでした。』<sup>2</sup>



### 家族の結びつきを強める

エズラ・タフト・ベンソン大管長の記憶に残るすばらしいクリスマスは、1923年のクリスマスイブに、イングランドでの2年半の伝道を終えて、アイダホ州ホイットニーにある家族の農場へ帰還したときのことです。両親と10人のきょうだいとのうれしい再会の時は、同時にクリスマスへの熱意と喜びに満ちた時でもありました。両親は彼に特別に夜更かしを許し、子供たちが寝ついた後のクリスマスの準備を手伝わせてくれました。両親と一緒に作業をしながら、彼は静かに伝道の経験を分かち合ったのでした。子供時代を過ごした家でのこの「特別な夜」、彼は涙をこらえることができませんでした。<sup>3</sup>

預言者の生涯は、クリスマスの時期に家族との結束を固めるようわたしたちを励ましてくれます。ジョセフ・F・スミス大管長はまだ若い父親だったころの、お金が1セントもなく子供たちにプレゼントを買うことができなかったクリスマスのことを覚えていました。クリスマスの直前、彼は家を出て通りを歩き、店の窓に並ぶ、自分が買うことのできないすばらしい品物の数々を見ました。絶望の淵に立った彼は人けのない場所を見つけると、心痛を静めるために「子供のよう泣きました。」しかし、それから涙をぬぐい、家に帰ると子供たちと一日中遊び、「彼らの存在だけに満足し、感謝して」過ごしたのでした。<sup>4</sup> 子供たちのために物質的に豊かな

クリスマスを与えることができなくても、彼は自分の愛と時間という、父親が与えられる最高のプレゼントを彼らに与えたのです。

預言者ジョセフ・スミスは1838年のクリスマスをミズーリ州リバティーの監獄に収監されて過ごしました。彼は数人の同僚とともに、寒くて汚れた、寒さしのぎにたかざるを得なかったたき火の煙でいぶる、小さな地下牢に拘置されていました。天井は低く、まっすぐに立てないほどでした。しかし、そのクリスマスにも一つの輝かしい瞬間がありました。預言者の妻エマがクリスマス前の数日間、面会に訪れることができたのです。そのうえ、息子のジョセフ・スミス三世も一緒でした。家族の愛を感じたジョセフはこの地下牢から聖徒たちに励ましの言葉を書き送りました。「わたしたちは艱難を誇りと感じています。それは、神がわたしたちとともにおられることを知っているからです。」<sup>5</sup>

1937年、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は亡くなったばかりの最愛の妻エセルのいない生活に慣れようとしていました。エセルは、美しい歌声をもった独身女性ジェシー・エバンズに自分の葬儀で歌ってくれるよう依頼していました。そんな出会いから、ジェシー・エバンズとジョセフ・フィールディング・スミスは親しくなり、ひかれ合う気持ちが愛に発展しました。クリスマスのすぐ後、彼女はプロポーズを受け入れました。1937年のクリスマスに受け



た贈り物を振り返り、スミス大管長は「わたしは〔(妻の)ジェシーという〕クリスマス・プレゼントをもらったことに感謝している」と書いています。二人は翌年の4月に結婚しました。<sup>6</sup>

デビッド・O・マッケイ大管長の家族の毎年恒例の伝統行事は、数頭の立派な馬が「シャンシャンと鈴を鳴らして」引くそりに孫たちを乗せに行くことでした。これが家族の大好きな伝統の一つでした。80歳代になってもマッケイ大管長はこの伝統を続けました。マッケイ大管長は寒さをしのぐために厚いアライグマの毛皮のコートと大きな手袋を身に着けました。小さい子供はそりに乗りましたが、大きい子供たちはそりの後ろに結びつけた「自分のそりに乗って後ろから風を切って滑っていました。」このような長く記憶に残るクリスマスのお祝いの終わりに皆でピアノを囲み、「家庭の愛」を歌うこともありました。<sup>7</sup>

### イエス・キリストについての証

お祝いの中心を主にして、イエス・キリストについての証を増すように、預言者のクリスマスの経験が教えていることが、恐らく最も大切なことでしょう。1876年、ユタ州セントジョージ神殿が完成に近づいていました。地下、主要な部屋、そして結び固めの部屋の奉獻式が1877年1月1日に

予定されていました。<sup>8</sup> クリスマスが奉獻式のわずか7日前ということもあり、神殿が予定どおり完成するよう助けるためにセントジョージの多くの人々が必死で働きました。

神殿の初代神殿会長を務めたウィルフォード・ウッドラフ大管長は、クリスマス当日も男性たちが電動丸のこを使って忙しく働き、40人の女性がカーペットを縫うために丸一日を神殿で過ごしたと日記に書き記しています。<sup>9</sup>

予定どおりの完成が危ぶまれたものの、そのクリスマスの季節に彼らがささげた労苦は報われました。働くことが彼らのクリスマスのお祝いでした。1月1日、2,000人の出席者の前でウッドラフ大管長は神殿の一部を奉獻する祈りをささげました。聖徒たちがノーブー神殿を放棄せざるを得なくなった日から30年以上がたっていました。

第二次世界大戦中、合衆国の多くの町では燃料の節約のために毎晩停電を実施していました。ソルトレーク・シティーでは、ソルトレーク神殿の投光照明が消されていました。神殿は何年も暗い街の中で暗くたたずんでいました。ヨーロッパで停戦宣言が出されたとき、ヒーバー・J・グラント大管長は神殿の投光照明の再開を指示しました。

1945年のクリスマス用にジョージ・アルバート・スミス大管長は霊を鼓舞する意義深いクリスマスカードを計画しました。表は紺色の背景に美しく照らし出されたソルト

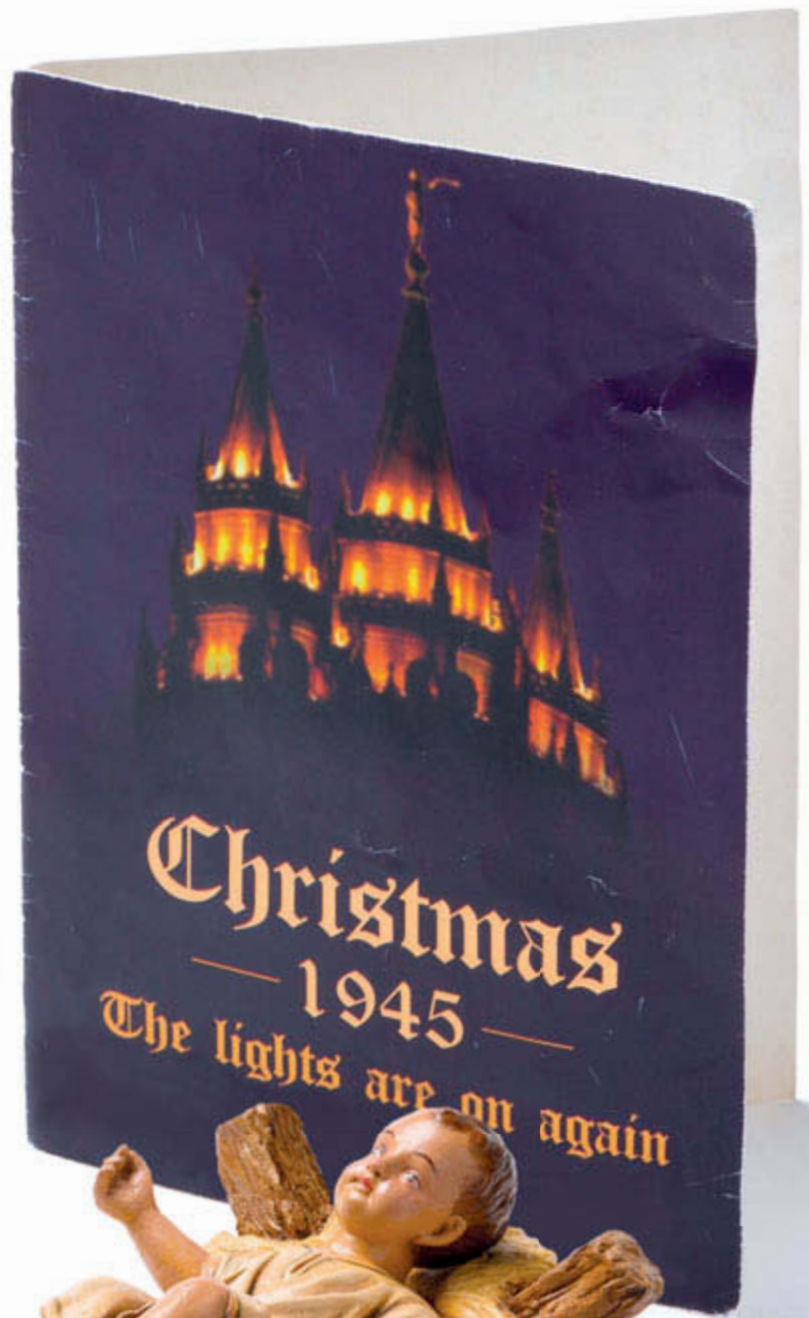
レーク神殿の有名な3つの尖塔<sup>せんとう</sup>とそこに立つ天使モロナイの写真でした。下には「クリスマス——1945年」と、「あかりは再びともされた」というメッセージが添えられていました。<sup>10</sup> 死と破壊の長い年月の後に一人一人が感じた喜びを、これ以上雄弁に表す言葉はほかになかったに違いありません。

しかし、この美しいクリスマスカードはまた、スミス大管長がイエス・キリストと福音の回復について証する方法でもありました。終戦が暗い所に平安と光をもたらしたように、数世紀にわたる大背教の後、福音の回復が、世界中のすべての人々のために輝く真理の光を「再びともした」のです。

末日の預言者たちの愛と奉仕と信仰と犠牲の模範は、クリスマスの季節の真の喜びが、キリストが生きられたように生きることを通して得られることを<sup>あかし</sup>しています。ハワード・W・ハンター大管長が言ったように、「真のクリスマスはイエス・キリストを、現実の、力強い、鼓舞する力として自分の生活に受け入れる人のところへ来ます。ほんとうのクリスマスの精神は、主の生涯と使命にあるのです。」<sup>11</sup> ■

注

1. ラリー・C・ポーター, "Remembering Christmas Past," *BYU Studies*, 第40巻, 3番(2001年), 94 - 96 参照
2. トーマス・S・モンソン, "Christmas Gifts, Christmas Blessings," *New Era*, 1986年12月号, 7
3. ポーター, "Remembering Christmas Past," 104 - 105 参照
4. ジョセフ・F・スミス, "Christmas and New Year," *Improvement Era*, 1919年1月号, 267
5. ジョセフ・スミス, ポーター, "Remembering Christmas Past," 53
6. ジョセフ・フィールディング・スミス, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニアとジョン・J・スチュアート著, *The Life of Joseph Fielding Smith* (1972年), 255
7. デビッド・ローレンス・マッケイ, *My Father. David O. McKay* (1989年), 70 - 71 参照
8. 完成したユタ州セントジョージ神殿の最終的な奉獻式は、4か月後の1877年4月6日から8日まで行われました。
9. *Wilford Woodruff's Journal*, スコット・G・ケニー編, 全9巻(1983 - 1985年), 7: 297 参照
10. アルバート・L・ゾーベル・ジュニア, "It Being Christmas," *Improvement Era*, 1949年12月号, 826 - 827 参照
11. *The Teachings of Howard W. Hunter*, クライド・J・ウィリアムズ編(1997年), 269



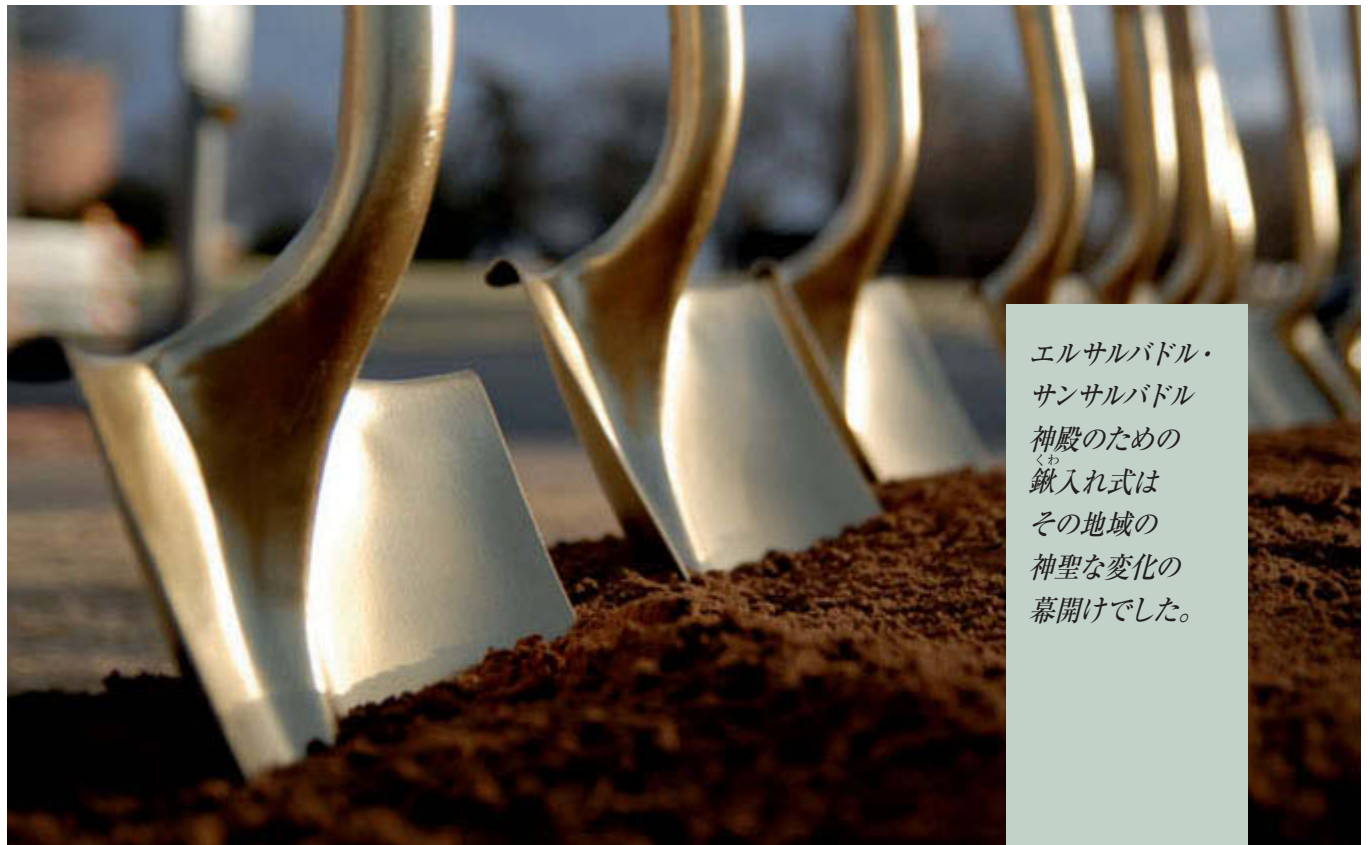
# 神聖な変化

エルサルバドル・サンサルバドル神殿は景観を変えただけではありません。  
その影響は心と家族、そして国全体を変えつつあります。

## 丘の変化

**20**08年9月20日、約600人の末日聖徒がエルサルバドルのサンサルバドル市にある、雨でずぶ濡れになった丘に集まりました。彼らは長年プランテーションとして使われていた土地に立ちました。中央アメリカ地域会長会の指示の下、彼らはともに祈り、証の言葉を分かち合いました。遠からずその選ばれた場所に起こる変化を期待しながら、数人が真新しいシャベルを古い土壌に沈ませました。

2011年8月21日、敬虔な中にも喜びにあふれた数千人の末日聖徒が丘の上であいさつを交わしていました。もはやプランテーションの痕跡はなく、そこはエルサルバドルで最も神聖な場所に変わっていました。聖徒たちは神殿の周りに集まりました。神殿を主に奉献することになっている預言者、大管長会のヘンリー・B・アイリング管長の到着を今か今かと待ちわびていました。昔からの教会員の一人がささやくような声で、その場所が周辺と隔離された「地上の天国の一片」のような気がすると言いました。



エルサルバドル・サンサルバドル神殿のための鍬入れ式はその地域の神聖な変化の幕開けでした。

エルサルバドル・  
サンサルバドル  
神殿の建設で  
その地に変化が  
あったように、  
イエス・キリストの  
福音によって、  
アマドとイベリンと  
ミッシェルの人生が  
変わりました。

## ある家族の変化

2010年の4月、イベリン・ビヒルは夫のアマドが信仰を失いつつあるのではないかと心配していました。まことの教会は存在しないという結論に達した彼は、11年間、どの教会にも出席していませんでした。イベリンは一度も神を信じることをやめることなく、主の御言葉を聞くことを切望しながら様々な教会を訪問しましたが、どの教会にも満足できずにいました。泣きながら目覚める朝もありました。そんな日は天の御父からの導きを求めて心から祈りました。主について知りたいとこれほど切に願っているのに、どの教会へ行っても正しいと感じないのはなぜかと主に尋ねました。また彼女は、いつか家族が一つの教会で一致を見いだすことができるように祈りました。

2011年8月23日までに、アマドとイベリン・ビヒルは首都の丘に起きた変化とよく似た変化を経験しました。白い衣を身にまとい、二人は9歳の娘ミッシェルと3歳の息子クリスティアンと一緒に結び固めの部屋に入りました。彼らはエルサルバドル・サンサルバドル神殿で永遠に結び固められた最初の家族になったのです。参入した神殿のように、彼らは主への奉仕のために新たに自らを奉献し、その献身さにおいて一致していました。

## ビヒル家族の物語

「わたしたちの物語の始まりは」とアマドは言います。「一組の宣教師を見つけた、というか彼らがわたしたちを見つけてくれたことから始まりました。わたしたちはイベリンの両親の家から帰るところで、幾つも買い物袋を提げていました。長老たちがわたしたちを見かけ、通りを渡って自分たちの方へ向かって来るのに気がつきました。一人が優しく助けを申し出てくれたのです。

また、わたしたちを訪問させてくれないかと尋ねました。わたしがいいよと言ったのは、ほとんど好奇心からです。それまで教会のことはほとんど知りませんでした。ほかの人たちから聞いたことだけです。

長老たちが家に来ることに同意した後、妻に言いました。

『あまり期待してもらっちゃ困るよ。ほくがどこかの教会に入るなんて妄想はしないでくれ。彼らがどんなことを言うのか興味があるだけだよ。』

長老たちの訪問が始まりました。自分が正しいと思えないことを彼らが一つでも言ったら、丁寧に帰ってくれと言うつもりでした。でも、彼らはとても親切で、ほかの教会の悪口を全然言わないことに感銘を受けました。すばらしい愛と熱意をもって教え、たくさん質問しても辛抱強く答えてくれました。すぐに彼らが大好きになりました。』

アマドとイベリンは、バプテスマを受けて末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に確認されるために少しずつ自らを備えました。イベリンの最大のチャレンジは知恵の言葉でした。大好きな

コーヒーをあきらめなければならぬことに気づいたときは悲しくなりました。アマドにはあきらめなければならぬ悪習慣は何もありませんでした。ただ、真理をしっかりとつかみ取れるよう学ぶ必要があっただけです。彼は宣教師の教えを信じただけでなく、永遠の家族、死者のためのバプテスマ、教会のフェローシップや組織など、自分たち夫婦がほかの教会に欠けていると感じていた教義や慣例も受け入れました。しかし、バプテスマの決意をためらっていました。教会に入ってから間違っていたことが分かったらどうしようと心配していたのです。

このような心配も間もなく消えてなくなりました。イベリンは助けを求めて祈り、「こんなものに祝福を奪われてなるものか」と自分に言い聞かせ、コーヒーの習慣を克服しました。およそ2か月間迷った後、アマドはバプテスマを受ける決意をしました。イベリンによると、彼は今ではよく「ほくたちは教義を喜んで受け入れる必要がある」と言うそうです。

## 変化と祝福

アマドとイベリンとミッシェルは2011年の6月の初めにバプテスマと確認の儀式を受けました。イベリンは言います。「バプテスマを受けてから、すべてが変わり始めた

神殿は  
エルサルバドルの  
人々の  
生活と心を  
変え続ける  
でしょう。



感じることができました。家族は教会にあって一致しています。わたしたちは回復された福音を見いだしました。それ以来、試練や病気も経験しましたが、天の御父はわたしたちに多くの祝福を注いでくださいました。」

アマドは言います。「わたしが最初に気づいた変化は家族の一致でした。以前に家庭が崩壊していたわけではありませんが、もっと結びつきが強まり始めたのです。福音の教義が助けになりました。教会の指導者から家族の神聖さについて学ぶにつれ、家族を重視するべきだともっとよく考えるようになりました。」

ビヒル家族のビショップのセサル・オレジャナも彼らの生活の変化に気づきました。バプテスマの直後、アマドがオレジャナビショップのところに来て「<sup>じゅうぶん</sup>什分の一を納めたいのですが、やり方が分からないのです」と言ったのです。

オレジャナビショップは、什分の一は収入の10パーセントだと説明しました。アマドは少し心配そうでした。当時、イベリンは仕事をしていましたが、彼は失業していました。アマドはビショップに説明しました。「家計はいつも赤字ですが、什分の一を納めたいのです。」

「兄弟、主は多くの約束をしておられます」とオレジャナビショップは答えました。二人で聖文から、忠実に什分の一を納めることによって与えられる祝福について読みました。その中には預言者マラキを通して与えられた主の御言葉も

ありました。「十分の一全部をわたしの倉に携えてきなさい。これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。」(マラキ3:10)

このような聖句を一緒に読んだ後、オレジャナビショップはこの新しい改宗者を見て言いました。「什分の一を納めたら水道代や電気代が払えなくなるにしても、什分の一を納めなさい。什分の一を納めたら家賃が払えなくなるとしても、什分の一を納めなさい。什分の一を納めたら家族のために食べ物を買うお金が足りなくなるにしても、什分の一を納めなさい。主はあなたをお見捨てにはなりません。」

次の日曜日、アマドは再びオレジャナビショップのところへ来ました。今度は質問をしませんでした。彼はただビショップに封筒を渡し、「ビショップ、わたしたちの什分の一です」と言ったのです。

この経験を思い起こし、オレジャナビショップは言います。「あれ以来、彼らは忠実に什分の一を納めています。」財政的に厳しい時期に家族がビショップの倉から幾らか品物を受け取ったことがありました。それを除けば、主は彼らを祝福し、自立できるようにしてくださいました。イベリンは昇級し、アマドは良い仕事を見つけることができました。イベリンはその後失職しましたが、忠実であることによって霊的および現世的な祝福を受けるために、彼らは什分の一を

納め続けました。あるとき、オレジャナビショップはアマドに家計はどんな様子か尋ねました。アマドは答えて言いました。「大丈夫です。時々食べ物がありませんが、十分です。そして何よりも、わたしたちは主を信頼しています。」

しばらく什分の一を納めた後、イベリンとアマドはオレジャナビショップに彼らが受けた祝福について話しました。マラキ3章10節を参照しながら、「わたしたちは主を試してみました」と言いました。オレジャナビショップの約束のとおり、主は彼らをお見捨てにはなかったのです。

### 新たな見地

イベリンとアマドは感動をあらわにして、結び固めの部屋に集った日のことを話します。同じ日にエンダウメントを受けて結び固めの準備ができるころには、子供たちがじっとしてられないのではないかと心配していました。特に心配だったのが元気な3歳の息子クリスティアンのことでした。しかし、子供たちは落ち着いた敬虔な様子で結び固めの部屋に入って来ました。まるでそこにいる理由が分かっているかのようでした。そして、子供たちが結び固めの儀式に加わるときになると、クリスティアンが何の指示や促しもなく聖壇へ歩み寄り、両親のそばにひざまずいたのです。

イベリンは鏡に映る家族の姿を見たときのことを思い出します。アマドも、神殿だけでなく、日常生活の中で見えるものについて語ります。彼は今自分の生活を導いてくれる永遠の見地について感謝の気持ちを口にします。それは主の宮にいたときにミッシェルとクリスティアンが感じ取ったと思える見地です。その後、特にビヒル家族に聖約の下で生まれた新しい娘を8月に迎えてから、その見地はさらに広がっています。

### 山の上の明かり

ビヒル家族がイエス・キリストの贖いの犠牲と、母国に



ビヒル家族は  
2011年8月に  
奉献された  
エルサルバドル・  
サンサルバドル  
神殿で  
結び固めを受けた  
最初の家族です。

建設された主の神殿の影響を通して得た変化は永遠に続くでしょう。プランテーションが神聖な地へと変えられたために、彼ら自身の家庭もより神聖になったのです。

彼らは色々な意味で、国全体へなされた約束を代表しています。エルサルバドルは、日々世の騒音と誘惑の攻勢にさらされる数百万もの善良で正直な人々が住む国です。エルサルバドルの聖徒たちは母国を愛し、そこに建つ主の神殿を見るとき、希望を新たにします。彼らはアイリング管長がささげた以下の神殿の奉献の祈りの言葉に確信を見いだしています。

「わたしたちはエルサルバドルの国のうえにあなた様の祝福があるようにお祈りいたします。国民が自由と機会に恵まれる祝福にあずかれるよう、統治する人々の心を動かしてくださいように。平和が地に行き渡りますように。」

あなた様の業がこの地で栄えますように。福音のメッセージが国中の人々の心を動かしますように。彼らがバプテスマの水に来て、あなた様に忠実で正しくあり続けますように。

……感謝の心で、あなた様の御心の達成と永遠の業の成就のためにこの神聖な建物とその周囲を奉献し聖別いたします。その影響が山の上の明かりのように国中で感じられますようにお祈りします。」<sup>1</sup>

この影響の多くはビヒル家族のような人々の奉仕と模範を通して感じられるに違いありません。涙をぬぐい、感動に声を詰まらせながら、アマド・ビヒルは自分と家族がキリストのもとに来て神殿の祝福を受けられるようにしてくれた宣教師たちのことを、いとおしそうに語ります。「わたしたちの願いは、子供たちが伝道に出て、わたしたちを祝福してくれたあの青年たちのようにほかの家族を祝福することです。」■

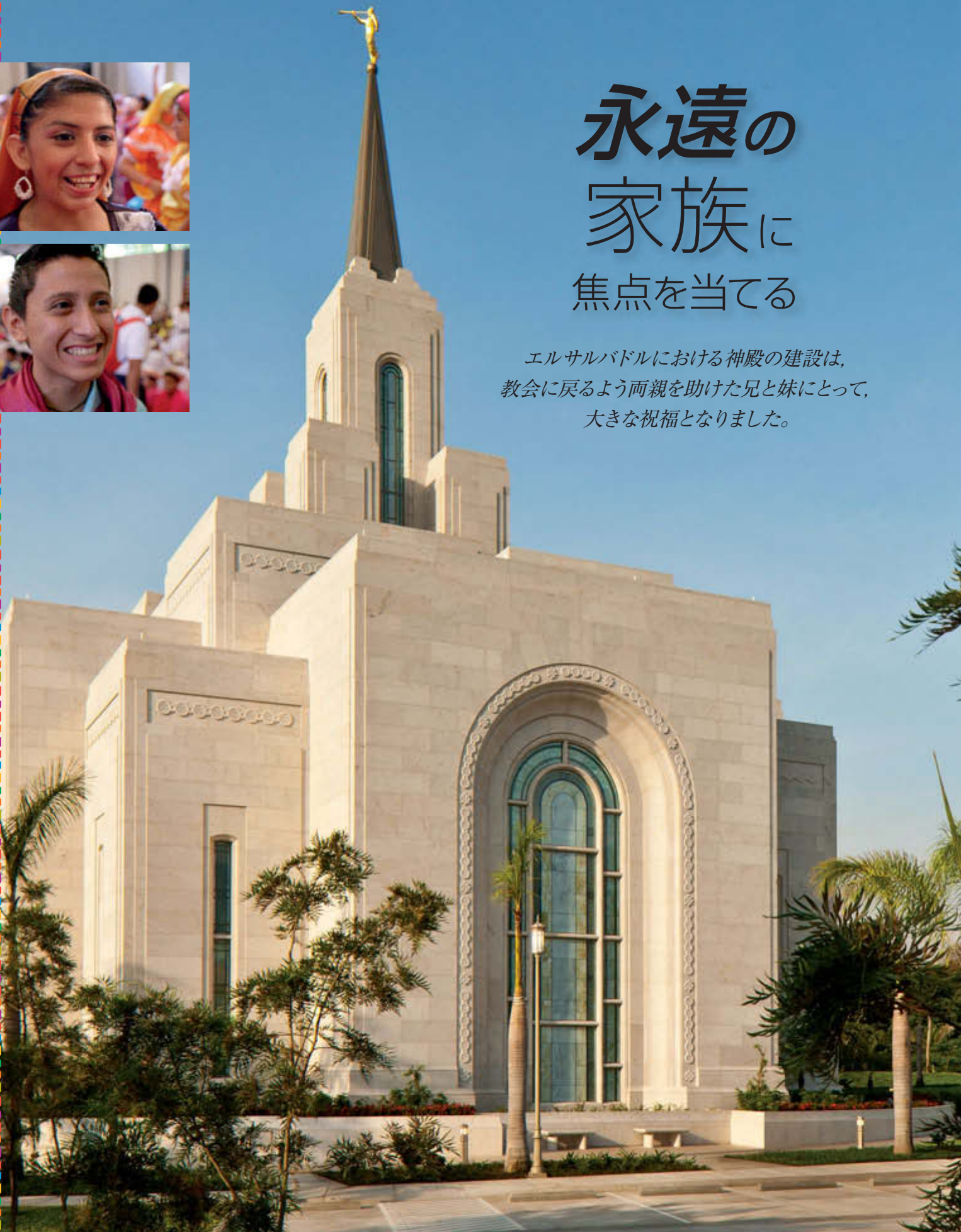
#### 注

1. " 'May Peace Reign in the Land' — エルサルバドル神殿の奉献の祈り," Church News, 2011年8月27日, ldschurchnews.com



# 永遠の 家族に 焦点を当てる

エルサルバドルにおける神殿の建設は、  
教会に戻るよう両親を助けた兄と妹にとって、  
大きな祝福となりました。





教会機関誌

ミンディー・レイ・フライドマン

**I**ルサルバドルに住む兄と妹、ケビン・Sとジャクリン・Sは、大の仲良しで、何をするにも一緒です。二人とも福音と家族を心から愛しています。家族が永遠に一緒にいられるようにと望んでいます。

ケビンとジャクリンが幼かったころ、彼らの父親は教会員から「いつ神殿で結び固めを受けるんだい」と聞かれると、よくこう答えたものです。「エルサルバドルに神殿ができたらね。」

**両親のために祈る**

しかし、2007年にエルサルバドル・サンサルバドル神殿の建設が発表されたころには、ケビンとジャクリンの両親は教会に来なくなっていました。しかし、現在18歳のケビンと15歳のジャクリンは、両親がいつの日か教会へ戻るよう祈りながら、教会に行き続けました。

「両親がもう一度教会に活発になるよう天の御父に祈り求めなかったことはこれまで一度もありません。」ジャクリンはそう語ります。「天の御父がわたしたちに最善のものを望み、わたしたちが永遠の家族となるよう望んでおられることを知っています。」

また二人は両親に良い模範を示そうと努力しました。「希望を捨てたことはありませんでした。」ケビンはそう語ります。「いつも聖文を読み、祈りました。両親はわたしが勉強し、ホームティーチングや教会の活動に出かけて行く姿を見ました。戒めを守るよう努め、福音にあって成長しようと努力するとき、両親はわたしの模範を見ました。」

**神殿の御霊みたまを感じる**

ケビンとジャクリンが両親のためにささげる祈りは、神殿が完成へと近づくにつれて、こたえられ始めました。「指導者が神殿の奉献と文化式典について発表したとき、わたしたちは両親を招待しました。」ケビンはそう語ります。「自分たちがこれらの行事に若人として参加できるという特権について話しました。これが両親にとって大きな動機となり、霊的に成長するための助けとなりました。」

文化式典への出席に加え、家族全員で神殿のオープンハウスに出席することができました。

「両親は教会に行っていないでしたが、教会と福音は神聖なものであるという考えは変わっていませんでした。」ケビンはそう語ります。「神殿に入ったとき、父は妹たちと

わたしに、神殿に入るときには白い衣装を着ること、この建物の中で神聖な儀式を行うことについて説明し始めました。」

ケビンは2歳になる妹が、普段は落ち着きがないのに、神殿の中にいる間、ずっとおとなしくしていたことに驚きました。また様々な部屋や絵画を見ているとき、母親の目に涙が浮かんでいることに気づきました。家族で結び固めの部屋に入ったとき、ボランティアのツアーガイドが、ここで家族は永遠に一緒にいられるよう結び固められると説明してくれました。

「すると小さい妹がわたしたち一人一人に触れ、こう言い出しました。『わたしのお母さん、わたしのお父さん、わたしのケビン、わたしのジャクリン。』」ジャクリンはそう語ります。「まるで天の御父が彼女を通して、わたしたちは皆、彼女のものであると語りかけておられるようでした。」

「それから妹はわたしたちを抱き、わたしたちにキスし、両側にある鏡を指さしました。」ケビンはそう語ります。「わたしたちは一緒に鏡に映る自分たちの姿を見ました。それは驚くべき光景でした。その日、結び固めの部屋を出て行くときに、わたしたちはこの部屋に戻れるよう努力するという目標を立てました。」

**大きな視野を取り戻す**

神殿のオープンハウスに出席した後で、この家族に幾つかなの変化が起こり始めました。「神殿に行ってからというもの、



PHOTOGRAPHY



## 最も大切な目標

「まだ神殿に参入したことがなければ、あるいは、参入したことはあっても現在推薦状を受ける資格がなければ、神殿に参入するふさわしさを身に付けること以上に大切な目標はありません。……教会員として受ける最も大切に最高の祝福は神の神殿で受けるこれらの祝福です。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「聖なる神殿——  
世界に輝くかがり火」  
「リアホナ」  
2011年5月号, 93

オンライン・エクストラ  
[lds.org/go/temple12](https://lds.org/go/temple12)  
にアクセスし、  
ケビンとジャクリン、  
そしてエルサルバドル・  
サンサルバドル神殿の  
奉献式に関するビデオを  
視聴してください。

わたしたちの家族は大きな視野を取り戻しました。」 ケビンはそう語ります。「そのとき以来、我が家では家庭の夕べをするようになりましたし、両親はわたしたちを教会へ連れて行き、わたしたちと一緒に礼拝堂の最前列に座ってくれるようになりました。」

2011年8月、ケビンとジャクリンは、ステーキセンターで両親とともに座って神殿の奉献式の放送を見ることができ感謝しました。

「2007年に神殿の建設が発表されたとき、両親はあまり活発ではありませんでした。奉献式と一緒に参加する機会など決していなかったらと思うしていました。」 ケビンはそう語ります。「両親が自分と一緒に座っているとき、

天の御父はわたしの祈りにこたえてくださったと心から感じることができました。家族とともに奉献式に出席できたことは、わたしの生涯で最もすばらしい祝福の一つとなりました。」

「神殿の経験は、わたしを強めてくれました。」ジャクリンはそう語っています。「何よりもわたしを強めてくれたのは、神殿は人生を変えるとはっきり分かったことです。神殿はわたしの両親が再び教会に活発になれるよう助けてくれました。神殿で結び固めを受けるということが、現在、わたしたちの掲げている目標です。わたしは天の御父がわたしたちに最善のものを望んでおられると知っています。」■



## 家庭の中に愛あらば

**ケ**ビンとジャクリンはとても仲の良い兄妹であり、きょうだいのきずなは人生に大きな実りをもたらすということを学びました。二人は次のような方法で支え合っています。

ジャクリンはこう語ります。「兄はわたしが家庭でも学校でも義務を果

たせるようにいつも助けてくれます。いつでも兄の支えがあります。いつでも兄がわたしを愛し、支えてくれることを何の疑いもなく知っています。悲しいとき、落ち込んでいるときに、兄はいつもそばにいてわたしを励ましてくれます。」

ケビンはこう語ります。「気落ちしているとき、妹はわたしを支え励

ましてくれます。わたしの良い点を褒めてくれます。おかげですごく気分がよくなります。彼女の模範から多くのことを学びました。信仰を捨てそうになると、疑わないように、すべては望んだ以上の良い結果になるからと言ってくれます。」

この二人の若人は、自分たちの結びつきを喜び、世間一般のきょうだいと違ってけんかをしないという事実を楽しんでいると語ります。「変わっていると言われるかもしれませんが、妹とのこのような関係を天の御父に感謝しています。」 ケビンはそう語ります。

# 奉仕を通して 主の愛を 感じる

ミッシェル・ワステン



**あ**と2週間でクリスマスという時のことです。わたしはこの季節には付き物のストレスを感じていました。プレゼントを買ったり、クリスマスツリーの飾りつけをしたり、贈り物を送ったりしなければならぬからです。

数か月間、わたしは5人の幼い子供を抱え、自分の前に立ちほだかる日々の務めに押しつぶされそうでした。教会も、幼い子供たちをきちんといすに座らせることに終始し、機械的に出席しているように思いました。もっと御霊を感じ、霊的な経験をすることが増えてほしいと切に思いました。

ちょうどそのころ、妹は近隣の州で新しい家を購入し、クリスマス前に引っ越しの片づけを済ませようと頑張っていました。それはどの家族にとっても大変な作業ですが、彼女にとっては、さらに大変な困難を伴う仕事でした。というのも、彼女は妊娠8か月で、二人の幼い子供がいて、おまけに四肢麻痺の夫の面倒も見なければならなかったからです。

妹の直面している苦勞が分かったので、どのような進み具合なのか確認しようと思って電話をしました。彼女は引っ越しのことに関しては楽観的で、新しいワードの会員が助けてくれるという希望を持っていました。しばらく語り合った後で、わたしは彼女の幸運を祈り、400マイル(650キロ)離

れた我が家からどのような助けができるか考えながら、電話を切りました。

その日の夜、ある考えが頭から離れませんでした。妹のところへ行って助ける必要があるという考えです。しかし、自分の多忙なスケジュールを見て、その考えを払いのけ、床に就きました。

翌日の朝、前日と同じ促しを受けながら目が覚めました。この度は、打ち消すことができないほど強い気持ちを感じました。わたしは夫を呼んで、こう言いました。「妹を助けに行かなくてはいけないの。」すぐに次のような返事が夫から返ってきました。「ほくも同じことを考えていたよ。」

わたしは妹に電話をして、自分の計画を告げ、その日の午後の航空便を予約しました。急いでスーツケースに荷物を詰め、子供たちに行ってきますのキスをして、空港へと向かいました。

それからの3日間、わたしは箱から荷物を出し、部屋を片づけ、クリスマスツリーの飾りつけを手伝いました。荷ほどきがほとんど終わった後、わたしは妹や妹の家族と一緒に腰を下ろし、美しいツリーにうっとりしました。5歳になる姪は、クリスマスの準備ができたことを喜び、大声でこう叫びました。「今年もすばらしいクリスマスになるわ!」

空路帰宅する中、わたしはこの大事な家族に自分自身の一部をささげること、御霊を感じたことを知りました。わたしが感じたいと心から願っていた

## 永遠に大切な奉仕

「無私の奉仕と犠牲について最も身近で最も大切な模範は、恐らく家族の中で行われるものでしょう。母親は子供を産み育てるために自分をささげます。夫は妻と子供を養うために自分をささげます。家族に対する永遠に大切な奉仕にかかわる犠牲は、数え切れないほど多く、言葉にする必要もないほど身近なものなのです。」

十二使徒定員会 ダリン・H・オークス長老  
「犠牲」「リアホナ」2012年5月号、22

御霊でした。そのような御霊を感じることができたのは、妹家族に尽くしたからでした。

自分たちのスケジュールに合い、費用もそれほどかからず、気の進まない仕事を強いられることもなければ、クリスマスの時季に行く奉仕について語るのは簡単です。しかし、ほんとうにクリスマスの真の精神を感じるためには、人に手を差し伸べる必要があります。そうすることで、救い主がわたしたち一人一人に抱いておられる愛を理解できるようになるのです。■



管理ビショップ  
ゲアリー・E・スティーブソンビショップ

# 戒めを守ることによって 得られる安全と平安

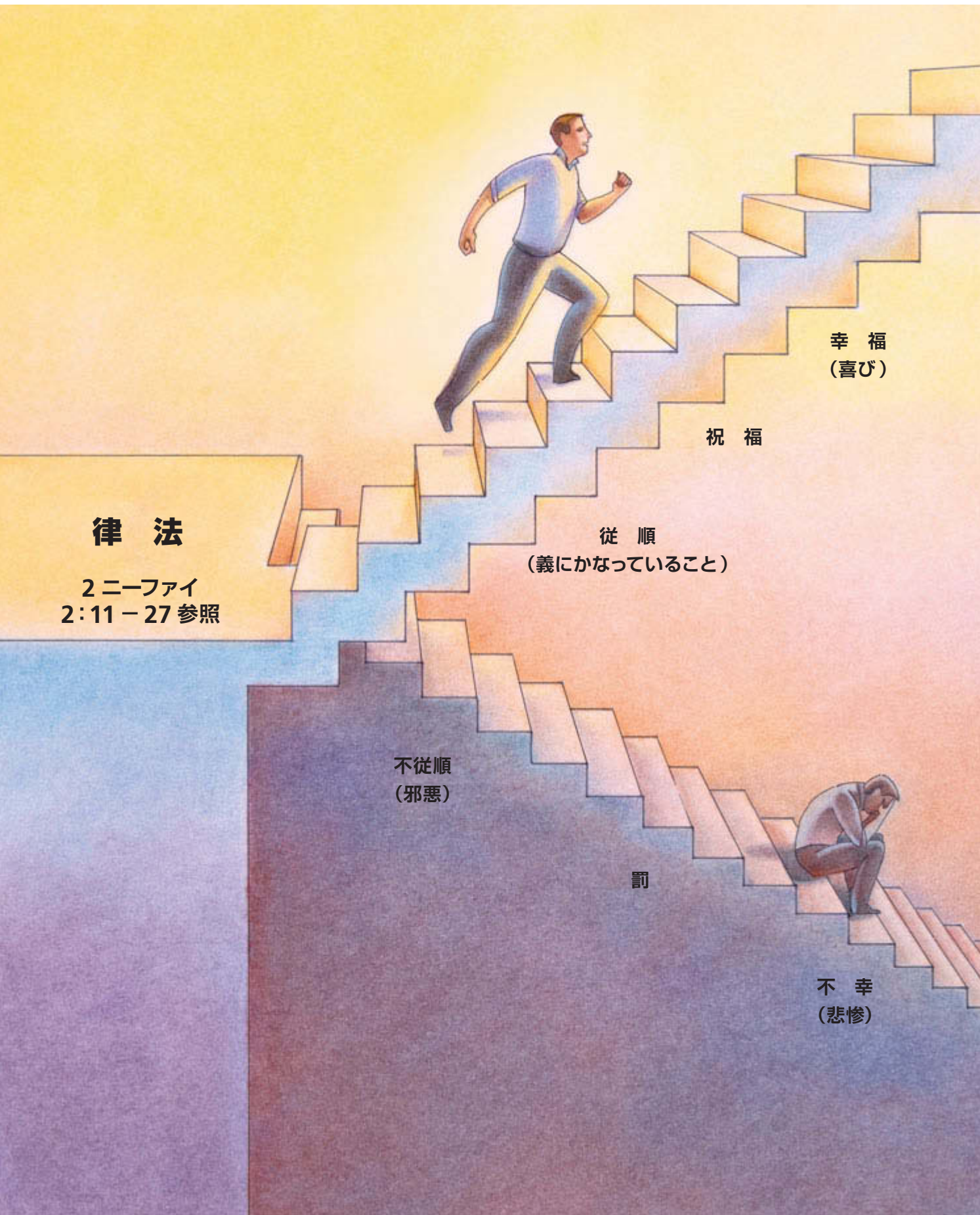
モルモン書に記されている規範と真理は  
明瞭で有益、また簡潔で貴重です。  
義にかなない従順な生活で始めるなら、  
最終的には祝福と喜びを受けます。

**現**代はデジタル情報時代であり、毎日24時間、ニュースが途切れることはなく、よくある話にまつわる一連の出来事が何度も繰り返し放送されているかのようです。ありがちな話の登場人物、例えば、俳優、スポーツ選手、政治家、あるいは財界の指導者など、並外れた才能を持つ人々が、通常、名声と人気を勝ち得ています。一方、何年にもわたる訓練あるいはひたむきな活動や犠牲、すなわちある特定の技術や職業における成功の頂点へと押し上げたものが、不祥事の渦中であって粉々に砕け散ります。

結末は、ほとんどの場合、自分の誤った行為に対する、裁判官、株主、選挙区民、あるいは家族、友人、ファンの赦しを求めて、涙ながらに嘆願する人物の悲惨な姿です。このような誤った行為の結果は、通常、心痛、屈辱、悲惨といった数多くの予期せぬ結果を、本人と家族、そして同僚にもたらすことになります。

モルモン書に登場する古代の預言者アルマは、息子に対する勧告の中で簡潔でありながらも洞察に富んだ言葉を口にしてしています。この言葉は、2,000年以上前と同様、21世紀においても当てはまるようです。「悪事は決して幸福を生じたことがない。」(アルマ41:10)

現代のほとんどすべての不祥事において、回復された福音で与えられている戒めを知り、守っていれば、個人としても社会人としても惨事を避けることができたのではないのでしょうか。



# 律法

2 ニーファイ  
2:11-27 参照

幸福  
(喜び)

祝福

従順  
(義にかなっていること)

不従順  
(邪悪)

罰

不幸  
(悲惨)

## 幸福の方式

イエス・キリストの福音に見られる具体的な方式は、幸福へと続く道を明らかにしてくれます。この方式は、モルモン書の随所に記されている分かりやすくて貴い真理であり、特に、預言者リーハイが生涯を終えようとしていたときに息子たちに与えた教えに詳しく述べられています。息子ヤコブに語りかけたリーハイは次のように教えています。「それは、すべての事物には反対のものがなければならぬからである。」(2 ニーフアイ 2:11) その後次のような短い言葉を付け加えています。「人が存在するのは喜びを得るためである。」(2 ニーフアイ 2:25)

この説教で述べられているリーハイの教えは次のように要約することができます。従順で義にかなった生活は祝福をもたらす、祝福は喜びをもたらす。逆に、不従順で邪悪な生活は罰をもたらす、罰は悲しみをもたらす。救い主は全人類の偉大な仲保者であられ、幸福と永遠の命へと続く道を歩めるよう支援して下さる。悪魔は惨めな偽りの父であり、束縛と死へと続く道を歩むよう誘う。

明らかに、悪魔はわたしたちが故意に束縛と死を選ばないことを承知していますが、自分が永遠に惨めになるので、すべての人も惨めになるよう求めています(2 ニーフアイ 2:27 参照)。そのために、悪魔は罪と不従順の結果を見誤らせます。それこそ悪魔が偽りの父と呼ばれる理由の一つです。

スパンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985 年)はこう語っています。「だれもが……偽りの父、サタンについて知っています。サタンがどのようにして真理を偽りとすり替えるか知っています。サタンは悪事を飾りつけ、美しく、楽しく、簡単なもの、さらには善良なものであるかのように見せかけます。」<sup>1</sup>

サタンはわたしたちに、幸福の方式は邪悪と罪で始まると信じさせます。サタンの誘惑は実に巧妙に覆い隠されており、サタンは時として「光の天使であるかのように」見えることすらあると警告されています(2 ニーフアイ 9:9)。主はサタンが悪魔となった経緯とサタンの目的についてこう述べておられます。

「あのサタンはわたしに背いて、主なる神であるわたしと与えた、人の選択の自由を損なおうとしたので、またわたしの力を自分に与えるように求めたので、わたしは独り子の力によって彼を投げ落とさせた。

そして、彼はサタン、すなわち、あらゆる偽りの父である悪魔となって、人々を欺き、惑わし、またまことに、わたしの声を聴こうとしないすべての者を自分の意のままにとりこにする者となった。」(モーセ 4:3 - 4)

幸福へと続く道は戒めへの従順によって義にかなった生活を送ることから始まります。戒めは現世における多くの災いを避けるようわたしたちを導く神聖な手引きとして与えられています。主はこのことを回復の初期に宣言しておられます。「主なるわたしは、地に住む者に下る災いを知っているので、わたしの僕<sup>しもべ</sup>ジョセフ・スミス・ジュニアを訪れ、彼に天から語り、戒めを与えた。」(教義と聖約 1:17。強調付加)

## 戒めに従う

これは普通には理解できないと思う人がいますが、戒めは幸福へと通じる道に沿って携えて行くものというよりはむしろ、その道の出発点にあるものです。何年前か前、日本の名古屋で伝道部会長として奉仕したときに経験した次の出来事が、この点を明らかにしてくれます。

妻のリサとわたしはある若い女性と知り合いになりました。その女性が教会に来て、宣教師の教える英会話クラスに出席するようになって間もなくのことでした。気さくで元気いっぱいな彼女は、良い仕事、長い間つきあっているボーイフレンド、家族を含む人生のバランスを上手に取っている女性でした。英会話クラスを通じて宣教師や会員と触れ合う中で、教会に興味を持ち始め、やがて宣教師のレッスンを受けるようになりました。宣教師と会って話をする度に、回復された福音が真実であるという証<sup>あかし</sup>が強くなっていくようでした。モルモン書を読み、深く考え、この書物について、また耳にしたことについて祈ったときに、彼女はそれらが真実だと分かりました。

宣教師から戒めを教わるようになると、従わなければならないと分かりました。ボーイフレンドと別れ、日曜日に働かなければならなかった仕事を辞めました。知恵の言葉を守り始め、<sup>じゅうぶん</sup> 十分の一の律法を受け入れました。彼女はとても信仰が強く、ほとんど学んだその瞬間から、戒めを守り始めました。

教会に関心があり、回復された福音を学んでいることについて家族に話したとき、両親から、宗教に深入りしたら親

子の縁を切ると言われました。戒めを受け入れた数週間のうちに、仕事もアパートも家族の支えも失ってしまいました。戒めに従った結果、明らかに、悲惨とも思える形で、人生が変わってしまったのです。

わたしは彼女の置かれた状況について深く心配しました。ある夜遅く、目まぐるしい一日の終わりに、リサとわたしは散歩に出かけました。二人でしばらく静かな時間を過ごしたかったからです。にぎやかな交差点に差しなかったとき、驚いたことに、この元気いっぱいの若い求道者が自転車に乗ってわたしたちの方へ近づいて来るではありませんか。温かい笑みを浮かべて、彼女はわたしたちにあいさつをしました。そのように夜遅く外出していることに驚き、こんな時間に何をしているのかと尋ねました。

「今度働くようになったファストフード店で、ドライブスルー窓口の夜勤の仕事に出かけるところです。」彼女はうれしそうに大きな声で言いました。

その仕事に就くということは、給与、地位、勤務時間などの労働条件が、前の仕事に比べて大幅に低下することを意味していました。人生のこの世的な面における大きな試練と挫折にもかかわらず、彼女は見るからに幸せそうでした。それからバプテスマの日取りが決まったと教えてくれました。伝道本部への帰り道、リサとわたしは、与えられたばかりの戒めに対する信仰と従順が真の喜びへと通じる道に彼女を駆り立てたことに驚嘆しました。

数週間後、彼女はバプテスマを受けました。しばらくして家族と和解し、より良い就職先も見つかりました。バプテスマを受けてから数年がたち、彼女はヤングシングルアダルトの活動で知り合った帰還宣教師の兄弟と東京神殿で結び固められました。現在は、永遠の家族となり、最近かわいい男の赤ちゃんに恵まれました。戒めを守った結果、彼女の人生に何が



起こったのか、次の短くとも美しい賛美歌が歌い上げています。

戒めを守る人を  
神は守り、導かん  
天の恵み、豊かにあり  
予言者に従いて  
み言葉を守らん<sup>2</sup>

モルモン書に記されている規範と真理は明瞭で有益、また簡潔で貴重です。義にかなない従順な生活で始めるなら、最終的には祝福と喜びを受けるのです。■

注

1. スペンサー・W・キンボール, "The Blessings and Responsibilities of Womanhood," *Ensign*, 1976年3月号, 70
2. 「いましめを守る人を」『子供の歌集』67-68

にぎやかな交差点に差しなかったとき、驚いたことに、この元気いっぱいの若い求道者が自転車に乗ってわたしたちの方へ近づいて来るではありませんか。与えられたばかりの戒めに対する信仰と従順が真の喜びへと通じる道に彼女を駆り立てたことにわたしたちは驚嘆しました。

## これほど多くの子供たちに どうすれば食料を提供できるでしょうか

**わ**たしたちの小さな支部には、様々な必要と難題を抱える家族が幾つかおり、そのことで扶助協会会長を務めていたわたしは気が重くなっていました。経済的に厳しい時代で、失業している会員もいました。

教会外でも、家族を養うのに苦労している人が多く、その目には、落胆と悲しみ、失望の色が浮かんでいるように見えました。子供や青少年の態度や表情にすら、不安と動揺がにじみ出ていました。

支部の指導者は、助けを最も必要としている人たちに、ほんの少しでも、希望と愛を感じてもらう必要があると思いました。地域に住む人々のために何かをして、愛にあふれる天の御父が彼らの試練について御存じであり、彼らを見守っておられると感じてもらう必要

があると思ったのです。

クリスマスが近づくと、わたしたちは地域に住む最も貧しい子供たちを夕食に招待してはどうかと提案しました。支部の会員たちが催し物を開いて資金を集め、ファストフードのチェーン店で食料を購入し、集会所に招待客を迎えるための準備をする、という内容でした。初等協会の子供たち、若い女性、若い男性を含むすべての会員がこれに取り組みました。

わたしたちはファストフードのチェーン店に食料を手配してもらうよう調整し、助けを最も必要としている家族を探し出すためにソーシャルワーカーと連絡を取りました。その結果、わたしたちの予想を超えるおおよそ100人の子供の名簿が手に入りました。希望を失いはずしませんでした。これほど多くの子供

たちに食料を購入するための十分な資金を集めるのは不可能に思えました。

夕食の日が訪れ、支部会長は執事の兄弟を何人か伴い、集めた基金を持って、ファストフード店へと向かいました。限られた基金でこれほど多くの子供たちにどうすれば食物を提供できるかと疑問に思いました。彼らは祈りながら行きました。幼い子供だけを招待するか、食事の量を半分に減らすか、あるいは活動そのものを中止するか、いずれかにした方がいいのではないかと考えていました。

店に着いたとき、支部会長はお金をカウンターの上に置きました。そのとき彼らの祈りはこたえられました。

店の店長は彼らを見て、ほほえみながら、食事は必要なだけ全部喜んで寄付すると言ったのです！このような親切な行為について知らされたときに、わたしたちのだれもが感じた喜びを、言葉で表現することはできません。また食料を十分に提供することで、助けが必要な大勢の子供たちを少しでも元気にすることができました。

寛大な店のおかげで、わたしたちは集めたお金を使って食料を買い、助けを最も必要としている家族のために食品の詰め合わせのバスケットを準備することができました。

この経験を通して、わたしたちは、才能を用い、良い望みを抱いて同胞のために奉仕するとき、<sup>ほらから</sup>努力が無駄になることは決してないということを学びました。できることをすべて行えば主が機会の扉を開いてくださるとい<sup>あかし</sup>わたしたちの証は強められました。■  
マルタ・フェルナンデス・レボジョス（スペイン）

支部会長がお金を  
カウンターの上に置いたとき、  
彼らの祈りは  
こたえられました。





# だれかに かわいがってもらえると いいな

**息**子が3歳、娘が4歳のときに、二人は近所の幼児グループに参加していました。その冬、グループの担当者は、それぞれの子供が自分のおもちゃを貧しい家族に寄付することをはじめとしたクリスマスの活動を行うことにしました。

わたしたちは前もって数週間にわたり何度もレッスンをを行い、感謝することや人に分け与えることにより、いかに幸せになれるかについて教えました。わたしは、贈り物を選ぶ経験を子供にさせたいと思い、どのおもちゃを上げたいのか考えておくようにと言いました。わが家の家計に余裕がなかったため、あまりおもちゃはありませんでしたが、少ないおもちゃの中から子供たちがどれを手放すのだろうかと思っていました。

ある土曜日の朝、「寄付する物を選ぶ時間よ」と子供たちに言いました。わたしは息子のハンターが選んだトラックを包むの手伝ってから、ミケルの様子を見に行きました。娘のミケルの部屋の入り口からある光景を見たわたしの目に、涙が浮かんできました。

ミケルはお気に入りのメラという人形に、いちばんすてきな服を着せて抱っこしながら歌を歌ってあげていました。それから、贈り物を入れる袋の底に小さな毛布を敷きました。ミケルは人形にほほえみかけ、抱きしめ、キスしてからバッグの中にそっと入れました。わたしに気がつく、「メラの準備ができたわ、ママ。だれかにかわいがってもらえるといいな」と言いました。

この人形に対する娘の思い入れを知っていたので、わたしは娘がその人形を上げようとしていることに驚きました。お気に入りの人形を上げなくてもいい

ある土曜日の朝、  
「寄付する物を選ぶ時間よ」と  
子供たちに言いました。  
ミケルの部屋の入り口から  
ある光景を見たわたしの目に、  
涙が浮かんできました。

のよと思わず口に出しそうになりましたが、思いとどまりました。

「ミケルは贈り物をするということがどういうことなのかが分かっている」と思いました。「最良の贈り物をしようとしているんだわ。」

ふいに、わたしには人に与え分かち合いたい気持ちがあるものの、あまり大きな犠牲は払いたくないと思っていることに気づきました。自分の慈愛に制限を設けていたのです。わたしは変わらなければならないことに気づきました。

わたしは、天の御父が完全な独り子を手放し、わたしのために苦しみ死ぬのを許されたことを思い出しました。愛に満ちた天の御父が、わたしたちが御子を愛し御子に従うよう望みながら、その愛子にキスして御子を赤ちゃんの

姿で地上に送られた姿が思い浮かびました。

救い主御自身はためらうことなく持てるものすべてをささげられました。

おもちゃを寄付するクリスマスの活動の日が来る前にミケルの気持ちが変わるのではないかと思いましたが、気持ちは変わりませんでした。後になって自分のしたことを後悔して悲しむのではないかとも思いましたが、そのようなこともありませんでした。

娘のキリストのような模範を見て、わたしは自分の持てるものは何であろうと、それが多かれ少なかれ、だれかと分け合う機会が訪れたときにはいつでも最良のものを喜んで差し出そうと決めました。■

ブリットニー・バイン(アメリカ合衆国、ユタ州)

## 皆さんの歌には心がこもっていました

2000年12月、わたしたちのステーキの聖歌隊は、合唱祭を主催する準備をしていました。アルゼンチン、ポサーダス市内の非常に有名な聖歌隊が幾つか参加の意思を表明しており、大勢の聴衆が予想されていました。わたしたちは、歌を通して救い主の誕生についての証を伝えたいと思っていました。

聖歌隊の指揮者を務めていたわたしは、少し不安に思っていました。双子を身ごもって8か月目に入っていたことがわたしの不安をさらに大きくしていました。コンサートの1週間前の最終リハーサルでは痛みを感じたので、座って指揮をしなければなりませんでした。

リハーサルが終わるころには我慢できなくなったので、夫のカルロスと父に祝福してもらいました。それから夫に病院に連れて行ってもらうと、その日のうちに生まれるだろうと医師から診断されました。わたしは不安でしたが、主を信頼するようにと夫に言われました。

間もなく、新生児の泣き声が部屋に満ちました。泣き声を聞いてわたしは喜びでいっぱいになりましたが、医師がやって来てこう言いました。「あれはキラの泣き声です。アブリルは残念ですが亡くなりました。」

そのときの気持ちを言葉で表すことはとてもできません。間もなく、わたしは夫が待つ別の部屋へ移りました。わたしたちは抱き合って泣きました。

「ダフネ、主がアブリルをみもとにお受けになった目的はわたしたちには分からない」とカルロスは言いました。「でも、強くあって、御心を受け入れ、信仰をもって前進しなければならぬよ。」

その後少しして、カルロスはキラの

小さな体を抱いて、キラが生きながらえることができるよう祝福しました。キラはそのとおり生きましたが、合併症のために10日間入院しました。

翌週、わたしは自宅に戻りました。面会と授乳のため、頻繁に病院に通っていたので、聖歌隊についてまったく考えることはありませんでした。音楽祭の前夜、父はわたしに指揮をすることにしたのかどうか尋ねました。「ダフネ、このことについて祈るんだよ」と父は言いました。「そうすれば、どのような決断をしようそれは正しい決断だ。」

**楽器に合わせて歌声が響き渡ると、自分が美しい場所にいるのだという強い思いに感極まりました。**



わたしは、まだ病院のベッドで寝ているキラのことを思いました。また、コンサートのために一生懸命準備してきた聖歌隊の隊員についても考えました。救い主とその誕生、生涯、犠牲について思いをはせました。すると、どうすべきかが分かりました。

次の日の晩、聖歌隊隊員が示してくれた愛にわたしたち家族は深く感動しました。また、聖歌隊隊員の中にある調和の精神により、聴衆に感動を与えたいという心からの望みがわきました。

合唱祭の主催者であったわたしたちのステーキの聖歌隊は、最後に歌いました。ピアノとバイオリンによる「牧羊を」の前奏の演奏が始まると、涙がわたしの頬を伝いました。それから楽器に合わせて歌声が響き渡ると、自分が美しい場所にいるのだという強い思いに感極まりました。

歌が終わって振り返ると、ほとんどの聴衆の目に涙が浮かんでいました。福音の平和と愛のメッセージを恐らく一度も耳にしたことのない人々が、演奏を通して神の御子の誕生の美と驚嘆を感じたのです。

後になってほかの聖歌隊の指揮者がこう言いました。「わたしたちには歌う技量がありましたが、皆さんの歌には心がこもっていました。」

クリスマスの前夜、夫とわたしは、神様がキラをわが家に送ってくださったこと、御子を地上に送ってくださったことに感謝しました。御子の贖いと、神殿での結び固めのおかげでわたしたち家族とアブリルがいつの日かまた一緒になれることを知っています。■

ダフネ・アナリア・ロメロ・デ・タウ  
(アルゼンチン、ミシオネス)

## ポップコーンと 開拓者と平安

**暖**房のない車で移動する間、足が冷たくならないようにと、母はオープンで温めたレンガを毛布でくるんでくれました。それは1935年のことでした。12月の初旬、わたしたちは祖父母に会いにユタ州ソルトレーク・シティーからペysonまでの96キロの道のりを車で移動していました。雪がふわふわと舞い降り、道の前方では小さな竜巻のように渦を巻いていました。兄のフレッドとわたしは分厚いコートにくるまれ、ちくちくする毛糸の靴下を履き、マフラーを巻いていました。7歳のわたしには、とてつもなく長旅に思えました。

毎年12月になると必ず祖父母の家に行きました。クリスマスのはじめ、タナー家の祖父母の暖かい台所でポップコーンボールを作ってようやく始まるのでした。祖父が火をくべて、祖母がポップコーンを金網のかごいっぱいに入れて火の上で勢いよく振ると、ふわふわの白いポップコーンがかごいっぱいにできます。それから祖母が大きくて丈夫なやかんの中にポップコーンを入れて熱々の蜂蜜バターをかけ、ピーナッツを混ぜ込みます。それが冷めたら、わたしたちはバターを塗った手でポップコーンを取って食べたり、ボール状に丸めて包み、親戚や友達に配ったりしました。

ところが、今年のクリスマスはいつもとは違いました。いつもならフレッドとわたしは後部座席に座るのですが、今年は前列の両親の間にぎゅうぎゅう詰めです。後部座席には、1歳の弟ジェロルドの

なきがらが入った小さな白いひつぎが置かれていました。はしかになった後にさらに肺炎になり、幼い命を失ってしまったのです。わたしたちは霊安室に小さな木製のひつぎを取りに行き帰って来るところでした。

2時間のドライブの車中で、父が中心となってみんなでクリスマスの歌を歌いました。母と父が二重唱で歌い、その美しい歌声は赤ちゃんを失って深く悲しんでいたわたしたちを慰めてくれました。

祖父の家に着くと、いつもは楽しい家族と親戚のみんながしみりとして待っていました。ひつぎは車の後部座席からきれいに片付いた祖母の居間に移されました。祖父母のワードのビショップが心温まるお話を手短かにしてくれた後、わたしたちは再び車に乗って、墓地に向かいました。そして、この貴い赤ちゃんはその墓地の凍てついた土に埋められ、わたしたちは皆泣きました。

クリスマスはやはりやって来ました。

火をたき、ポップコーンを作り、祖父の馬が引くそりに乗って、丸めたポップコーンボールを配りました。その日、悲しみもありましたが、信仰深い祖父母がキリストの誕生の物語を読むのを聞いて深い平安を感じました。

祖父母の両親は開拓者で、何人もの赤ちゃんを土に埋めなければなりません。わたしたちは家族を失った悲しみの中で、先祖が頼みとした神の御子と主の御言葉に頼りました。その年、わたしはいつもとは違った気持ちでクリスマスの話を思い出しました。なぜなら、この飼いやおけで生まれた幼子のおかげで、わたしたちが地中に横たえた赤ちゃんは再びよみがえり、わたしたちと一緒にになれるからです。

そのときから何十年もたった今でも、毎年クリスマスになるとポップコーンに蜂蜜バターをかけ、ピーナッツを混ぜ、ボールの形に丸めると思い出します。■

シャーリー・ハースト・シールズ  
(アメリカ合衆国、ユタ州)

2時間のドライブの車中で、父が中心となってみんなでクリスマスの歌を歌いました。母と父が二重唱で歌い、その美しい歌声は深く悲しんでいたわたしたちを慰めてくれました。





十二使徒定員会  
ジェフリー・R・  
ホランド長老

# クリスマスは あなたの 中に

信仰を保ってください。  
自分の状況の良い点に  
目を留めてください。  
だれかのために  
親切な行いをしてください。  
包み紙や飾りを求めるのではなく  
キリストを求めてください。

**家**を離れて初めて迎えるクリスマスのことはだれもが覚えているものではないでしょうか。家を離れる理由は、伝道や兵役、学校や仕事など様々です。理由が何であれ、家族から離れた最初のクリスマスはだれにとってもとても寂しい思い出です。家から離れてクリスマスを過ごしたことのある皆さんや今年家族と別々に過ごす皆さんのために、わたし自身の思い出をお話したいと思います。





イラスト／ポール・マン

わたしの場合は、伝道に出たときに初めて家族と離れてクリスマスを迎えました。19年間、家族や友人に囲まれてクリスマスを楽しみました。若さゆえに自己中心的だったわたしは、クリスマスを別の方法で過ごすことなど考えもしませんでした。

1960年のクリスマスの季節が近づいてきたとき、わたしは家族から遠く離れたところにいました。英国に着いてから3か月足らずの12月1日、伝道本部に呼び出され、カナダのアルバータ州チャンピオンから来たばかりの最初の後輩同僚に会いました。わたしたちはサリー郡のギルドフォードという保守的な町で伝道活動を開始するために派遣されました。その町には、まだ一度も末日聖徒の宣教師が来たことはなく、わたしたちが知るかぎりたった一人の会員がその地域のどこかに住んでいるのみでした。わたしたちは若く経験も浅く、少し圧倒されていましたが、心は弱まっていませんでした。

わたしたちは外国人として住民登録を済ませ、宿泊先を確保しました。初めは地元に住む唯一の教会員を探し出せなかったのが、わたしたちができる唯一のこと、つまり家のドアをたたくことに専念しました。朝も昼も夕方も晩もドアをたたき続けました。わたしたちがそのように感じただけなのかもしれませんが、史上最も雨の多かった12月のイギリスの通りを、自転車に乗って走りました。わたし

たちは朝も昼も夕方も晩もびしょぬれでしたが、ドアをたたき続けました。それでもほとんど、どの家にも入れてもらうことはできませんでした。

人々は「植民地から来た」二人の宣教師に耳を傾けようとはしないまま、クリスマスイブになりました。その晩、疲れ切っていたものの頑張っていたわたしたちは、ワンルームの賃貸の部屋に戻ってクリスマスディナーショナルを開きました。クリスマスの賛美歌を歌ってから開会の祈りをささげました。聖典を読み、「まことのクリスマス」という題名のカセットテープを聞きました。それからクリスマスの賛美歌をもう1曲歌い、閉会の祈りをささげて寝ました。疲れ切っていたので楽しいクリスマスの夢を見ることさえありませんでした。

クリスマスの朝、わたしたちはスケジュールどおりに朝の勉強をして転勤後に送られてきた小包を幾つか開きました。それから外に出て行きドアをたたきました。朝も昼も夕方も晩もドアをたたき続けました。しかし、どの家にも入れてはもらえませんでした。

後にも先にもこれほど華やかさに欠けたクリスマスはありませんでした。それほど何事もないクリスマスだったので、1960年の12月のこの特別な日々は50年以上たった今でも最もすてきなクリスマスの一つとして心に残っています。なぜなら、人生で初めて、クリスマスをただ楽しむだけで

なく、クリスマスの意味が分かったためだと思います。キリストの誕生と生涯のメッセージ、すなわち主のメッセージと主の使命、そして主が人々のためにささげられた犠牲を、ほんとうの意味で初めて理解したのだと思います。

もっと前にそのことを理解しておくべきでしたが、できていませんでした。少なくとも、十分ではありませんでした。しかし、英国で過ごしたそのクリスマスに、寒さに凍え、びしょぬれになり、少し圧倒されながら、19歳のわたしは「分かった」のです。伝道のおかげで、その経験以来、福音の多くの側面と同様にクリスマスが確かに年々意義深いものとなってきていると言えます。

このクリスマスに、わたしはクリスマスキャロルにあるように「クリスマスには帰る」<sup>1</sup> ことができないすべての宣教師、兵役に就いているすべての男女、すべての学生、すべての従業員と旅人に愛をお伝えします。信仰を保ってください。自分の状況の良い点に目を留めてください。だれかのために親切な行いをしてください。包み紙や飾りを求めるのではなくキリストを求めてください。周りの状況がどうであれ、神の王国と同様にクリスマスは「あなたがたのただ中に」あるのです（ルカ 17:21）。■

「伝道中のクリスマス」 Church News, 2011年12月17日付, 10より。

注

1. ジェームズ「キム」ギャノン, "I'll Be Home for Christmas" (1943年)



# クリスマスの飾りと キリストのような 友達

クリスマスツリーの飾り付けをしようと、わたしは何年も見ても使ってもいかなかったクリスマスの飾りがいっぱい入った箱を開けました。クリスマスのライトや布をかき分けると、独身時代に教師をしていたときに集めたクリスマスの飾りが詰まった衣装箱を見つけました。そして「1984年クリスマスオープンハウス」とだけ書いた簡単なクロスステッチの飾りが見つかりました。その年の出来事がいきいきとよみがえってきました。当時、独身だったわたしは不安を抱えながらヤングシングルアダルトのワードから家族ワードに移ったばかりでした。

クリスマスの季節は大好きですが、とても孤独を感じる年もありました。30代になっても独身だったわたしは子供もなく、取り残されたように感じることもありました。ともすれば自己憐憫れんびんに陥りやすく、「年をとったかわいそうなわたし症候群」と自分が名付けた状態に陥りやすかったです。1984年のその年、わたしはその症候群を克服して、周りに目をやりほかの人がクリスマスを楽しく過ごせるよう自分にできることを見つけようと決意をしたのを覚えています。

ワードに転入してから比較的に日

が浅かったので、自分の質素なアパートに扶助協会の姉妹たちを招いたら、クリスマスを祝い、姉妹たちと親交を深められるのではないかと考えました。

そのときのオープンハウスを楽しく思い起こしているうちに、箱にしまっていた飾りで装飾された小さなクリスマスツリーや、独身の友達が焼くのを手伝ってくれたショートブレッドクッキーの香り、お客さんたちに振る舞った、母の「ホワイトクリスマスパンチ」の甘い味を思い出しました。

いろいろな飾りを見ているうちに、キリストのような大勢の友達のことを思い出し、心が愛と感謝で満たされ温かくなりました。友人の中には若い人も年配の人もいましたが、みんなわたしが苦難のときに愛と助言を与えてくれました。

ある年配の女性がわたしのために編んでくれた、のりのきいた雪のモチーフのレースを手にとると、彼女の優しさが思い出されました。また、自分が集ってきた多くのワードの年配の姉妹たちが様々なことを教えてくれたのを思い出しました。かぎ針編みや棒針編み、縫い物、レース編みを教えてくれた優しい姉妹たちは、進んで自分の時間や特に忍耐を使って、自分

中央若い女性会長会  
第一顧問  
メアリー・N・クック



が知っている楽しさをわたしにも味わわせようとしてくれました。

小さな金管楽器を手にとると、10代のときに、音楽の才能に恵まれたある聖歌隊の指揮者が特別な音楽演奏のための早朝練習に誘ってくれたことを思い出しました。彼女が寄せてくれた信頼のおかげで、わたしはクラシック音楽が好きになり、自信が植え付けられ、その後ずっと聖歌隊に加わるようになりました。

わたしはほほえみながらミッキーマウスの飾りを拾い上げ、自分たちの幼い子供たちとともにいさせてくれた夫婦に感謝しました。今では、彼らの子供をまるで自分の子供のように思っています。教会で子供たちを抱っこしたり、本を読んであげたり、一緒に遊んだりしました。そのおかげで、痛みを伴うわたしの心の透き間が満たされました。

救い主はマタイ書10章39節でこのように教えておられます。「自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう。」

周りに目を向けることにより「自分の命を失う」という1984年の意識的な決断は、確かに自分を「得る」転機となりました。過去を振り返ってみると、救い主の言葉に従って逆にわたしのために命を失ってくれた人がたくさんいたことに気づきました。クリスマス（訳注——英語では *Christmas*）の飾りは、キリスト（訳注——英語では *Christ*）のような友人を思い出させてくれるすてきな思い出の品となりました。■

# クリスマスの ハンカチ

教会機関誌

スコット・M・ムーイ

**若**いころ、わたしは毎年母が家族へのクリスマスプレゼントを包むのを手伝いました。すでに結婚しているきょうだい5人と13人の甥と姪がいたので、簡単な作業ではありませんでした。でも色とりどりの物が散らかる中、わたしは毎年きまって姉のためにハンカチを包んでいることに気づきました。母は姉のアンにガウンやブラウスや台所用品を贈るときでもきまってハンカチも上げるのでした。ハンカチは確かに役立つし、安価な贈り物であることは分かっていたのですが、こんなに頻繁にこの贈り物をもらうことを姉はどう思っているのだろうと考え始めました。

ある12月、わたしはついにこう言いました。「またアンにハンカチを上げるの？ お母さん、ほとんど毎年上げるわよ。もう十分にあると思うわ。そんなにたくさんいるかしら。それに、プレゼントが増えるとアン<sup>おい</sup>の家族への小包<sup>めい</sup>の送料が高くなるわ。ハンカチは贈らなくてもいいと思うんだけど。」

母ははさみを置いて言いました。「聞いてほしい話があるの。そうすれ





ば分かってもらえると思うわ。あなた  
が生まれる前の出来事よ。

わたしがどうやってこの国に来たか  
知っているわね。」（知っていました。  
母の家族は、母が4人の子供がいる  
男やもめと結婚したときに驚きまし  
た。さらにこの結婚によりオランダを  
離れてアメリカ合衆国に移住すると  
知って衝撃を受けたのです。）「で  
も、あなたが知らないことがあるの。  
わたしたちがここにやって来たとき、  
わたしたちには何もなかったの。生  
活は苦しかったわ。あなたのお父さ  
んは二つの仕事をかけ持ちしてくれ  
たけれど、収入は少なかった。わた  
しは内職で洗濯やアイロンがけを請  
け負ったわ。それでもお金が足りな  
かったの。

アンは当時17歳で、わたしたちの  
借金の額を知っていたから、家計を  
助けようと思って仕事に出たの。町  
のキャンディー店の仕事を見つけてね。  
バスで店まで行き、一日中カウンターに  
立ってなければならなかったのよ。  
アンはバスの運賃と昼食代を除いて  
給料のほぼ全額をわたしたちに渡し  
てくれたの。カウンターの裏に食品  
を置いておけなかったから昼ご飯を  
買う必要があったのね。

アンは、仕事に就いてお給料でわた  
したちを助けられることがうれしいと  
話してくれたわ。でも、弟たちのこと  
を心配していることは口にしなかつた。  
もうすぐクリスマスだったので、新し  
くできたアメリカ人の友達はサンタに頼  
んだおもちゃについて話していたわ。  
わが家にサンタがプレゼントを持って  
来てくれなかったらどうしたらいいの  
かしら。

クリスマスの数日前、アンはわたし  
にお金をくれたの。でも給料日では

なかったの、このお金をどこで手に  
入れたのか尋ねたわ。すると、昼ご  
飯を食べずにこのお金をためていた  
と教えてくれたの。たくさんはなかつた  
けれど、何週間も昼ご飯を抜いたこ  
とが分かったわ。アンはこのお金で  
弟たちのためにクリスマスプレゼント  
を買ってほしいと言ったの。アンは、  
新しいまま母のわたしを弟たちのため  
にぴったりのプレゼントを買ってくれ  
ると信頼してくれたのよ。

小物を買わなければならなかつたけ  
れど、家族みんながクリスマスを迎え  
られるようにしたわ。みんなで食べる  
オレンジ、クマの形の石けん、クレヨン、  
小さなおもちゃの車、お父さんのため  
の靴下。それから、アンにハンカチを  
買ったの。何の飾りもないハンカチ  
だったけれど、夜なべをして刺しゅう  
を施してかわいらしくしたわ。娘に  
なったばかりのアンがみんなにクリ  
スマスを贈ってくれたことがとてもうれ  
しかった。だから、アンにもクリスマス  
に何か特別なものを贈りたかつたの。

クリスマスがやって来て、教会の友  
達がクリスマスツリーや、プレゼントで  
いっぱい箱をくれて驚いたわ。友  
達は、大した贈り物ではないし包み  
紙も新聞紙だったことを謝ってさたけ  
れど、すばらしい贈り物だった。たく  
さんの役立つ物やおいしい食べ物を  
もらったわ。それから、アンとわたし  
からの秘密のプレゼントで家族みん  
なはまた驚いたの。サンタがわが家  
にも来てくれたものだから、あなた  
のお兄さんたちがどんなに喜んだこ  
とか。程なくあの狭い居間の床で車  
を新聞紙の上や下で走らせたわ。部  
屋中新聞紙だらけ。アンは自分へ  
の贈り物を開けてハンカチを見つ  
けると、涙を流していたわ。わたし  
も少し泣いて。

それからクリスマスの食事を作った  
わ。長い間食べていなかったお菓子  
を食べ、片付けをしたの。アンがハン  
カチを片付けようとする、ハンカチ  
がなくなっていたの。みんなで家中  
探したわ。それからわたしは、『大  
変だわ。そういえば、お父さんが新  
聞を燃やしていた。ハンカチも一緒  
に燃やしてしまったんじゃないかしら』  
と思ったの。結局見つからなかつた  
ので、多分燃やしてしまったのね。  
でもアンは文句を言わなかつた。終  
わったことはしかたがない。アンは、  
弟が喜んでくれたので自分もうれ  
しいと言ったわ。

次の年のクリスマス、わたしはま  
たアンにハンカチを上げたの。今  
度はなくならないように注意して。  
アンが結婚して家を離れると、ク  
リスマスのハンカチを送るよにな  
ったの。わたしが今ハンカチを上  
げているのは、アンがハンカチを  
必要としているからではないの。初  
めて一緒に過ごしたクリスマスに  
アンがしてくれたことを決して忘  
れないことを伝えたくてハンカチ  
を贈っているのよ。」

母がこの話をしてくれてから数年  
後、家族そろってクリスマスを祝  
うことができました。にぎやかな中  
、わたしは姉がハンカチの包みを  
開けるのを見ました。姉が涙を浮  
かべながら母に手を伸ばし母の手  
を握るのが見えました。ようやく  
分かりました。それはただのハン  
カチではなかつたのです。愛と贈  
り物、犠牲を思い出させてくれる  
特別な品だったのです。そして、  
クリスマスを祝う理由をわたしに  
も分かりやすく教えてくれました。  
クリスマスを祝うのは、犠牲を伴  
う愛に満ちた大いなる贈り物の  
ためなのです。■

## 「友達から神殿について質問されたら

どう答えたらよいのでしょうか。

**神殿についてはわたし自身よく分かっていないのです。」**

**自**分がよく理解していないことについて話すのは難しいものですし、神殿については、自分が行けるようになって初めて分かることがたくさんあります。神殿の儀式は神聖なものですから、神殿の外で話すのには注意を要します。しかし、神殿の祝福や目的については、話すことができます。神殿では会員が永遠の真理を学び、自分自身のために神聖な儀式を受け、先祖をはじめとする亡くなった人々に代わってその儀式を受けるのだと友達に話すとよいでしょう。

神殿のことがよく分かってくると、友達からの質問にも答えやすくなります。神殿についてもっと知るには、両親や教会の指導者に話してみましょう。友達と一緒に、『リアホナ』の神殿特集号（2010年10月号）を読んだり、Mormon.orgの「よくある質問」の「神殿」の項目で答えを探したりすることもできます。

また、神殿についてどう感じているか話すこともできます。神殿にバプテスマを受けに行ったことがある人や神殿の敷地内に入ったことのある人は、そこで感じた平安について友達に話してもよいでしょう。

神殿はなぜ、だれでも入れるようになっていないのかと友達から尋ねられたら、神殿では神聖な業が行われているため、霊的に準備ができていて有効な推薦状を持っている人だけが入れるのだと説明することができます。新しく神殿ができると、奉獻される前に公開し、地域の人々が神殿を見学して、さらに知識を深めることができるようにします。奉獻してからは、神殿の敷地内ならだれでも見学することができます。可能であれば、神殿が公開されているときに友達を招待するか、または神殿の敷地に友達と一緒に試してみるとよいでしょう。

### 神殿に参入できるふさわしさを保つ



自分にとって神殿は幸福、力、犠牲、永遠の家族を象徴しています。そのことをわたしは友達に話したいと思います。また、ふさわしさを保つにはどうしたらいいか説明したいと思います。わたしが神殿に入ることを重要な目標の一つにして生活していることが分かれば、人々は神殿の力を感じるでしょう。神殿を見れば、その外観の美しさはだれ

でも分かりますが、わたしが友達に示すことができるのは、正しい生活を送って神殿に入れば、そこから希望と幸福が得られるということです。

エマ・R, 18歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

### 友達にもっとよく知ってもらおう



あなたの知っていることを、できるかぎり何でも友達に話してください。神殿については、神聖だから話せないこともあると伝えてください。自分の知らないことを尋ねられたら、分からないと正直に答えましょう。そして、もっと知りたいと言う友達は教会に誘い、霊的な知識をさらに得て戒めを守る人を神は祝福されると伝えてください。霊的な事柄は教えに教え、訓戒に訓戒を加えて学んでいくものだとなすたちは信じています。

カルメラ・B, 18歳 (フィリピン)

### どう答えたらいいか知るために御霊の導きを求めて祈る



友達の質問に答えるために、わたしはまず、どう話せばよいか、天の御父に尋ねます。かなりの忍耐が必要になることもありますが、言うべきことが御霊によって知らされるまで、待つ価値はあります。次に、教会に行き、神殿でバプテスマを受けて、霊的な知識をさらに得ることです。神殿について友達に聞かれたとき、生きている間に福音を知る機会のないまま亡くなった先祖たちのためにバプテスマが行われていると話しました。

先祖たちは、そのバプテスマを受け入れるかどうかを天で決めることができるのです。

リディア・P, 13歳  
(アメリカ合衆国, フロリダ州)

### 宣教師に会うよう友達に勧める

神殿について友達に聞かれたら、それは神様の家で、天の御父に近づき、みもとに帰れるようになる特別な儀式ができる所だと答えます。また、わたしからも友達に、宣教師に会ってもっと学んでみないかと尋ねます。断られたら、友達の質問を書き留めて、わたしが宣教師に聞きに行きます。そして、分かったことを友達に伝えます。こうすると、神殿について、わたしもさらに学ぶことができます。

キミー・H, 13歳  
(アメリカ合衆国, モンタナ州)

### 神殿の写真を見せる



わたしは世界中の神殿が載っている本を読むのが大好きです。友達から神殿について聞かれたとき、わたしが説明しても分かってもらえないと思ったので、神殿の本を持って行きました。そして神殿とはどんなものか見せ、神殿の目的について話し、神殿に参入できることに教会員がどれほど感謝しているかを伝えたのです。彼女を日曜日に教会に連れて行くことにしたところ、教会では宣教師や日曜学校の教師の助けが得られ、彼女はさらによく知ることができました。

ジェシカ・A, 18歳 (インドネシア)

### 両親に話す



答えを探し求めましょう。聖文を読み、日曜学校の教師に質問してください。疑問の答えは必ず見つかります。探し

求めさえすればいいのです。それについて祈ってください。神殿について疑問に思うことがあると、わたしは両親に尋ねます。両親は話しやすいですし、喜んで助けてくれます。

ブライソン・B, 18歳  
(アメリカ合衆国, ユタ州)

### 神殿に行く

できるかぎり頻繁に神殿に行くよう努力すれば、天の御父とコミュニケーションがよく取れるようになります。つまり、友達の質問について祈り求めることができるようになるのです。神殿についてよく分からない場合は、もっと勉強する必要があります。神殿に行く前には必ず、神殿参入時に考える

べきことについて研究し、祈ってください。そうすれば、「神殿の中ではどんな気持ちができるの」といった質問に答えられるようになります。

サラ・T, 14歳 (アメリカ合衆国, アイダホ州)



### 聖きを主にささぐ

「神殿は麗しい場所であり、啓示を授かる場所であり、平安の宿る場所です。そこは主の宮居であり、聖きを主にささげる場所です。同時に、わたしたち自身にとっても聖なる場所であらなければなりません。」

ハワード・W・ハンター大管長 (1907 - 1995年)  
「教会員の大いなる象徴」  
『聖徒の道』1994年11月号, 6

## 次回の質問

「どうしたら  
誘惑に打ち勝つことが  
できるでしょうか。」

あなたの意見をお聞かせください。2013年1月15日必着で [liahona.lds.org](mailto:liahona.lds.org) に投稿するか、[liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) まで電子メールをお送りください。下記へ郵送して下さってもけっこうです。

Liahona, Questions & Answers 1/13  
50 E. North Temple St., Rm. 2420  
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず入れてください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載に対する同意文(18歳未満の場合は保護者が書いた同意文——保護者の同意文は電子メールでも受け付けます)。

# キリストに贈り物をささげる方法



大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・  
アイリング管長

青少年はこれを  
どのように取り入れて  
いるでしょうか

「友達を教会やミーチャルの活動、または夕食などに招待します。愛されていると感じる助けをするうえでちょっとした配慮として、とても効果があります。」

アーモンド・F

「ワードから伝道に出ている宣教師に、手紙を書くようにしています。」

ジェニー・R

「時には、助けを必要としている人の友達になるだけでいいのです。」

ライアン・B

**ク**リスマスの精神は、人々に喜びを届けたいと思う気持ちにさせてくれます。クリスマスを祝うことは、主と、主がわたしたちに贈られたものを**いつも覚えるという約束を守る**助けになります。その記憶から、**主に贈り物をしたい**という望みがわいてきます。

わたしたちが主に喜びをもたらすために何を差し出すことができるかを、主は明らかにしておられます。第1に、主を信じる信仰に基づいて、**打ち砕かれた心と悔いる精神を差し出す**ことができます。

第2に、**主が人々にしてあげたいと望んでおられることを主の代わりに行う**とき、主に贈り物をしていることとなります。マタイによる福音書にはそうした行いがたくさん記されています。それはこの世を去って主にお会いするときに、だれもが聞きたい、話したいと望んでいる**あがな**主の言葉です。

「そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て**食物をめぐみ**、かわいているのを見て飲ませましたか。

いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て**着せ**ましたか。

また、いつあなたが病気をし、獄にいるのを見て、**あなたの所に参りましたか。**』

すると、王は答えて言うであろう、『あなたがよく言うておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。』(マタイ25:37-40)

主はここで、わたしたちが感謝の気持ちを込めてどのような贈り物を主に差し出すことができるかを明らかにしておられます。だれかに対する親切な行いの一つ一つが主に対する**親切な行い**となります。なぜなら、主は天の御父のすべての子らを愛しておられるからです。また、主に喜びをもたらすことは、わたしたちが尽きることのない感謝をささげるべき御父に対しても喜びをもたらすこととなります。

クリスマスの時期を迎えると、皆さんはお腹をすかせている人々に食物を与える様々な方法があることに気づくでしょう。そうすることによって、主に喜びをもたらすのです。けれども主は、**もっと価値のある永遠の贈り物**を与える方法を教えておられます。主はこう言われました。「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。」(ヨハネ6:35) 主にささげる親切な行いの中で最も大いなるものは、**わたしたちが愛し、仕える人々の心を永遠の命の唯一の源である主に向けるようにすること**です。■

2010年大管長会クリスマスディボーションにおける説教「救い主という贈り物」より。



# 急ぎ行きて 捧ますや

「わたしたちは世の光であるイエス・キリストの降誕を喜びます。  
主は御自分のもとに、光の中に来るようにわたしたち全員を招いておられます。」

七十人 バトリック・キアロン長老 「急ぎ行きて捧ますや」  
「リアホナ」2011年12月号、42



# デート しませんか



中央若い男性会長会  
第一顧問  
ラリー・M・ギブソン

ほかの人と直接会って  
時間を過ごすのは、  
真の友情を築くために必要なことです。

**わ** たしは教会中の若い男性や若い女性と話す特権にあずかってきましたが、非常に多くの若い人が異性ともっとしっかりとした友情を築こうとしているのに、どうしたらそれができるのかよく分からないという話をよく聞きました。

あらゆるソーシャルメディアをもってすれば、かつてなかったほど人と仲良くなれるはずだと思っても無理はありません。しかしある意味、科学技術のせいで、人間関係が希薄になってきているのかもしれません。ただツイッターでつぶやいたり、携帯メールや電子メールのやり取りをしたり、サイトに友達の名前を追加したりするだけでは、真に調和の取れた人間関係を作り出すことはできません。人と直接会って時間を過ごすことが、真の友情を築くためには必要なのです。

教会のすばらしい青少年の皆さん、昔は、若い男性と若い女性が待ち合わせてつきあったものです。今は、このつきあいの定義を思い出す時です。聞いたことがあるでしょうか。このようなつきあい方はかつてデートと呼ばれました。

## よくある質問に対する答え

新版の冊子『若人の強さのために』に載っ

ているデートや勧告について、疑問を抱いている人がたくさんいるかもしれません。わたしがこれまで受けてきた質問を、このすばらしい冊子から引用した回答を添えて以下に挙げます。

**わたしは、自分にデートする準備ができていられるかどうか自信がありません。デートしなければならない理由が、特に何かあるのでしょうか。**

幾つかの理由で、デートはした方がよいでしょう。『若人の強さのために』には、デートは「若い男性と若い女性が互いによりよく知り合うために[行います]。デートが認められる文化の中では、デートは異性とのつきあい方を学び実践し、友情をはぐくみ、健全な楽しい活動を行い、最終的には永遠の伴侶を見いだす助けとなります」という説明があります。<sup>1</sup>

**16歳になるまではデートをするべきではなく、若いうちは真剣なデートをしてはならないと聞いていますが、なぜでしょうか。**

『若人の強さのために』にはこう書いてあります。「少なくとも16歳になるまではデートをするべきではありません。デートを始めるときには、ダブルデートかグループデートにしてください。同じ相手とばかり頻繁にデートするのは避けてください。真剣な関係に発展させる時期が早すぎると、出会う青少年の数が少なくなり、不道德な行いにつながる恐れがあります。」<sup>2</sup>

**わたしとデートしたがっている若い男性がいるのですが、その人はわたしと同じ標準を持っていないようです。どうしたらよいでしょうか。**

『若人の強さのために』にはこう書いてあります。「高い標準を持つ人とだけ、またあなた自身高い標準を守る仲間とデートをしてください。……デートを申し込むとき、あるいはデートを承諾したり断わったりするときには、いつも思いやりと敬意を忘れないようにします。」<sup>3</sup>



## あなたの体験談を送ってください

『若人の強さのために』に載っている指針に基づいて、以下の勧告に従った経験がありますか。

- 奉仕
- 性的な清さ
- 十分な一と献金
- 労働と自立

『若人の強さのために』という件名で、あなたの体験談を電子メールで [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) に送ってください。電子メールにはあなたの氏名と生年月日、ワード/支部・ステーク/地方部名、あなたの体験談の掲載に対する親の同意文を入れてください。

デートというと、映画を見るというアイデアしか浮かんできません。どうしたらよいでしょうか。

『若人の強さのために』には、参考となるこんな原則が書かれています。「安全で、建設的であり費用のかからない、またお互いを知る助けとなるデートの活動を計画してください。自分の標準を維持し、主の御霊を近く感じられる場所だけに行ってください。」<sup>4</sup>

安全で、建設的であり、あまり費用のかからない、主の御霊を近く感じられる場所でのデートという、この簡単な4つの基準を満たせばいいとすれば、すばらしいデートのアイデアがたくさん出て来るのではないのでしょうか。

妻と出会ったころのデートを振り返ると、ひととき思い出に残っているのは、費用がほとんどかからないか、まったくかからないデートで、カップルが少なくとももう一組と一緒にいて、有意義な会話と交流のできたデートなのです。

### お互いの徳を守る

終わりに一つ大切なことを『若人の強さのために』から引用し、最後にあと一つ付け加えます。まず、「若い男性も若い女性も、デートの最中はお互いの名誉と徳を守る責任があります。」<sup>5</sup> デートするときには、恥ずかしくなる

ようなことを決してしないでください。トーマス・S・モンソン大管長が教えたように、「デート中は、デートの相手に敬意を表し、相手も自分に敬意を払ってくれるものと思ってください。」<sup>6</sup>

### デートとコートシップの違い

最後の点です。デートを「コートシップ」と定義する人もいますが、教会での青少年同士のデートには、「特定の異性のみと交際する」とか、ほかの人とはデートできないという意味合いはありません。教会の標準では、デートとは多くの人と友情を築くことのできる社交の機会なのです。

大人になった人に対して、つまり、若い男性の場合は伝道を終えた人に対して、「主にあっては、男なしに女はないし、女なしに男はない」と主は言っておられます(1コリント11:11)。この時期のデートは、『若人の強さのために』の中で次のように強調されているコートシップとなります。「大人になったら、デートと結婚を最優先してください。神殿に参入し、あなたと永遠に結び固められるにふさわしい伴侶を探し求めてください。神殿で結婚し、永遠の家族を創造することは、神の幸福の計画にあって欠かすことができません。」<sup>7</sup> ■

### 注

1. 『若人の強さのために』(2011年) 4
2. 『若人の強さのために』 4
3. 『若人の強さのために』 4-5
4. 『若人の強さのために』 4
5. 『若人の強さのために』 4
6. トーマス・S・モンソン  
“Standards of Strength,”  
*New Era*, 2008年10月号, 5
7. 『若人の強さのために』 5



教会機関誌  
ヒカリ・ロフトス

**ま**ったく同じ家族というものはありませんが、神は家族を「この世から永遠にわたって最も大切な、社会の構成要素」とされました。<sup>1</sup> どこに住んでいようと、どんな家族であろうと、福音には家族をより幸せにし、きずなを強め、霊的な強さをはぐくむ力があります。全世界の10代の若者たちが語る、自分にとって家族が大切な理由をお読みください。

# 家族がいるから

## 家族は永遠に

アメリカ合衆国ノースカロライナ州のエリンとその家族(左の写真)は、常に一つの目標を心に抱いてきました。それは、永遠の家族になることです。しかし、エリンの父親は教会員ではありませんでした。

エリンはこう言います。「もちろん、母もきょうだいも父に福音の恵みを味わってほしいと思っていました。わたしたちはイエス・キリストの福音のおかげで幸せになりましたから、父にも同じ幸せを味わってほしかったのです。それにわたしたちは皆、どうしても家族として結び固められたいと思っていました。」

永遠の家族になるという決意の下でエリンときょうだいと母親は、戒めを守り、強い信仰をはぐくむためにできることは何でもしました。それに、父親の心が福音に触れて変わるよう、一緒に祈りました。

数年かかりましたが、エリンの父親はついにバプテスマと確認を受けました。そして、バプテスマの10日後には、エリンの弟と妹にバプテスマを

あなたはこれまで、  
家族の一員  
であることから  
どんな祝福を  
受けてきたか  
考えたことが  
ありますか。







施したのです。神殿で結び固められるという目標をエリンの家族が達成するのはもうすぐです。

### 家族が与えてくれる力と支え

アフリカ、カメルーンに住むエリザベスとその弟のエナウは、父親が亡くなってからずっと、母親の手で育てられました。「父が亡くなって以来、母のおかげでわたしたちは暮らしてこられました。何をすることも神はわたしたちを祝福し、守ってくださいました」とエリザベスは言います。

エリザベスの家族(上の写真)は、父親が亡くなって以来団結してきました。そして、2010年に教会に入ってから、エリザベスとエナウは、家族は永遠にわたって大切だということを学びました。

エリザベスはこう言っています。「わたしたちが〔福音から〕学んだ中で重要なことの一つは、家族の大切さです。家族はわたしにとってとても大切なものです。なぜなら、今のわたしがあるのは家族のおかげだからです。」

### 家族は人を成長させ、平和をもたらす

スイスのアディーナは、健全なレクリエーション活動を家族ぐるみで楽しむことによって、家族がお互いの才能を伸ばせることを知りました。<sup>2</sup> アディーナの家族は毎月どこかへ出かけて、お互いの得意なことについてもっとよく知るようになっています。「身内に自分の生き方や自分の好きなことをさらに深く知ってもらう機会を作っているのです」とアディーナは言います。あるときは、父親が犬の訓練について家族に教えてくれました(下の写真)。アディーナは、そのときのことをこう言っています。「父の情熱を知り、父が楽しそうに自分の生活の大切な部分や趣味を披露してくれるのを見てうれしくなりました。」

こうした家族の活動を通して、アディーナはいろいろな技術を伸ばしていきました。また、生活の中でさらに平安を感じるようにもなりました。「家庭は、日々の生活のストレスを離れてほっと一息つく所です。もちろん、活力を得る場であり、この人生は独り



### 献身的な家族

「人生で最も重要な原因は家族です。この原因に自

らをささげるなら、生活のほかのあらゆる面が改善し、わたしたちは一つの民として、また教会として、地のあらゆる民の模範となり、かがり火となるのです。」

十二使徒定員会  
M・ラッセル・バラード長老  
「道に迷った者が見つかるように」  
「リアホナ」2012年5月号, 98

ではやっていけないことを確認する場でもあります。現代の世の中は動きが早く、騒然としていますから、わたしはこのような家庭があることに感謝しています。活力を取り戻し、安らぐことのできる場があることをうれしく思います。」

理由は異なるにせよ、ここに挙げた10代の若者たちは、家族に助けと安らぎ、愛を求めることができることを知っているのです。■

注  
1.『家族ガイドブック』(冊子, 2001年), 1  
2.『家族——世界への宣言』「リアホナ」2010年11月号, 129 参照





# 包装 できない 贈り物

## 奉仕

あなたにできる贈り物の中でいちばんすばらしいのは奉仕です。両親はきっと喜ぶでしょう。

- 家を掃除する。
- 子守りをする。
- 食器をテーブルに並べ、食後に片付ける。
- 家族の夕食を作る。
- 食器洗いまたは床掃除をする。
- 弟や妹の宿題を見る。
- 住んでいる地域の気候に応じて、雪かきをしたり、庭の草取りをしたりする。



## エリス・アレクサンドリア・ホームズ

**ク** リスマスの時期になると、愛する人たちに贈り物をするだけばかり考えてしまいがちです。しかし、最もすばらしい贈り物の中には包装できないものもあることを忘れてはなりません。両親に贈ることができる、心に残る贈り物をいくつか挙げましょう。





### 決意

あなたが大切なことをしようと決意していることを両親に知らせましょう。決意を示すのにいちばんいいのは、今から始めてやり続けることです。

- 伝道に出る準備をする（若い男性）。できれば、今から伝道資金をためる。
- 毎日聖文を研究する。
- 働いて得たお金の中から貯金をする。
- 不平を言わずに学校へ行き、宿題を期限までに終わらせる。
- セミナリーに出席する。早朝セミナリーに出席している人は、自分で起きる。
- 神殿結婚に備える。将来の伴侶に求める大切な特質を書き出し、その特質を自分が身に付けられるよう努力する。

### 態度

両親は、自分たちや家族に対してあなたが良い態度で接してくれることをうれしく思うでしょう。

- 前向きな物の見方をする。
- 両親やきょうだいの欠点をあげつらわない。
- 小さなことについても感謝の言葉をかける習慣を身に付ける。
- これまで自分にしてくれたあらゆることについて、両親に感謝の手紙を書く。
- 両親またはきょうだいと意見が対立したときに、怒ったり口論したりせず、解決する。
- 自分が頂いている祝福を、文字どおり数える。両親の支えがあったおかげで自分が成し遂げられたことを書き出して、両親に見せる。

### 家族の時間を作る

忙しいスケジュールの中でも、家族のために時間を作ってください。あなたがいると両親は助かるでしょうし、あなたの働きに感謝するでしょう。

- （言われなくても）家庭の夕べに参加する。
- きょうだいと遊ぶ。
- 夕食の時間に遅れない。
- 家族と会話し、相手の話をよく聞く。
- 家族の祈りや聖文学習に参加する。
- 友達とばかり過ごすのではなく、家族とも過ごす。または、（両親の許可を得て）家族の活動に友達を誘う。



# 1コリント 15:20-22

この聖句で使徒パウロは、キリストの復活はすべての者の復活を意味すると宣言しています。

この宣言とともに、かつて生を受け、死んでいった人、現在生きていて、いつの日か死んでいく人、そしてこれから生まれ、死んでいく人が救助されたのです。

キリストが墓に対して勝利を得られた結果として、わたしたちは皆、復活します。これが<sup>あがな</sup>贖いです。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ。」  
『リアホナ』2011年4月号, 4



キリストにあってすべての人が生かされるのである

「わたしたちは文字どおり万人にもたらされる復活を信じることのとても重要な性を十分に理解しているでしょうか。不死不滅の約束はわたしたちの信仰の土台です。……

永遠の旅路にあって、復活は死すべき状態の終わりと不死不滅の始まりを示す確固とした道標です。……また近代の聖文から、人は霊と肉体の再結合、すなわち復活なしには『満ちみちる喜び』は得られないことが分かります（教義と聖約 93:33-34）。」

十二使徒定員会 ダリン・H・オックス長老  
『復活』『リアホナ』2000年7月号, 17-18

「しかし事実、キリストは眠っている者の初穂として、死人の中からよみがえったのである。それは、死がひとりの人によってきたのだから、死人の復活もまた、ひとりの人によってこなければならぬ。……アダムにあってすべての人が死んでいると同じように、キリストにあってすべての人が生かされるのである。」

## 眠っている者の初穂

初穂——収穫時に最も早く熟した果物や野菜、穀物

モーセの律法では、感謝と献身の気持ちを表すために、初穂が聖なる犠牲として主にささげられました。初穂は収穫が始まったしるしであり、その後さらに多くの穀物が収穫されることを示しています。ですから使徒パウロは、イエス・キリストは死人（眠っている者）の中から最初によみがえられた御方であり、以後多くの者が復活するだろうと言っているのです。

編集者注——このページの目的は、聖句の完全な解釈を示すことではありません。このページを参考にして各自で学習を深めてください。

## アダムにあってすべての人が死んでいると同じように

アダムとエバが墮落したために、全人類は肉体の死を受けなければならなくなりました（2ニーファイ 9:6; モーセ 6:48 参照）。



キリストは……死人の中からよみがえったのである

「クリスチャンが手にしている聖典の中で、涙を流すマグダラのマリヤともう一人のマリヤに天使が告げた言葉ほど、わたしにとって大きな意味を持つ言葉はありません。主のなきがらの手入れをするために彼らが墓に近づいたとき、天使は次のように言いました。『あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ。』（ルカ 24:5-6）



# 飢えた者に食物を与え

小さな手段を通して、人々を物質的にも霊的にも大いに助けることができました。

ダリン・C・ウィルコックス

2004年12月、わたしはブラジル・サンパウロの  
 リンスで専任宣教師として奉仕していました。  
 地元のワード、支部は、「飢えている人のいない  
 クリスマス (Natal sem Fome)」という、ブラジルで毎年  
 行われるプログラムに参加することにしました。ブラジル軍  
 の兵士や郵便配達員、ほかの宗教団体の会員など、幾つか  
 の団体と組んで近所を回り、市内の貧しい人たちに配るた  
 めの食糧を集めました。また、これをパスアロングカード、  
 つまりわたしたちが「友情カード」と呼んでいるカードを  
 渡す絶好の機会として活用しました。約 2,000 枚のカード  
 が配られました。

多くの会員は、ブラジルの熱い太陽の下で奉仕し、クリ  
 スマスの精神を分かち合っても良い気持ちでしたと言っ  
 ていました。自分が所属してもいない教会のパスアロング  
 カードを兵士が配る光景は、印象的でした。

1週間後には、モルモンタバナクル合唱団を特集した『もろ

びとごぞりて』のクリスマス DVD の注文が 127 件来ました。  
 その翌週にはさらに 22 件の注文が来ました。このプロジェ  
 クトのおかげで、同僚とわたしは注文してくれた人にレッス  
 ンをするようになり、多くの家庭に入ることができました。

この特別なプロジェクトで、わたしたちは福音を広め、多  
 くの家族の飢えを満たしました。そのときに感じた喜びと  
 愛は決して忘れません。霊的な飢えと肉体的な飢えが、と  
 もに満たされたのです。

(パスアロングカードのような) 小さな、簡単なことから  
 (人の魂の救いといった) 大いなるすばらしいことがたくさん  
 成し遂げられることを知っています。この経験から、クリス  
 マスの時期などには、このように驚くべき業と不思議を行う  
 機会がたくさんあるのだということが分かりました。■

『もろびとごぞりて』の DVD と、この DVD のプレゼントが  
 受けられるパスアロングカードは、[store.lds.org](http://store.lds.org) で注文する  
 ことができます。

# 執事として 一緒に成長する

この二人の若い男性は、  
見かけはだいぶ違いますが、  
共通点がたくさんあります。



**タ** イラー・Wは身長1メートル80センチで赤毛の髪、靴のサイズは31センチです。ゲリット・Vは身長1メートル40センチで髪の毛の色は茶色、靴のサイズは20.5センチです。体格は違うのに、それぞれの家族はこの二人を「双子」と呼んでいます。それは、この二人が最高に仲のいい友達で、共通点がたくさんあるからです。

ゲリットとタイラーはともに12歳で、同じ執事定員会に属しています。二人ともスポーツをするのが大好きで、家族と一緒に過ごすことも、新しいことを学ぶことも好きです。また、二人とも福音に対する証あかしを持っていて、アロン神権を尊ぶよう努力しています。「ぼくたちは自分の持つ神権の義務を果たす必要があります。それを果たすことによって学べますから」とゲリットは言います。

二人とも聖餐せいさんを配ったり、断食献金を集めたりして、この義務を楽しく果たしています。

また、ワードのほかの執事たちを教会に誘うことによって、彼らを助けています。「来ていない人がいると、執事のだれかが教会で学んだことを全部メモしてその人のところに持って行きます。『教会に来てね』と言って手渡すのです」とゲリットは言います。

ゲリットとタイラーは「神への務めを果たす」にも取り組んでいます。二人はそれぞれ、聖文をもっとよく読む計画を立てています。「これは信仰をはぐくむのにほんとうに役立ちますし、証が強くなります」とタイラーは言います。

この二人の若い男性は、皆さんや、皆さんの知っている人と何ら変わりのない執事です。皆さんと違う点もあれば、共通点もあります。でも、いちばん大切なのは、二人とも神の子であって、神権定員会の仲間と一致団結して神に仕えたいと思っていることです。■

## 定員会を一致団結させる方法

タイラーやゲリットのように、執事に聖任されると、あなたは神権定員会の一員になります。所属する定員会の団結力を高めるために何ができるか、幾つかアイデアを挙げましょう。

- 全員に声をかける。
- 一緒に奉仕する。
- 励ましの言葉をかける。
- お互いの話に耳を傾ける。
- 指導者の指示に従う。
- 福音の標準に従えるよう助け合う。



じゅうに しとていんかい  
十二使徒定員会  
D・トッド・  
クリストファーソン長老

じゅうに しとていんかい かいじん  
十二使徒定員会の会員は、  
イエス・キリストの  
特別な証人として  
めざされています。

どうしたら  
イエス・キリストの  
証人しょうにんに  
なれるでしょうか？



わたしたちは、キリストの  
教おしえを映うつし出すような生いき方かた  
をするとき、イエス・キリスト  
の証人しょうにんになります。わたした  
ちの行こう動どう、話はなし方かた、見み方かた、そし  
て考かんえ方かたまでもが、キリスト  
を、そしてキリストの方法ほうほう  
を映うつし出すものでなければなり  
ません。

わたしたちは、キリストに  
ついての自じ分ぶん自じ身しんの気き持もち  
を人ひと々びとに話はなすとき、イエス・  
キリストの証人しょうにんになります。

わたしたちは、喜よろこびをもつ  
て生せい活かつし、キリストに対する  
信しん仰こうを示しめすとき、イエス・キリ  
ストの証人しょうにんになります。

わたしたちは、人ひと々びとにあか  
しを述のべ、その人ひと々びとがキリス  
トを知しり、従したがうための手たすけ  
をするとき、イエス・キリスト  
の証人しょうにんになります。

イラスト／ベッカ・スコールズ

「キリストの証人になる」『リアホナ』2008年3月号、58-63を参考にしました。

レーチェル・リン・パウアー

実話をもとに書かれました。

「神の子はみな、いつも  
愛のおくり物をたずさえ来て、  
主を あがめる」  
（『羊飼いによる喜びの歌』  
『子供の歌集』〔英語〕40）

「**家**庭の夕べの時間だよ！」  
とお父さんが大きな声  
でみんなを呼びました。

わたしは急いで居間に走って  
行きました。12月の最初の家庭  
の夕べはいつも楽しいことをする  
からです。

妹のミッシェルはわたしよりも先に  
走って行って、ふかふかの青いひじか  
けいすに飛び乗ってすわりました。

「そんなのずるい！先週もそこにす  
わったでしょう。今度はわたしの番よ」  
とわたしは大きな声で言いました。

「わたしが先にすわったんだから、  
わたしがすわったっていいでしょう。  
お姉ちゃんはソファにすわればいいじゃ  
ない」と妹が口答えをしてくれました。

「ソファになんかすわりたくないの。」  
わたしはきつい調子で言い返しました。

そして、おこりながらゆりいすの所に  
行ったわたしは、いすの向きを変えて、  
ミッシェルを見なくて済むようにしました。  
ミッシェルは時々とても腹立たしいこと  
をします。妹は何でも自分の思いどおり  
になると思っているのです。お母さんに  
文句を言うと、お母さんは決まって、自  
分のことばかり考えてはいけなさと  
言います。

家族で賛美歌を歌い、おいのりをし  
た後、お父さんがこう言いました。「ク  
リスマスの時期はととてもわくわくするね。  
ところでわたしたちは、この時期のほん  
との意味をよく考えてみる必要がある



と思うんだ。そこで、今夜からみんなで  
イエス様におくり物をすることにしよう  
と思う。」

イエス様へのおくり物。わたしはその  
ことをすっかり忘れていました。

「クリスマスはイエス様がお生まれに

なったことをお祝いするんだけれど」と  
言ってお父さんは言葉を続けました。  
「わたしたちはイエス様のおかげで、天の  
お父様と永遠に住むという最もすばらし  
いおくり物を頂くことができるんだよ。」

「その代わりにイエス様はわたしたちに

イラスト/ローラ・アントロフ





ほうほう <sup>か</sup> <sup>い</sup>  
方法をそれに書くようにと言いました。  
つまり、もっとイエス様のようになるため  
にできることを選んで実行することが、  
わたしたちからイエス様へのおくり物と  
いうわけです。

わたしはイエス様へのおくり物を何に  
すべきかすぐに分かりました。イエス  
様は、たとえ腹立たしいことをされても  
その人を愛するようと教えておられる  
からです。妹を愛するようにイエス様は  
望んでおられることがわかったので、  
「ミッシェルに親切にする」と書きました。

わたしたちは、金色の紙で包んだ箱  
にカードを入れて、その箱をクリスマスツ  
リーの下に置きました。その箱を見る  
たびに、救い主からのおくり物とわたし  
たちからのおくり物を思い出せるよう  
にするためです。

それから何日かして、ミッシェ  
ルが無断でわたしのお気に入りの  
ブラウスを着ているのを見  
つけました。大声でおこ  
ろうとも思いましたが、金  
色のあの箱を見て、自分が  
どんなにイエス様を愛している  
かを思い出しました。妹に親切  
にすることで、イエス様に愛を  
示すことができます。そこ  
でわたしはこう声をかけま  
した。「ミッシェル、今日  
はすごくてきね。」  
すると妹はにっこりして

こう言いました。「お姉ちゃんに断らない  
で勝手に着ちゃってごめんなさい。着る  
ときお姉ちゃんがいなかったものだから。  
今日クラスのクリスマスパーティーがある  
ので、とびっきりおしゃれたかったの。」

わたしは心の中に温かいものを感じま  
した。おこらないでミッシェルに親切に  
することを選んでよかったと思いました。

それからわたしは、そのときの良い  
気持ちとイエス様のようになるという目  
標を忘れないように頑張りました。そう  
しているうちに、がまん強くなり、前より  
も愛することができるようになりました。

クリスマスイブの日に、キリストがお  
生まれになったときの話を父さんが読  
み、家族で劇をしました。マリヤの役を  
演じたいというミッシェルとけんかをした  
くなかったので、わたしは天使を演じる  
ことにしました。

次にあの箱を開けて、イエス様への  
それぞれのおくり物を大きな声で読み  
上げました。わたしが自分の書いたも  
のを読むと、お母さんがこう言いました。  
「ミッシェルにとてもやさしくしているの  
が分かっていたわ。あなたはほんとうに  
えらいわね。」

わたしもほこらしい気持ちになりました。  
クリスマスプレゼントを開ける前でした  
が、そのときすでに何か特別なおくり物  
を頂いた気がしました。聖霊がわたし  
に、正しいことをした、ときさやいておら  
れるのを感じることができたのです。■

なに  
何をするようにおっしゃっているかしら？」  
とお母さんが聞きました。  
「イエス様の教えに従って、いましめ  
を守ること」とお兄さんが答えました。  
お母さんがみんなにカードとペンを配  
り、イエス様を愛していることを伝える



「このクリスマスの時期に、様々なクリスマスの伝統があると  
は思いますが、まず第一に主イエス・キリストに心に向けていた  
だきたいと思えます。」

十二使徒定員会 ラッセル・M・ネルソン長老  
「救い主、キリストがお生まれになった」  
「ニュー・エラ」、2006年12月号、2(英文)

# わたしたちのページ



しんでんを見るのが大きいです

**チ**リのサンチャゴにあるラ・フロリダ第3ワードの初等協会の子供たちは、初等協会の指導者やビショップリックの人たちと、神殿をおとすれました。美しい神殿の庭を見て回りながら、神殿の目的について話し合ったり、「神殿に行きたいな」(『子供の歌集』99番)を歌ったりしました。それから、イエス・キリストのしょうがいについてのビデオを見ました。



神殿に来てください

**神**殿の前からみなさんにあいさつします。エクアドル・リベルタドステークの子供たちは、エクアドル・グアヤキル神殿をおとすれました。それはすばらしい一日でした。できることなら世界中の子供たちにこの神殿に来てもらいたいと思います。ほんとうに美しい所です。

アイーダ・V, 10才 (エクアドル)



「クリスマスです——キリストがお生まれになりました」  
オルチュク・O, 9才 (ナイジェリア)



「アロン神権の回復」  
フェリーペ・L, 12才 (ブラジル)

よげんしゃ ジョセフ・スミスに について 教えます



「せいなる 森」アクセル・C



**し**ょうきょうかいで、「うるわしき 朝よ」(『賛美歌』18番)を ならいました。ぼくはこの さんびかが 大きいです。せんきょうしに なったら、ふくいんを 教えるときに せいなる 森の 話を したいと 思います。ぼくは、イエス・キリストと よげんしゃ ジョセフ・スミスが 大きいです。ぼくは

この 教会が しんじつであることを 知っています。

アクセル・C, 5才 (ペルー)

家庭のタベが楽しみです



**コ**スタリカの ヘレナ・C (9才) は、お父さんから パプテスマを うけると すぐに、自分がきょうかいいんになったと かんじました。ヘレナは かていのタベで イエス・キリストについて 学ぶのを楽しみにしています。学校に行くと、ともだちと あそぶのも すきです。



モンソン大管長のちぎり絵

**静**岡県、富士ワードの初等協会の子供たちは、6か月以上かけてトーマス・S・モンソン大管長をえがいたちぎり絵(紙をちぎり、それをはり合わせて作る絵)を完成させました。とても時間のかかる大変な作業でしたが、みんなと一緒に作りながら、モンソン大管長について考えたり、学んだりすることができました。

すばらしい かんが 考え

# 「キリストのもとに 来き〔なさい。〕」

——モロナイ10:32



# よの光



キンバリー・リード  
じつわをもとに書かれました。

「アダムにあってすべての人が  
しんでいるのと同じように、  
キリストにあってすべての人が  
生かされるのである。」  
(1コリント 15:22)

**エ**リンは、ソルトレークにある  
テンプスクウェアに立って、イエス・キリストの  
お生まれになったようすをあらわした  
人形のかざりつけを見ていました。  
人形はどれもじつぶつ大の大きさに  
作られています。もうすぐ音楽と  
ともにものがたりがはじまります。  
あたりいちめんにクリスマスの  
しょうめいがかがやいています。でも  
エリンは、クリスマスをいろう気分には  
なれません。

「エリン、だいじょうぶ？」とお母さんが  
たずねました。

うなずいてはみたものの、ほんとうは  
あまりだいじょうぶではありません。

ほんの何日か前に、エリンの  
クラスの男の子が、じどう車じこで  
なくなったのです。エリンはおそうしき  
でおおぜいの人がないのを見  
ました。エリンもたくさんなきま  
した。エリンはその子をよく  
知っているわけではありませ  
んでしたが、自分がかぞくから  
あいさされているように、その子  
もかぞくからとてもあいさされ  
ていることは知っていました。自  
分と同じねんれいの子にそんな  
ことがおこるなんておそろしく  
てたまりません。

そんなことがあって、エリンは  
クリスマスといてもうきうきした  
気分にはなれないのです。エリン  
は、いつもびくびくしています。  
車にのるのもこわいし、お父さん  
たちからはなれるとこわくてた  
まりません。自分が外出したとき  
に何かいやなことがおこつたら  
と思うと、外に出かけるのもお  
そろしいのです。テンプスクワー  
エの中はクリスマスのしょうめ  
いで光かがやいていましたが、

心の中のふあんをぬぐいさるこ  
とはできませんでした。いつも  
あんぜんとはかぎらないせかい  
で、どうやってしあわせになれる  
のでしょうか。

「さあもうすぐはじまるよ」と  
イエスさまのお生まれになった  
ようすをあらわしたかざりつけ  
のある方をゆびさしながら、お  
父さんが言いました。

スピーカーが鳴りはじめ、声  
が聞こえてきました。音楽が  
鳴り、ひつじかいやはかせた  
ち、マリヤやヨセフの人形に  
スポットライトが当たりました。  
エリンは聞きなれたものがた  
りに耳をかたむけました。お  
きな子イエスが生まれになり、  
かいばおけの中にねておられ  
ます。てんしが歌い、ひつじ  
かいはいエスをあがめ、はかせ  
たちはよろこびの声を上げて  
います。

エリンは、りょうしんやその  
場にあつまったたくさんの人  
人の顔を見ました。だれもが  
しあわせそうに見えました。  
イエスさまがお生まれにな  
ってもわるいことがなくなる



「イエス・キリストが よの光とよばれる……りゆうは、しゆの もはんと 教えが、わたしたちが 天の おんちちのみもとに 帰るための 道を しめして くれるからです。」

十二使徒定員会 ドゥエーン・エー・オークス 長老  
「世の光にしてまた世の生命」  
『聖徒の道』1988年1月号, 68

わけでもないのに、どうして みんなは イエスさまが お生まれになったことを そんなに よろこんでいるのでしょう。そんな ぎもんが 頭の 中を ぐるぐる かけめぐっているのが、いやで たまりませんでした。とにかく 怖い 気持ち が なくなってほしいと 思いました。

ものがたりが おわると、スピーカーを 通して よげんしゃの ことばが 聞こえてきました。よげんしゃは あかしを のべた後、聖書から 一つの せいくを 読みました。「アダムにあって すべての 人が しんでいるのと 同じように、キリストにあって すべての 人が 生かされるのである。」(1コリント15:22)

エリンは しんぞうが どきどき してきました。エリンは、その せいくを 思い出しながら、心の 中で その ことばを くりかえしました。「アダムにあって すべての 人が しんでいるのと 同じように、キリストにあって すべての 人が 生かされるのである。」

せいくは、わかい人も 年をとった 人も みんな しぬと 言っています。

もちろん エリンも そのことは 知って いましたが、今まで それについて ふかく 考えたことは ありませんでした。自分は 小さいので そんなことは 考えられないと 思っていたのです。でも そんなことは ありません。たとえ エリンが 小さい 子どもでも イエス・キリストの おかげで だれもが ふたたび 生きることが できるという しんじつに たいする あかしを もつことは できるのです。ひつじかいや はかせたちが 大よろこびを したのも そのためです。ひつじかいたちは、イエスさまが 何を するために 地上に 来られたかを よく 分かっていたのです。

イエスさまが お生まれになった ようすを あらわした かざりつけの むこうに ほうもんしゃセンターの まどが 見えます。エリンが、小さな うまごや から、その まどの 中を 見ると、イエスさまの 大きな ぞうに 光が 当たっていました。イエスさまのぞうは、くぎあとの のこる りょう手を 大きく 広げて 立っています。エリンは、かい

ばおけに ねていた おさな子が どのようにして あらゆる 力をもつ おかたに せいちょうされたのか 考えました。しかも イエスさまは、エリンのために ご自分の いのちを ささげることを おえらびになったのです。イエスさまが お生まれになった おかげで、エリンは ふたたび 生きることが できます。どんなことが あっても、イエスさまに あいされている 自分 は あんぜんなのだ と エリンは 思いました。

エリンは、とても 気持ちが 楽になりました。ことばでは うまく 言えませんが、とにかく ふあんな 気持ちが まったく なくなったのです。イエス・キリストの ぞうは、きらきらと かがやく クリスマスの しょうめいよりも まぶしく かがやいていました。その ぞうに 見入っていた エリンは、空が くらくなっていることに ようやく 気づきました。心の 中に めばえた きぼうの 光に むちゅうになって われを わすれていたのです。■

# イエス・キリストは かみの おんこです

**さ** ばくを たびしているところを そうぞうして みてください。のり心地の わるい らくだに ゆられながら、長い たびを つづけています。地図も なく、一つの ほしに みちびかれながら たびを しています。さあ、どんな きもちが すると 思いますか。しんこうを もって 先に すすみますか。

2,000 年前、はかせたちは まさに その けいけんをしたのです。東の 空に 一つの まぶしい 星を 見た はかせたちは、ベツレヘムを 目指して たびを していました。おさな子 キリストをおがみ、すばらしい おくりものを ささげようと したのです。ところが その 星を 見たのは はかせたちだけでは ありませんでした。おおうみ 大海を こえた アメリカたいりくでも ニーファイじんたちが その 星を 見つけて、かみの おんこ、イエス・キリストが お生まれになったことを 知りました。

今日、その 星の ことを 考えると、すくいぬしの ことを 思い出します。その 星は、くらやみの 中で かがやき、はかせたちに 行く 道を しめました。それは、イエスさまが どのように 生きれば よいかを わたしたちに しめしてくださいのと 同じです。また、星が たえず かがやきつづけたと 同じように、イエスさまは いつも わたしたちを あいしてくださいます。こんど 星を 見るときは、イエス・キリストが かみの おんこであり、よの 光であられることを 思い出してください。■

## CTR の かつどう——すくいぬしを あらわすもの

イエス・キリストは いろいろなものに たとえられます。どのような ものに たとえられているかを 学ぶと、イエスさまについて もっと 学ぶことができます。かそくで 下の せいくを 読み、それぞれの たとえが すくいぬしについて どのような ことを あらわしているか、話し合しましょう。



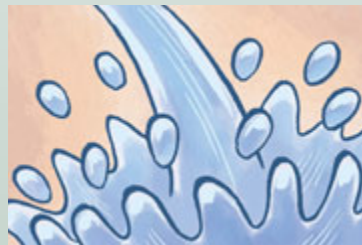
ぼくしゃ(ひつじかい) (詩篇 23:1 を見ましょう)



小ひつじ (ヨハネ 1:29 を見ましょう)



パン (ヨハネ 6:51 を見ましょう)



水 (ヨハネ 4:14 を見ましょう)



岩 (2 ニーファイ 8:1 を見ましょう)

## うた 歌と せいく

- 「クリスマスの歌」『子供の歌集』32 - 33
- 教義と聖約 11:28



### 自分で やってみよう

すくいぬしが あなたの生活をどのように しゅくふく してくださっているかを 思い出せるように、クリスマスのかざりを 作りましょう。  
 星を 切りぬき、それを あつ紙に はります。その うらに、あなたや かそくの しゃしんを はります。  
 そこに よる 光である イエス・キリストに したがうために、あなたが したいと 思うことを 書きましょう。  
 上の方に あなを あげ、その あなに ひもを 通して かんせいです。

# クリスマスの いのりは こたえられた



ペギー・ショーンケン

じつわを もとに 書かれました。

「しゅは、かれらのために

ささげられた

ぎじん(ただしい人)の いのりも  
おもいだされるであろう。」

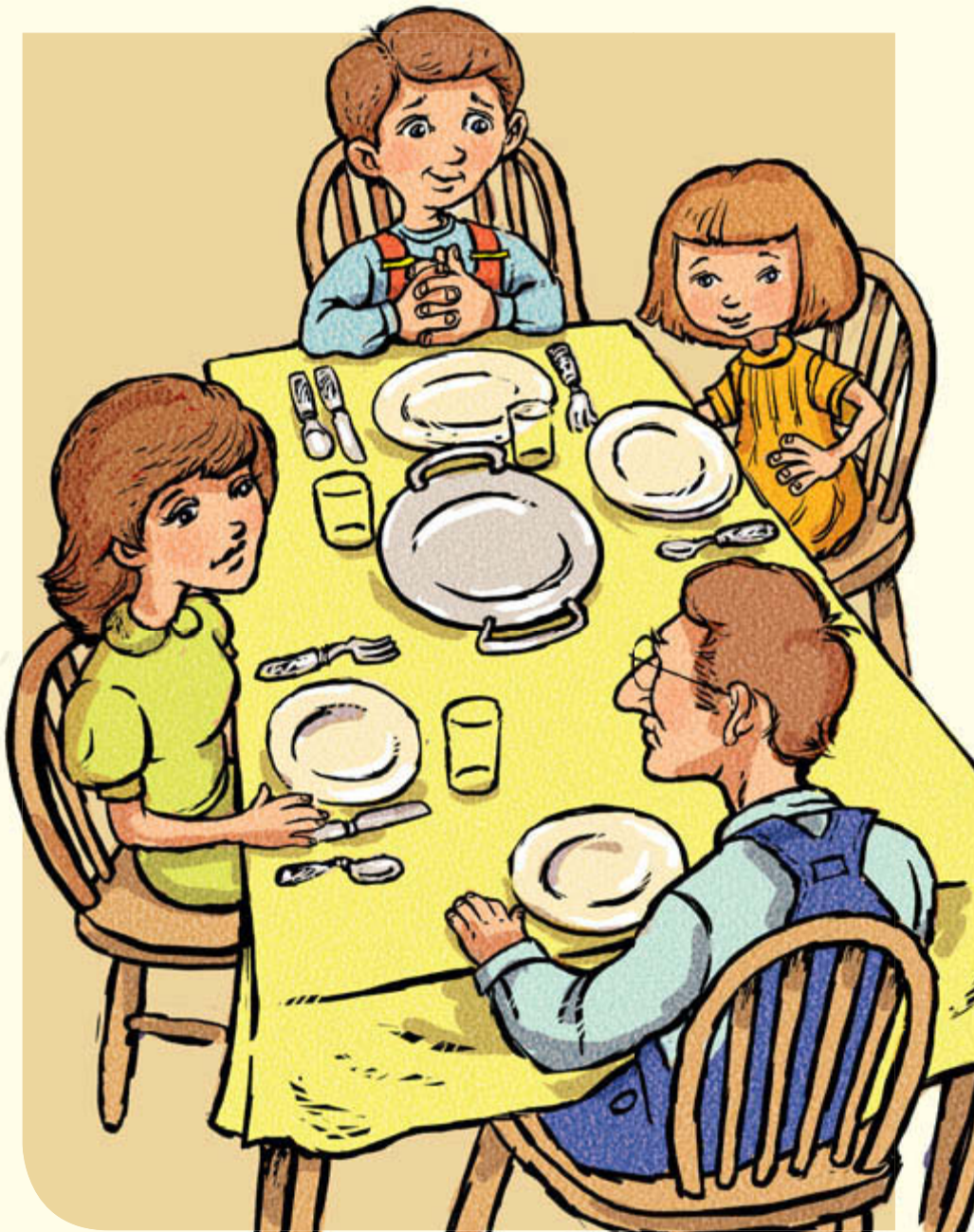
(モルモン5:21)

クリスマスの朝、目ざめた  
ペギーは わくわくしていま  
した。すてきな新しい  
おもちゃのプレゼントや クリスマス  
のごちそうが楽しみだったのです。  
ところがあたりを見回すと、今年  
はいつもとちがいます。お父さん  
が一生けんめい はたらいても、家  
にはほとんどお金がありません。

クリスマスのごちそうが 出てくる  
けはいはまったくありません。いつ  
も やさいを おいてある ところには  
何もありませんし、れいぞうこの中  
も 空っぽでした。

ペギーとおとうの マルコムが りょう  
しんの しんしつの ドアの ところま  
で 歩いて 行くと、お父さんたちが  
ベッドの わきに ひざまずいているの  
が 見えました。二人が しずかに  
耳を すませると、かぞくに 食べも  
のを あたえてくださるようにお母さん  
とお父さんが 天のお父さまに  
おいのりしているのが 聞こえました。

「ちょっと 外に いっしょに 来て」





と、ペギーが マルコムに 言いました。

外に 出た ペギーと マルコムは、  
にわの 近くに 生えている 野生の  
シダを あつめました。今年 は おも  
ちの プレゼントは ないかも  
しれませんが、クリスマスらしく 家  
をかざりつけることは できます。

みどりの シダで 家を かざりつけ  
た 二人は うれしくなりました。でも、  
食べものは やはり ありません。

「しゅが よういして くださるわ。  
さあ、しょくたくの じゅんびを しま  
しょう」と お母さんが 言いました。

お父さんが おさらを ならべると、  
お母さんが フォークと スプーンを  
じゅんびしました。

子どもたちは わけが 分からない  
といった ようすで 目を見合わせま  
した。しょくたくの じゅんびは でき  
ましたが、あいかわらず 食べるものは  
何も ありません。朝ごはんの 時間  
が すぎて、もうすぐ お昼です。ペ  
ギーは おなかが すきすぎて おなか  
が いたくなってきました。どのように  
食べものを 手に 入れることができ  
るのかしら、と ペギーは 思いました。

時計が 12時を さし、12時半、  
12時45分 になりましたが、何も  
おこりません。そのとき、ペギーは  
だれかが ドアを ノックする 音を  
聞きました。

大いそぎで ドアの ところまで 走っ  
て 行って ドアをあけると、おどろ  
いたことに カーク一家が そこに  
立っているではありませんか。カーク家  
の人たちは、ハムや パン、鳥肉の  
りょうり、サラダ、それに デザートを  
もって来てくれたのです。ペギーは 自  
分の 目を うたがいました。

「クリスマスの しょくじを しようと  
せきに ついたときに みなさんのこと  
が 心に うかんだんです。よろしかっ  
たら、これを めし上がりませんか」と



カーク兄弟が 言いました。

お父さんは カーク兄弟と あく  
しゅを しました。そして お母さん  
は ごちそうを テーブルに ならべ  
はじめました。ペギーは まだ しん  
じられない といった ようすで、目  
を まん丸くしたまま お母さんと  
お父さんを見つめていました。でも  
二人は まるで そうなることが 分  
かっていたように見えました。

ペギーは その 朝 かんじたことは  
正しかったと 思いました。たしかに  
今年の クリスマスは いつもとは ち  
がっていたのです。ペギーは、天の  
お父さまが いのりを 聞き、それに  
こたえてくださることを 今年の クリス  
マスで 学びました。それは ペギー  
にとって さいこうの クリスマスプレ  
ゼントでした。■



「へりくだった気もちで、そして  
かみを しんらいして いのるなら、  
みちびきと へいあんが もたらされ  
ます。」

十二使徒定員会 リチャード・G・スコット長老  
「祈りという天との賜物を用いる」  
『リアホナ』2007年5月号、8

# サンドイッチ なかま

ハイディー・ポールマン  
じつわを もとに 書かれました。

みんな、ようちえんに 行く  
じゅんぴは いいかな？

1. ウィリアムは 車に とびのると、  
ジェレミーの となりに すわって  
シートベルトを しめました。

はい！

いいよー！

2. ジェレミーの お母さんの うんてんする 車が どうろに 出ると、ウィリアムは おべんとうを とりだしました。そして ピーナッツバターと ジャムの サンドイッチを とって 口いっぱいほおばりました。

3. ジェレミーが  
ウィリアムの  
サンドイッチを 見ると、  
とても おいしそうで、  
おなかが  
すいてきました。

4. お母さん、おなかが すいちゃった。  
何か 食べるものは ないかな？

ごめんなさいね、ジェレミー。  
出かける前に 食べてきたから、  
何も もって来なかったわ。

わかったよ。

5. ジェレミーは かなしくなりました。  
自分も サンドイッチが 食べたかったのです。

6. ジェレミーの かなしそうな 顔を 見た ウィリアムは、  
自分の サンドイッチを ちぎって ジェレミーに あげました。

これ、食べなよ！

7. ありがとう。  
ウィリアムって やさしいね。

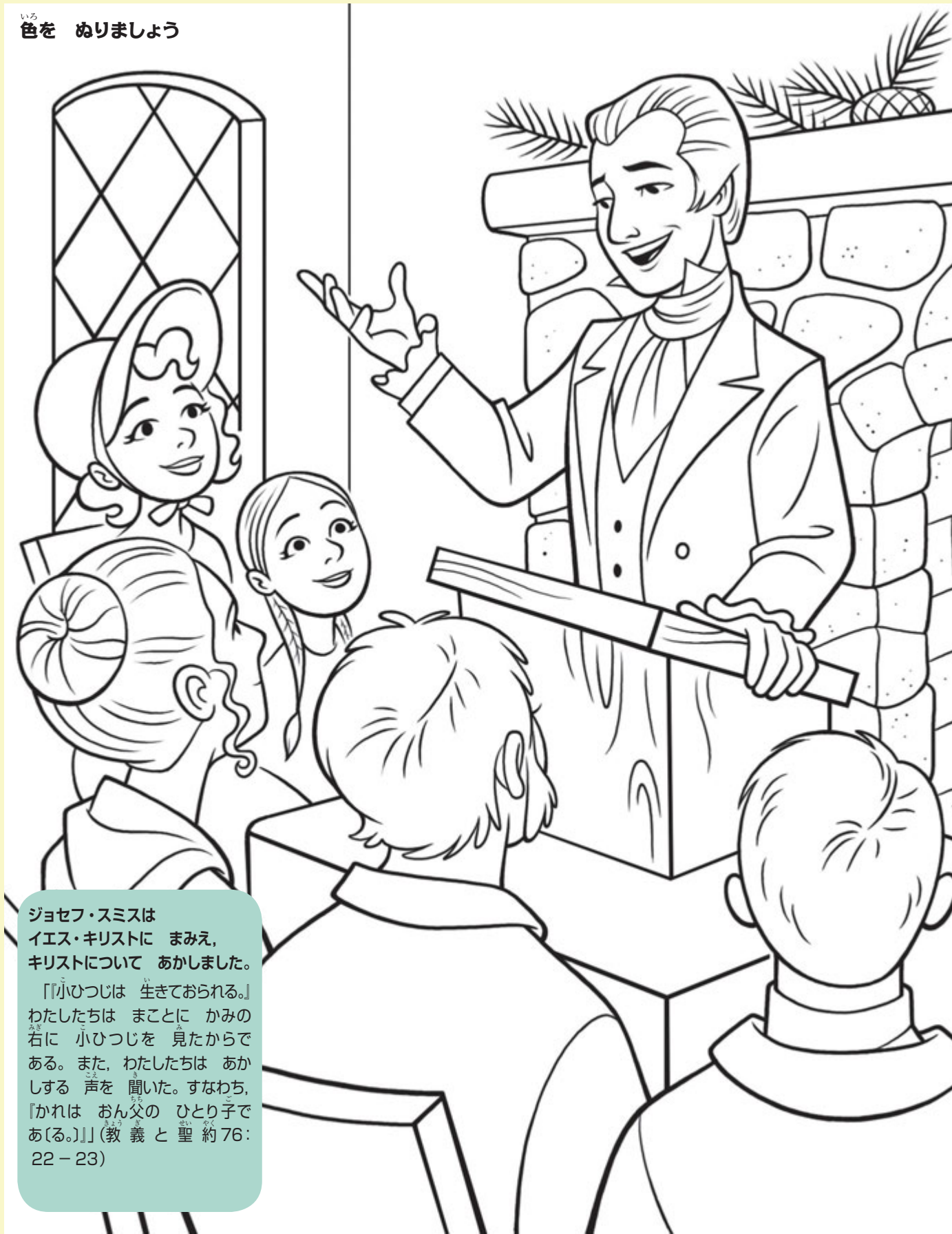
あたりまえさ。友達ちだもん！

とも  
友だちに なる

とも  
友だちに なるには たすけて あげるこ  
とも よい ほうほうの 一つです。ウイ  
リアムと ジェレミーは、あそびばで ほかの 子  
どもたちに 親切に したいと おも  
っています。たすけを ひつようとしている 子どもを まる  
かこんでください。



いろ  
色を めりましょう



ジョセフ・スミスは  
イエス・キリストに まみえ、  
キリストについて あかしました。

『「小ひつじは 生きておられる。」  
わたしたちは まことに かみの  
右に 小ひつじを 見たからで  
ある。また、わたしたちは あか  
しめる 声を 聞いた。すなわち、  
『かれは おん父の ひとり子で  
あ[る。]』(教義と聖約 76:  
22-23)

# 教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は [news.lds.org](http://news.lds.org) にアクセスしてください。

## 機関誌購読を活用して 福音を分かち合うよう勧められる会員

教会のニュースと出来事

ヘザー・ウィットル・リグリー

**カ** ノワン・ウォンウィラファブ姉妹は、タイの教会資材管理スーパーバイザーとして、教会施設および神殿着、LDS 出版物などの資材に関する会員からの要望を定期的に取り扱っている。

しかし、あるとき教会機関誌の購読更新手続きをするために事務所に女性が訪れたときには驚いた。タイのような地域では、機関誌の定期購読更新手続きはユニットの代表を通じて行うのが通例である。しかしその女性の説明によると、そのようなワード代表はいないということだった。かつて彼女が仏教徒だったとき、教会員の友人から機関誌をプレゼントされて、教会機関誌について知るようになった。

「彼女は教会機関誌のすばらしさとそれが自分の子供たちにどれほど価値があるものかを語り始めたのです。彼女の子供たちが学校から戻って来て、その機関誌を読みだすと夢中になって、すぐに読み終わってしまうそうです」とウォンウィラファブ姉妹は記している。

その女性は機関誌が子供たちにとって「偉大な価値」があり、彼らに善良な道徳と言葉を教えるものとして称賛した。彼女はとても心が動かされ、自身の購読更新手続きを行うと

ともに、自分の同僚の子供たちもその恩恵にあずかることができるよう彼らにギフト用購読の申し込みも行った。

「会員でない人たちでもその機関誌の価値を感じとり、ほかの人たちに分かち合いたくなるのです」とウォンウィラファブ姉妹は記している。

教会指導者は、教会機関誌を読んでそれをほかの人々と分かち合うように、常に教会員を励ましてきた。

十二使徒定員会の L・トム・ペリー長老は機関誌から得られる遠大な恩恵を強調した。「教会機関誌にあるすばらしい御霊は、福音のぬくもりと愛と力強さで家庭を満たしてくれます」

支援を受けたい場合は、機関誌を扱う地元代表に連絡するか、[help@store.lds.org](mailto:help@store.lds.org) に電子メールを送信する、あるいは各国の顧客サービス受付に電話する。[store.lds.org](http://store.lds.org) にアクセスすれば国ごとの代表受付電話番号の一覧を見ることができる。ホームページ下の**顧客サポートのお問い合わせ**をクリックすれば、**お問い合わせ**の下に**電話によるお問い合わせ**のリンクが表示される。

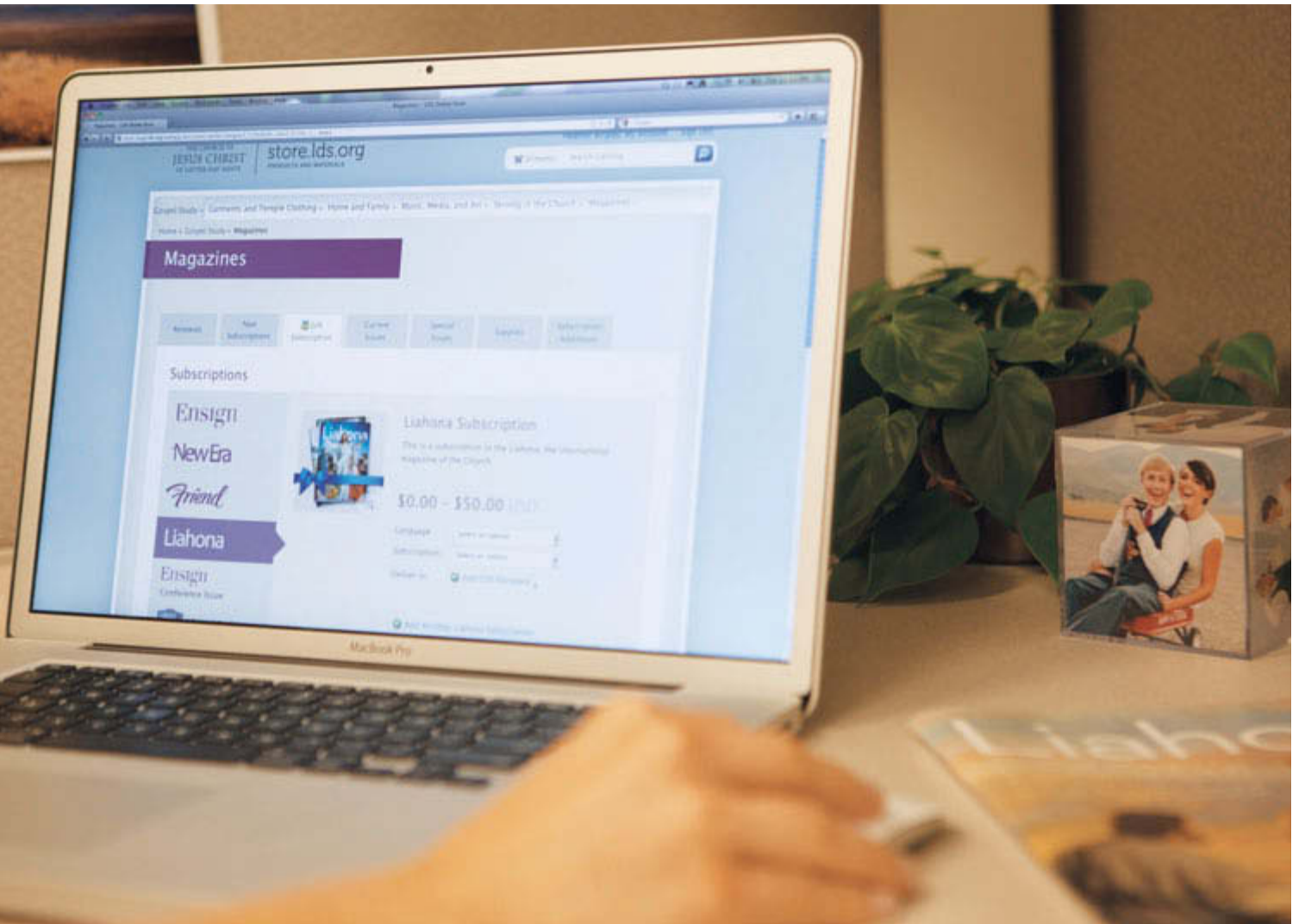
とペリー長老は語った。（「家族の大切さ」『リアホナ』2003年5月号、43）

七十人のクレグ・A・カードン長老は神権部および教会機関誌編集部の管理ディレクター補佐を務め、機関誌があらゆる個人に対して持つ価値を理解している。

「教会機関誌は教会の権威ある者の声として重要なメッセージを伝え、教会を通して、現代の世の中にある様々な問題に関して主の預言者の助言が、あらゆる年代のすべての神の子供たちに活用されるようにしています。毎月、興味深く人目を引きつける記事には、教会員であるなしを問わず、あらゆる地域の人々によくある状況が述べられています。熱心に真理を求めるすべての人が、その機関誌の中に見られる靈感を受けた教えと導きによって、かなりの恩恵を受けています」とカードン長老は語る。

もし教会機関誌の購読者全員が教会員でない友人や親戚のためにギフト用購読を申し込めば、およそ170万人の新規購読者が毎月教会と親密な接触を図ることになる。

教会のオンラインストア [store.lds.org](http://store.lds.org) にアクセスすれば、個人による機関誌購読も家族や友人へのギフト用購読の申し込みも素早く容易に行うことができる。『フレンド』、『ニューエラ』、



教会機関誌のギフト用購読を通じてあらゆる年代、宗教、背景を持つ教会員でない友人に福音を伝えるよう会員たちは励まされている。

『エンサイン』は英語のみの利用になるが、その3冊と同時印刷された記事が掲載されている『リアホナ』は多くの言語での利用が可能になっている。

アリゾナ州ペオリアステークのあるビショップは自分のワードの子供たちに『フレンド』の年間購読をプレゼントすることによって、効果的に子供たちが生ける預言者や使徒たちの言葉に親しむことができることを知った。

アメリカ合衆国テキサス州のペネロペ・B・ウッドワード姉妹は『リアホナ』のギフト用購読を、いとこだけでなく、

他の国に住む友人や教師にも送った。「機関誌によっていところが聖約を交わして守ることの大切さを学ぶよう願っています」と彼女は記している。さらに彼女は続けて、ギフト用購読は「回復された福音を友人がいつの日か聞いて受け入れる下地作りをする」ためのものだと述べている。

購読あるいはギフト用購読の申し込みは、[store.lds.org](http://store.lds.org) にアクセスする。ホームページの左側に機関誌注文情報が示されている。オンライン注文手順は更新、新規購読、ギフト用購読

をする際の手助けとなる。

Store.lds.org は中国語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語での利用が可能である。それ以外の言語を話す人あるいはインターネットによるアクセスができない人は、多くの国にある教会配送センターに連絡するか直接出向くことで、機関誌の注文やプレゼントができる。

## 教会資料の提供が100の言語を超える

**中**国語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語のように普及度が高い10の言語を話さない地域の会員にとって、自分の母国語で教会資料を探すことは難題である。しかしLDS.orgの言語ページをよく見るとほんの数クリックでおもな教会資料にアクセスできることが分かる。

LDS.orgのホームページの右上あるいは左下にある**地球の画像**を選択すると、LDS.orgで利用できるすべての言語ページのリンクが表示される。2012年末までにLDS.orgのチームはフルバツキ語(クロアチア語)、マダガスカル語(マダガスカルで話されている)、トゥイ語(ガーナで話されている)を含む108の言語ページを開設したいと希望している。

各言語ページで利用できる資料は異なるが、いずれの項目も印刷およびダウンロードが可能である。

今年、言語ページは40以上の言語によるPDF版『リアホナ』ローカルページや90以上の言語による2012年総大会PDF簡略版テキストなど、いくつかの新しい項目を加えて更新された。99の

言語によるPDF版モルモン書にはさらに24の言語ページが追加され、すでにLDS.orgで利用可能になっている。

翻訳済みの項目は、教会の特定言語における教会資料の導入計画に基づいて公開される。

この段階的な計画において、中核を成す項目の例として挙げるならば、**聖餐の祈り**、**信仰箇条**、**福音の基本手引き**、**総大会説教集**、『**預言者ジョセフ・スミスの証**』パンフレットなどは優先的に翻訳されている。

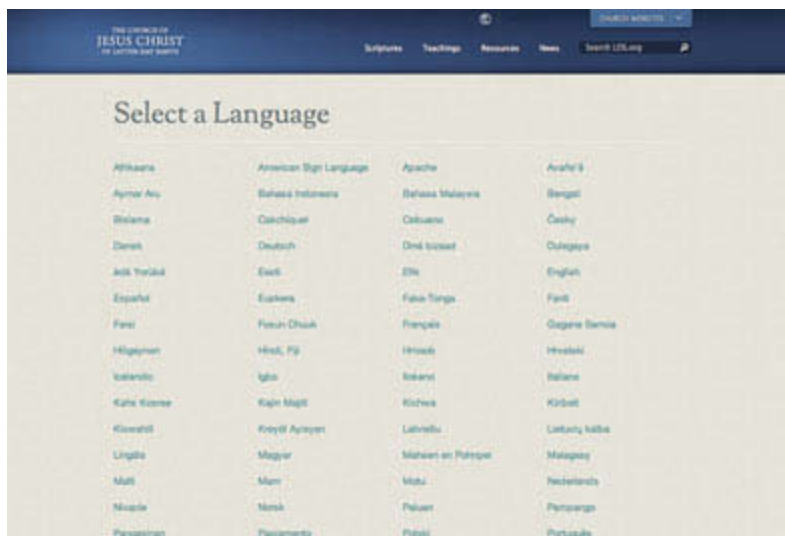
聖典、音楽、「家族—世界への宣言」、大管長会メッセージ、家庭訪問メッセージのような資料は追加翻訳されるもので、その言語を話す教会員数の増加に伴って導入される。

資料の翻訳と利用は大管長会および十二使徒定員会の承認を受けなければならない。地域会長会も必要を察知すれば、ある資料が特定の言語で利用できるように要請することができる。

「日曜日に活用する教材同様、これらの資料は個人としてすべての会員が使用できます。地元の指導者はこの資料を個人の学習用として活用するだけでなく、会員たちが召しや家族で活用するように働きかけることができます」と電子書籍製作主任マネージャーのマット・ロビンソンは語る。

アルメニア・エレバン地方部会長会第二顧問のサルジス・アイバズヤン会長は、アルメニアの会員たちはアルメニア語のページから自分たちの召しを果たすうえで助けになる資料を、喜んで印刷していると報告している。また彼らはそのページを活用して教会に関する情報を入手し、自分たちの母国語で総大会の資料を探している。■

印刷および  
ダウンロードが可能  
な多くの資料があり、  
さらにLDS.orgの  
100以上の  
言語ページに  
それらの資料が  
追加され続けている。





# モンソン大管長の人生、 歌と音楽と賛辞の夕べで祝われる

教会のニュース編集者  
ゲリー・エイバント

**20**12年8月17日、トーマス・S・モンソン大管長の85回目の誕生日を盛大に祝いたたえようと、「黄金の日々—人生を祝う」と題された音楽とナレーションと賛辞から成る夕べの会で、およそ2万人の人たちがカンファレンスセンターを埋め尽くした。

選ばれた演目にはモンソン大管長が大好きなブロードウェイのショーで演じられる音楽やメッセージ、さらに大管長の85歳の誕生日(8月21日)を祝した靈感あふれる歌などが含まれていた。

モンソン大管長は妻のフランシス・ジョンソン・モンソンや彼らの家族とともに聴衆の最前列に座った。

大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長はモンソン大管長が立ち止まってある夫婦と小さな子供たちに握手したところ、次々に多くの人が現れ、それでも根気強く最後の人にまであいさつをして歩く「アリゾナの砂漠の田舎道」でのモンソン大管長の偉大さを証した。

アイリング管長はモンソン大管長がいつも子供を含む世界中の様々な状況下にある「人々を訪れる主の代理人である」という証を得たことについて語った。「大管長から言葉をかけられ、特別な機会を得られた人たちはもち

ろんのこと、その光景を見ているわたしたち周囲の者たちにも特別な機会になりました。わたしは常に同じではありません。傍観者でもありません。その愛を感じて、変えられている者です」とアイリング管長は語った。

大管長会第二顧問のディーター・F・ワークトドルフ管長もまたモンソン大管長にお祝いを述べ、「なんと黄金の日々で満ちた人生でしょう。モンソン大管長、あなたは闇に住んでいる人たちに光をもたらす友であり、わたしたちの時代に与えられた神の預言者です。わたしたちはあなたを愛し、支持しています。わたしたちはあなたのことを祈っています」と語った。

他の多くの教会、宗教関係者、

市民団体の指導者をはじめとして、旧友たちからも事前に録画されたビデオレターでモンソン大管長に賛辞が送られた。さらに大管長はスカウト活動に長年携わったことを振り返った。

そのプログラムの締めくくりにモンソン大管長はスコットランドの作家であり詩人であるジェームズ・バリーの言葉を繰り返した。「神は記憶を与えてくださった。それは、人生のつらい冬の時期に、6月のバラを思い描けるようにするためだ。」(ローレンス・J・ピーター, *Peter's Quotations: Ideas for Our Time* (1977年) [英語], 335 参照)

「今晚わたしは思い出いっぱいの花束を受け取りました」とモンソン大管長は述べた。

まさに、カンファレンスセンターのステージはモンソン大管長の人生の「黄金の」日々を象徴する何百本もの黄色いバラで飾られていた。■

「黄金の日々—  
人生を祝う」は  
音楽と歌を通して  
モンソン大管長の  
子供時代、結婚、  
軍役、教会での  
奉仕の人生を  
懐かしく  
振り返った。



写真: テラ・ゲリス

### カボベルデで最初のステーキが 設立される

2012年4月29日曜日、当時ヨーロッパ地域会長だったエリック・W・コピシュカ長老は、1,000人以上の聖徒たちとともに首都プライアでカボベルデにおける最初のステーキを組織した。

新しいカボベルデ・プライアステーキを管理するために召されて聖任を受けたのは、会長としてロシベルト・ティシエラ、第一顧問としてアディルソン・モンテイロ、第二顧問としてホセ・ピレスである。

### 多くの人に福音を広める ロンドン礼拝堂の再奉献式

2012年7月、2012年のオリンピックに先立って、イギリス・ロンドンにある教会の歴史的建造物のハイドパーク礼拝堂が、礼拝行事のためだけでなく訪問者センターとしても再奉献された。

当時ヨーロッパ地域会長だった七十人のエリック・W・コピシュカ長老がその建物を再奉献した。「文字どおり今後数年間で何十万もの人たちがこの建物に会場し、イエス・キリストの福音について学ぶことをわたしは望んでいます」と長老は語る。

### 教会の発展を祝うニューカレドニア

2012年5月27日、太平洋地域会長を務める七十人のジェームズ・J・ハムラ長老は800人の教会員が見守る中、ニューカレドニアで最初のステーキを組織した。

「イエス・キリストの福音が教えられ、ますます多くの人たちに喜んで受け入れられるようになると、末日聖徒とニューカレドニアのすべての人たちが祝福を受けます」とハムラ長老は語った。

新設されたニューカレドニア・ヌメアステーキは2,000人の会員と8つの集会場を持つ。

写真：ホセ・ア・ティシエラ



カボベルデ・プライアステーキ会長会は（左から右に）  
アディルソン・モンテイロ第一顧問、ロシベルト・ティシエラ会長、ホセ・ピレス第二顧問。

「わたしたちの最も重要な使命はニューカレドニアの人々に福音とその原則のすべてを宣べ伝え、それによって彼らとその家族に幸福をもたらす、さらに同じ職場や地域社会の人々に幸福をもたらすことです」とステーキ初代会長に召されたジョージ・

グイーディは語る。顧問にはマーク・モセリンとティエリ・ゴロディーが召された。

### エチオピアにおける 最初の末日聖徒の集会所

エチオピアの会員たちは国内で最初の集会所から数々の祝福がもたらされるのを目にしている。アジスアベバとアダマの都市間高速道路の途中に位置するこの集会所は、3階建てで地下に駐車施設を持つ。

しかし集会所の設備面以上に重要なことは、その集会所が近郊の居住施設で顔を合わせている支部会員の信仰の象徴となっていることである。

デブレツァイト支部のエフレム・アエメロ・メコンネン支部会長は「その新しい建物のそばを通る度に、交わした聖約を思い起こします。司令官モロナイが自由の旗を掲げたときのように、わたしは強められます」と語る。

### 最新情報

**大**管長会は中央アメリカ地域会  
長会の変更を発表し、ロバート・C・ゲイ長老が新たに教会本部での責任の割り当てを受け、彼の代わりにケビン・R・ダンカン長老が第二顧問として召された。この変更により『エンサイン』および『リアホナ』8月号に掲載された地域責任割り当て図に示された責任の割り当てが修正される。

『リアホナ』に答えはある

わたしは教会員の家庭に生まれた会員です。時には人生の中で与えられる多くの福音の祝福をそれほど重要視していないこともあります。そんなときには、このような考えでは、自分が受けたすべてのことに対して、天の御父に十分な感謝をささげられるはずがないと分かります。中でも与えられている祝福の一つは、霊的に高めてくれる機関誌『リアホナ』です。読む度に、必要としている的確な答えを受けられるのはすばらしいことです。このメッセージに感謝しています。

ルドミラ・L、13歳(アルゼンチン)

成長する証

『リアホナ』によってわたしと家族の生活は変わりました。そこから人は学んで知識を得るので、偉大な道具です。その機関誌のおかげでわたしたちは強められ、教会への証が育まれています。

アナ・マルセラ・エケニケ・オヨス(コロンビア)

家庭の夕べのアイデア募集

『リアホナ』は現在家庭の夕べのアイデアや経験談を募集しています。アイデアはうまくいった意義深い家庭の夕べや家族の中の特別な必要に応じて活用した家庭の夕べの短い事例がかまいません。

アイデアや経験談を liahona@ldschurch.org まで送信してください(言語は問いません)。送信する際は、氏名、電子メールアドレス、ワードあるいは支部名、ステークあるいは地方部名を明記してください。

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。



【光と証の伝統】10 ページ—— 記事を要約し、家族を招いて足場の目的を示す視覚教材を作るよう勧めてもよいでしょう。家族とあなたの人生の別の側面を築き上げて、より高みへと達することができるように、教会があなたの家族にどのように足場を与えるか話し合ってください。

【クリスマスの季節の預言者たち】20 ページ—— 預言者の生涯から幾つか話を読んで、自分の生活や人々の生活に感動を与えた過去のクリスマスの特別な経験を分かち合うのもよいでしょう。このクリスマスの季節に預言者の模範に従う方法を話してもよいでしょう。

【戒めを守ることによって得られる安全と平安】32 ページ—— 幼い子供がいる家庭では神殿に通じる道に沿って正しいことをしている人たちの絵を描かせるとよいでしょう。幼い子供がいない家庭は、記事すべて読んでから、それについて話し合い、

「幸福へと続く道は戒めへの従順によって……始ま[る]」ことを強調してもよいでしょう。

【キリストに贈り物をささげる方法】48 ページ—— ヘンリー・B・アイリング管長の記事を一緒に読みます。おそらく子供たちはクリスマスに救い主に贈りたいものを書き出し、クリスマスの贈り物として自分たちの決意を包装することができるでしょう。物質的な助けあるいは霊的な助け、あるいはその両方を必要としている知人について話し合うのもよいでしょう。

【クリスマスのいのりはこたえられた】68 ページ—— 家族と一緒にペギー・ショーンケンに関する話を読みます。祈りに対して答えを受けたときの経験を分かち合い、子供たちにも同じことをするように勧めるのもよいでしょう。クリスマスの季節に家族が受けたすべての祈りへの答えがどのように与えられるのか心に留めるのもよいでしょう。

言葉によらない証

息子のデレックは失語症で、人と話をするのが困難です。デレックは家庭の夕べが大好きで、数か月かけて家族と分かち合うレッスンを準備します。

いちばん記憶に残っている彼のレッスンは、「リーハイの夢」でした。彼は家中にロープを張り、家の外にもロープをはりました。賛美歌「救い主、われ信ず」をCDで聴き、テーブルの上に置かれたリーハイの夢の絵を見るところからレッスンが始まりました。その後デレックはわたしたち一人一人をロープ伝いに移動させました。

ロープ伝いに歩いて移動するうちに、片側にキリストの絵、別の側には(ラジオ、テレビ、ゲームなどの)気をそらすものの写真がはってありました。デレックの大好きな賛美歌「主は生けりと知る」が聞こえてくると終着点にたどり着いたことが分かります。

家族の全員がその活動をした後、デレックはDVD『証』を上映し、わたしたちにイエスキリストがアメリカの人々に現れた終わりの部分を見せました。息子が言葉を使わずに救い主の証を伝えたとき、御霊が強く働きかけました。

ウェンディ・トンプソン(アメリカ合衆国)

十二使徒定員会  
クエンティン・L・  
クック長老

## ひかりクラス, 広報, そして福音の喜び

**数**年前, わたしが M・ラッセル・バラード長老と教会広報部の中央幹部アドバイザーとして働いていたときのことで、報道機関が教会員以外の人たちに接触を図って、教会について知ろうとしている場合が多いことにわたしたちは気づきました。そこでその傾向を変えるために、バラード長老とわたしは大管長会の指示の下に、おもな新聞社の編集局を訪れることにしました。末日聖徒としてわたしたちが政治的に中立であることを伝えるためです。わたしたちは末日聖徒として立候補したり、結党したりすることはありません。しかし、独自の確固たる信仰を持つ者でありたいと思っています。そこで「わたしたちの信仰について議論したいのであれば、わたしたちのところに来て、話し合おうではありませんか」と、働きかけました。

こうしたわたしたちの訪問は快く受け入れられ、申し入れに共感してもらうことができました。今日、末日聖徒に対する報道機関の理解は、格段に良くなっています。末日聖徒に対する従来の型にはまった見方は影を潜め、学識と見識のある生活を心がける人々と見なされるようになりました。また世間の人たちは、末日聖徒はみんな同じではなく、善良で興味深い生き方をすると意味で、それぞれに個性があると認めるようになってきました。

このように世間の人々の態度が変化しつつある今日、教会員であるのはすばらしいことです。教会員として声を上げ、自分たちの信仰に関する友人や隣人の質問に答える絶好の機会でもあります。そうするときに、わたしたちは心に喜びを感じ、イエス・キリストの福音を楽しんでいることが何よりも大切です。わたしたちは最終的な行く末を知っています。イエス・キリストがどんな御方であられるのかも知っています。また、

ひかりクラスが  
広報と

どう関係するの  
かと思われ  
るかもしれ  
ません。

実は  
福音の喜びを  
輝かせるとい  
う点で  
大いにかかわ  
りがあるの  
です。

わたしたちは愛する天の御父から祝福を受けることができます。

喜びをもって生活している人こそ、だれよりも効果的に伝道し、福音を分かち合うことができる場合がよくあるものです。これは興味深いことです。わたしが宣教師管理部管理ディレクターをしていたとき、フランスのパリであった何件かのバプテスマに突然目が留まりました。うれしくなり、それはなぜかと考えてみたら、幾つかの理由がありました。おもな理由の一つは、月曜日の朝職場に行ってひかりクラスの話を話した、ある姉妹の存在でした。安息日の翌日彼女は、前日小さな子供たちに教えた経験を、大きな喜びに包まれながらいきいきと同僚に話したのでしょう。程なくして、同僚たちは彼女からひかりクラスの子供たちの話を聞くのを心待ちにするようになりました。さて、それがどんな意味を持っていたと思いますか。職場には、わたしたちと同じように自分たちを取り巻く世界や将来に関心のある人々がいました。そこに、いきいきと生活しつつ、未来を担う子供たちに大いに喜びを感じる一人の女性が現れたのです。この姉妹は、心から救い主を愛し、その愛を周囲に輝かせていました。そのために彼女の同僚たちは、もっと知りたいと思うようになったのです。

今自分にあるものを楽しみ、それに喜びを感じたらその喜びを表現すると、楽しみが倍増されます。また、わたしたちが主の御心に従って行動し、より善い人となれば、わたしたちを取り巻く子供たちや友人、隣人も、わたしたちとの交わりを通してさらに幸せを感じることができます。喜びこそ幸せをもたらす鍵です。福音の喜びを分かち合うことによって、主がわたしたちに達成してほしいと望んでおられることを成し遂げることができるのです。■

モルモンチャンネルインタビューからの抜粋。このインタビュー(英文)の全文を聞くには、[mormonchannel.org/conversations/27](http://mormonchannel.org/conversations/27)にアクセスしてください。

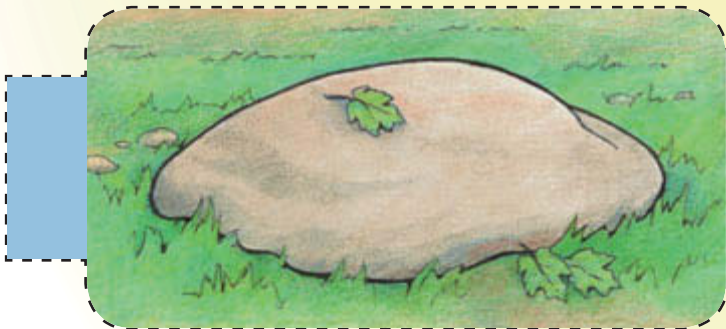
モルモン書、天のお父さまからの おくりもの  
ジョセフ・スミス—歴史 1:29 - 35, 42 - 54, 59 - 60



ジョセフ・スミス



てんし モロナイ



今年の『リアホナ』には モルモン書に とうじょうする じんぶつなどの 絵の セットが たくさん もりこまれて きました。 じょうぶで つかいやすく するために、それぞれの 絵を 切りぬき、ボール紙や あつ紙、 小さな 紙ぶくろ、または 工作用 の ほうに、 のりか テープで はってください。 ふとうや ふくろに それを まとめて しまっておきましょう。 そのとき、 その じんぶつなどが モルモン書の どこに 出てくるか 分かるように ラベルを はっておくと よいでしょう。



クリスマスの時期に神殿の敷地を飾るライトは、そこにあふれる平安と喜びを楽しむようにと、訪れる人々を招いています。そのライトのように、イエス・キリストは世の光として輝きます。福音の儀式、とりわけ主の聖なる宮の儀式を通して、主が差し出す平安と喜びを受けるようにと、すべての人を招いておられます。だれもが経験できる最も素晴らしい喜びは、神殿の結び固めの儀式により、結婚が死を超えて続き、家族のきずなは永遠に続くということを確信するときに得られます。「神聖な変化」、24 ページ、「永遠の家族に焦点を当てる」、28 ページ、「よの光」、64 ページ参照。

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

JAPANESE



10492 300

### 質 疑 応 答

#### なぜ変更するのですか？

学習へのこの新しい取り組みは、青少年がよりよく準備して友達に福音について話し、現在と将来の伝道や家族の奉仕に備え、福音の証を深める助けとなります。これは、彼らが活発に聖文研究に参加し、考えを分かち合い、学んでいることをクラスの外で応用するという勧めに応じるときに経験することです。クラスでは、生ける預言者の現在の教えを学びます。

#### どのクラスが新しいレッスンを使用しますか？

アロン神権定員会、若い女性のクラス、および12歳から18歳の青少年の日曜学校のクラスが、日曜日の教えでレッスンを使用します。毎月、定員会、若い女性のクラス、および日曜学校のクラスは、神会などの同じ教義を学ぶことと、それを基に生活したり教えたりする中で互いを強めることに焦点を当てます。

#### 日曜日のレッスンはどのようなものになりますか？

レッスンは毎月特定のテーマに焦点を当てます。このテーマは福音に関して青少年が抱く質問が基になっています。全部で12あるそれぞれのテーマには、教師が選べる概要が幾つかあります。必要に応じて一つの概要に1週間以上の時間を充てることができます。青少年は、毎月の福音のテーマについての経験や考えを分かち合いながら、福音を教えることがどのようなものかを学び、実践します。

#### 学習概要とは何ですか？

概要では、何を教えるか、またはどのように教えるかという指示はしていません。代わりに、最初に教師自身が教義を学び、それから青少年に学習経験を提供する助けをします。教師は学習経験を生徒が必要としていることに合わせることができます。各概要に参考資料とリンク集があります。参照資料とリンク集は定期的に更新され、教会指導者の最新の教えが掲載されます。

#### どこで新しい青少年のレッスンを探せますか？

学習概要（アロン神権、若い女性、および日曜学校にそれぞれ分かれています）は、オンラインの [lds.org/youth/learn](https://www.lds.org/youth/learn) にあります。インターネットを使えない方のために、印刷したテキストが利用できるようになります。

#### この新しい日曜日の教えはミューチャルに影響がありますか？

クラスと定員会の会長会は、ミューチャルの活動を計画しながら毎月のテーマを考慮に入れるように勧められています。学習概要にある活動のアイデアは、計画を始めるきっかけとして使用できます。概要は、[lds.org/youth/learn](https://www.lds.org/youth/learn)（日本語は11月5日現在で準備中です）で見ることができます。

#### どの言語でレッスンが利用可能になりますか？

レッスンは以下の言語で利用できるようになります。中国語（広東語および標準中国語）、デンマーク語、オランダ語、英語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ハンガリー語、インドネシア語、イタリア語、日本語、韓国語、モンゴル語、ノルウェー語、ポルトガル語、ロシア語、サモア語、スペイン語、スウェーデン語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語。これらの言語を使わないユニットでは、これまで使っていたレッスン教材から引き続き教えてください。



1月に開始——わたしに従ってきなさい——  
青少年のための学習リソース

救い主の方法でどのように一緒に学べるでしょうか

青少年

救い主の方法で学ぶことには、学ぶ準備をしてクラスに行くこと、聖典や預言者の言葉を探求すること、人に福音の真理について説明すること、福音に従って生活することが自身の生活にどのように影響しているかを伝えることが含まれます。

教師

生徒の生活について個人的に関心を持つときに、彼らの必要なことが分かり、関係を築き、彼らなりに改心できるように、学習経験を調整することができます。新しい教科課程は、教師が教義を理解する助けとなり、青少年を真剣に学ばせるアイデアを提供します。この教え方は講義ではなく、御霊に導かれた会話です。

親

子供が何を学んでいるかに個人的に興味を持つことは、子供が自身の学習に責任を持つよう助けることとなります。子供は何を学んでいるかを家族に教えるように勧められます。学んでいることを教える機会を持たせるときに、子供の証と福音を分かち合う能力が育まれます。

青少年の成人指導者

この教科課程がワードや支部でどのように実施されるかは、あなたの肩にかかっています。訓練を継続して行い、救い主の方法で教える模範を示すときに、教師たちはこのような教え方を導入するようになるでしょう。青少年が必要としていることに焦点を当て、青少年や親、指導者、教師がこうした必要について話し合うのを助ける方法を見つけてください。この新しい教科課程は、あなたのワードや支部にいる青少年の改心を促すものとなるでしょう。

詳しくは、「救い主の方法で福音を教える」および [lds.org/youth/learn](http://lds.org/youth/learn) をご覧ください。



末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

